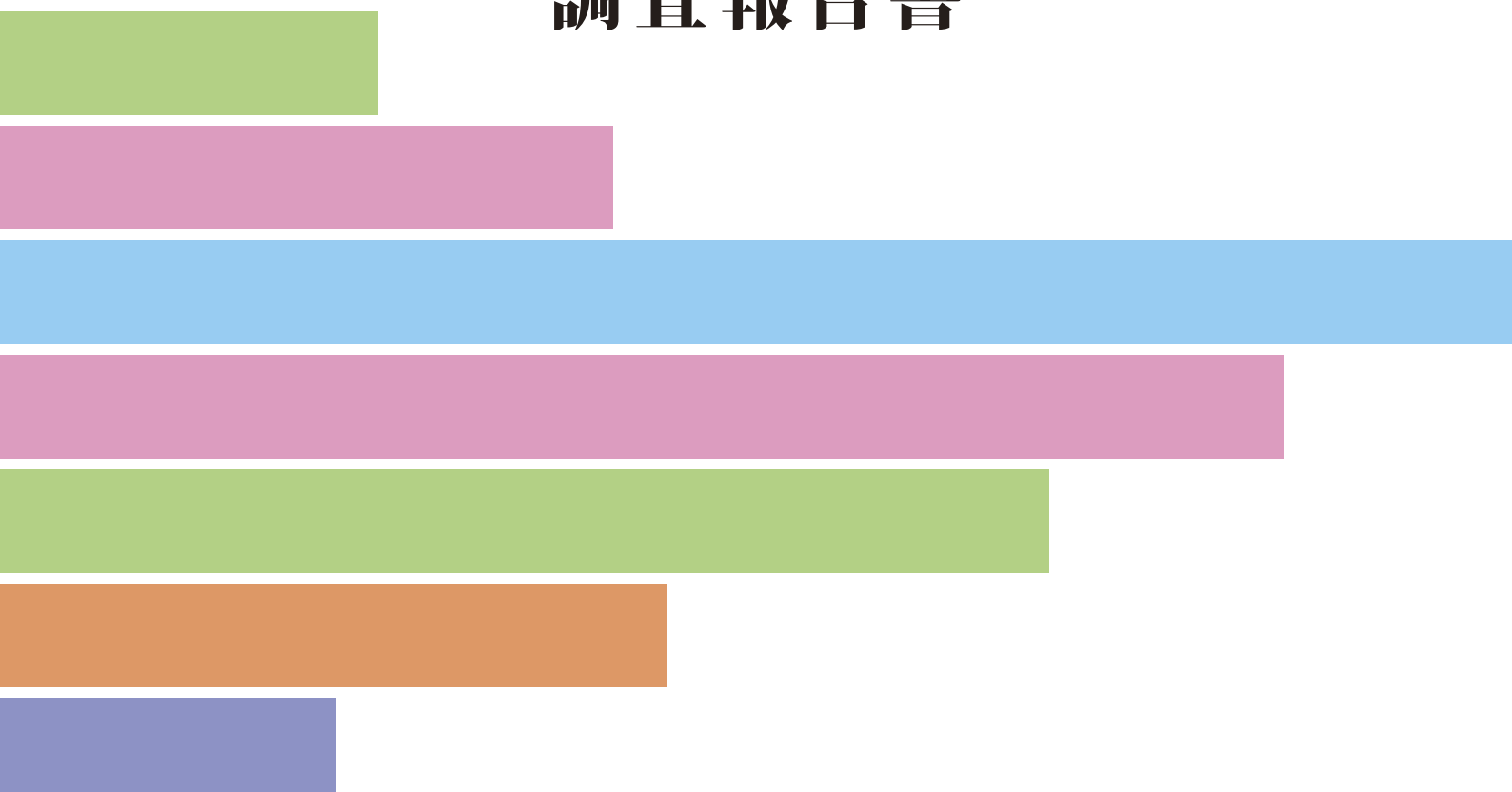


成人の道徳性と 子どもの頃の体験に関する 調査報告書



東京学芸大学
学校・地域と連携した総合的道德教育プログラム推進本部

平成24年2月



はじめに

道徳というのは、いつも時代でも、どんな文化でも人々の大きな関心事である。例え「道徳」という言葉を使わなかったとしても、「誠実であること」「思いやりがあること」「責任感があること」「節度があること」などについて、自分と関係する人が、どのような価値観を持っているのか大変気になることであろう。それは私的な関係においてもそうであるし、仕事上のつきあいなどの場合も同様である。加えて、人は、自分自身が「誠実であるか」「思いやりがあるか」「責任感があるか」「節度があるか」などについて、自問自答し、ときには悩む。古今東西の小説、演劇などにもこのような苦闘が描かれていることも多く、道徳というのは人間にとっての最大の関心事、人生のテーマといっても過言ではない。

現代の日本においても、道徳について人々の関心は強いと思われる。この場合も「道徳」という言葉を使わなかったとしても、人々のモラル、品格、善悪の判断、正義感については、至る所で議論が行われている。「若者のモラルの低下が著しい」「最近の子どもは善悪の判断ができない」「正義感に欠ける大人が多い」など、様々な意見が飛び交っている。意見は様々だが、多くの人々が道徳について関心を持っているのは間違いないだろう。

そして、未来のために、社会のために、子どもの道徳心を育てなければならないという「道徳教育」への問題意識も多くの人の間で共有されていることである。ただ、人々の間で意見の違いが見られるのは、「『道徳』をどう定義するのか」という点と、「道徳教育に国や学校がどの程度関わるのか」という点である。「『道徳』をどう定義するのか」については、哲学の大きなテーマであることが象徴しているように、学問的にも、一般の人の感覚においても、人によって大きく異なる点である。ある人にとって道徳的であると思われることが、他の人にとっては不道徳だと感じられることもあるだろう。また「道徳教育に国や学校がどの程度関わるのか」についても、大変意見が分かれる問題である。道徳が大切であることだからこそ、国や学校は積極的に道徳教育に関わるべきだという意見もあれば、大切なことだからこそ、道徳教育は家族や個人に任せるべきで、国や学校は関わるべきではないという意見もあるだろう。

果たして、今の日本の成人は、道徳についてどのような意識を持っているのだろうか。また、道徳教育についてどのような意識を持っているのだろうか。これが、我々が今回の調査を行おうと考えた中心的な理由である。道徳教育に携わる人は、「道徳は大切だ」「道徳教育は大切だ」ということを主張する。しかし、一般の成人が、道徳や道徳教育について、どのように考え、評価しているのかについての実証的な研究というのは非常に少ない。果たして、一般成人のどのぐらいの人が、道徳や道徳教育を大切だと思っているのだろうか。このことは、道徳教育の研究や実践を推進していく上で、大変貴重な、全ての基礎となることだとも言える。もし、多くの人々が、道徳や道徳教育を大切だと思っていないのであれば、道徳教育に関する研究や実践の全てを根底から考え直さなければならない可能性すらある。

また、世代による道徳への意識の差を把握することも、重要なことである。最近の若者は、モラルが低下しているということは多くの人々が指摘している。しかし、一方では年齢が上の年代の方が、勝つこと、生き残ることへの意識が高く、反面、思いやりやマナーに

かけるという意見が聞かれることもある。はたして、年代によって道德への意識にどのような違いがあるのだろうか。あるいは、違いは見られないのだろうか。

加えて、本調査では成人の子ども時代の体験についても質問をしている。新しい学習指導要領では体験の重視が強調されており、体験を生かした道德教育の必要性も叫ばれている。子どもを取り巻く様々な環境の変化（自然環境、地域環境、家庭環境など）により、子どもの豊かな心の発達に必要な体験が不足しているのではという指摘がある。本調査では、子どもの頃の体験と道德性との関連について検討することも目的としている。

本調査は、このような問題意識から計画されたものである。なお、本報告書では、調査結果を記述することを中心としており、結果の解釈などは最小限のものとなっている。また、自由記述部分の結果のまとめや考察については、一部しか掲載していない。詳細な結果の解釈や考察、自由記述部分の研究については、今後の課題である。

平成 24 年 2 月

東京学芸大学「総合的道德教育プログラム」推進本部
本部長 佐藤郡衛

目次

はじめに

第1章	調査の目的と概要	1
第2章	＜問 1＞子どもの頃の体験についての年代と性別の比較	7
第3章	＜問 2＞道徳の内容項目についての大切さの意識と実践についての自己評価	23
第4章	＜問 3＞社会や教育における道徳の重要度などへの意識	55
第5章	＜問 4＞道徳に関する意識（規範に関する意識や自己意識の傾向）	63
第6章	体験と道徳的価値・実践力との関連について	71
第7章	まとめ	85

付録

東京学芸大学

平成 23 年度「総合的道德教育プログラム」推進本部（構成員）

◎：本部長 ○：副本部長

- | | |
|----------|--------------------|
| ◎ 佐藤 郡 衛 | 理事・副学長（総務等担当） |
| 國分 充 | 学系長（総合教育科学系） |
| 嶋中 道 則 | 学系長（人文社会科学系） |
| 金沢 育 三 | 学系長（自然科学系） |
| 有吉 正 博 | 学系長（芸術・スポーツ科学系） |
| 伊豆島 明 | 学務部長 |
| ○ 永田 繁 雄 | 教員養成カリキュラム開発研究センター |
| ○ 松尾 直 博 | 教育心理学講座 |
| 近藤 精 一 | 教職大学院 |
| 岩立 京 子 | 教育学講座 |
| 小森 伸 一 | 健康・スポーツ科学講座 |
| 北詰 裕 子 | 教育学講座 |
| 藤澤 文 | 推進本部特任講師 |

調査の目的と概要

第1章 調査の概要

1. 調査の主旨と概要

(1) 調査の目的

本調査の目的は、主に以下の4点である。

① 成人の子どもの頃の体験について把握する

日本の一般成人が、子どもの頃、道徳性の発達に関係するような体験（自然体験や社会体験）をどの程度しているのかを把握する。

② 成人の道徳への意識を把握する

日本の一般成人が、様々な道徳的価値について、どのような意識を持っているのかを検討する。特に学習指導要領で示される内容項目や、規範に関する意識、自己意識の傾向について把握する。

③ 成人の道徳教育への考えを把握する

日本の一般成人が、学校、家庭、地域で行われる道徳教育について、どのような考えを持っているのかについて検討する。

④ 上記変数についての年齢による違いや、変数間の関連について検討する

①から③のことについて、主に年齢（世代）や性別によって、どのような違いがあるかを検討する。また、子どもの頃の体験と成人の道徳性との関連について検討する。

(2) 調査の方法

①調査設計

- ・地 域 全国
- ・対 象 満20歳以上59歳以下の男女個人
- ・抽出方法 性・年齢による割当法
- ・調査方法 訪問留置訪問回収
- ・調査時期 平成22年2月4日～平成22年2月14日
- ・調査機関 社団法人 新情報センター

②回収結果 有効回収数 1,020票

<性別>男性514人、女性506人。

<年齢>20代213人、30代289人、40代244人、50代274人。

<地域>北海道51人、東北71人、関東337人、北陸51人、東北41人、東海102人、近畿163人、中国61人、四国41人、九州102人。詳しくは次項の表に示す。

表 1 地区別標本数・調査地点数

上段…標本数、中段…地点数、下段…地点番号

	都区部	その他の 大都市	人口20万 以上の市	人口10万 以上の市	人口10万 未満の市	郡 部 (町 村)	計
北海道		10 (1) 0111	10 (1) 0131	10 (1) 0151	10 (1) 0171	10 (1) 0191	50 (5)
東北		10 (1) 0211	20 (2) 0231~0232	10 (1) 0251	20 (2) 0271~0272	10 (1) 0291	70 (7)
関東	70 (7) 0301~0307	60 (6) 0311~0316	70 (7) 0331~0337	60 (6) 0351~0356	50 (5) 0371~0375	20 (2) 0391~0392	330 (33)
北陸		10 (1) 0411	10 (1) 0431	10 (1) 0451	10 (1) 0471	10 (1) 0491	50 (5)
東山			10 (1) 0531	10 (1) 0551	10 (1) 0571	10 (1) 0591	40 (4)
東海		30 (3) 0611~0613	20 (2) 0631~0632	20 (2) 0651~0652	20 (2) 0671~0672	10 (1) 0691	100 (10)
近畿		50 (5) 0711~0715	50 (5) 0731~0735	20 (2) 0751~0752	30 (3) 0771~0773	10 (1) 0791	160 (16)
中国		20 (2) 0811~0812	10 (1) 0831	10 (1) 0851	10 (1) 0871	10 (1) 0891	60 (6)
四国			10 (1) 0931	10 (1) 0951	10 (1) 0971	10 (1) 0991	40 (4)
北九州		20 (2) 1011~1012	10 (1) 1031	10 (1) 1051	10 (1) 1071	10 (1) 1091	60 (6)
南九州			10 (1) 1131	10 (1) 1151	10 (1) 1171	10 (1) 1191	40 (4)
計	70 (7)	210 (21)	230 (23)	180 (18)	190 (19)	120 (12)	1000 (100)

2. 調査内容

調査用紙の構成は以下のとおりである。

<問1> 18歳の頃までに体験したことについて

- (1) 子どもの頃の体験を尋ねる 17 項目について、どのぐらいの頻度で体験があったかの評定を求めた (4 段階評定)。質問内容は、「生活体験・自然体験が日本の子どもの心をはぐくむ」(生涯学習審議会)を参考にした。
- (2) 自己の形成に影響した体験について自由記述で回答を求めた。

<問2> 道徳の内容項目(学習指導要領)についての「大切さ」意識と自己評価

中学校学習指導要領の 24 の道徳の内容項目について A「どのぐらい大切だと思うか」、B「どのぐらい自分ができているか」について評定を求めた(それぞれ 5 段階評定)。

<問3> 社会や教育における道徳の重要度などの意識

- (1) 家庭・地域・学校などにおける道徳教育について 7 項目の評定を求めた (5 段階評定)。
- (4) 小中学校の道徳の時間の時間数についての意見を選択肢から選ぶ方法で回答を求めた。

加えて、以下のことについて回答を求めたが、本報告書では分析を行っていない。

- (2) 学校における道徳教育に期待することを自由記述。
- (3) 自身が受けて記憶に残っている道徳教育について自由記述。

<問4> 道徳に関する意識(規範に関する意識や自己意識の傾向)

規範意識と自己の向上等の意識に関する 8 項目について評定を求めた (5 段階評定)。

その他

次の項目について、回答を求めた。性別、年齢、職業、家族の数、結婚の有無、子どもの有無、生活の満足度 (5 段階評定)、悩みや不安 (5 段階評定)。性別と年齢以外は、本報告書では分析に使用していない。

*実際に使用した調査票を付録に示した。

調 査 結 果

第2章 <問1>子どもの頃の体験についての年代と性別の比較

(1) 18歳の頃までに体験したことについて

子どもの頃の体験として、「何度もあった」と「ときどきあった」と答えた割合を足した値から、全体的傾向を把握した。体験の割合の高いものとしては【ア】海、山、湖、川などで遊んだこと(91.1%)、【オ】生き物飼育をしたこと(84.5%)、【ソ】スポーツや運動をしたこと(91.1%)であった。体験の割合の低いものは、【ク】体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと(52.6%)、【ケ】清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと(51.7%)、【シ】編み物やさいほうをしたこと(52.5%)、【コ】木材を使ったものづくりをしたこと(61.4%)であった(図1-1)。

年代や性別に注目すると、以下のようなことが特徴としてみられた。【ア】海、山、湖、川などで遊んだことについては、若い年代で減少している傾向が見られた。【エ】魚や貝や昆虫をつかまえたことについては、特に男性において、若い年代で減少している傾向が見られた。【コ】木材を使ったものづくりをしたことについても、特に男性において、若い年代で減少している傾向が見られた。【シ】編み物やさいほうをしたことについては、特に女性において、若い年代で減少している傾向が見られた(図1-2、図1-3)。

【ケ】清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと、【サ】包丁やナイフを使って調理をしたこと、【セ】家の手伝い(家事や家業など)をしたことについては、50代から30代にかけて減少傾向が見られるが、20代では体験した人が増えている傾向が見られる。「何度もあった」と「ときどきあった」と答えた割合を足した値では、その他の項目でも、30代よりも20代の方が高い項目がいくつもある。全体的に、若い年代で体験が少なくなっている傾向が見られるが、30代よりも20代の方が体験した割合が高いものもいくつもあり、学校教育や地域教育が取り組んでいる意図的な体験活動が、一定の効果を上げつつあるとも考えられる。

(2) 自己形成に影響したと思われる体験の自由記述

自己形成に影響したと思われる体験について自由記述で回答を求めた。体験については、問1の(1)で挙げた17の体験でも構わないし、それ以外の体験でも構わないという指示であった。自由記述の回答に書かれたキーワードの中から、頻度が高かったもの(頻度が4以上のもの)を年齢別にまとめたのが表2である。

20代では【部活動】が最も書かれた言葉である。部活動は、他の年代でも上位にあるが、年代が上がるにつれて順位は下がっている。30代では部活動の他に、【スポーツ】も上位にあることから、若い世代では部活動やスポーツが自己形成に影響を与える体験として、重要だと認識されていることが示された。部活動の全員参加が促されたり、部活動以外のスポーツ体験の機会も増えたりした時代に育った世代と推測される。

30代では【自然】が最も多く書かれた言葉であった。20代、50代でも上位にあり、自然体験も人格形成に影響を与える体験であると言えよう。30代、40代、50代では、【海】

【山】【川】という言葉も上位にあり、こうした言葉も含めて自然体験が人格形成に影響を与えたと感じている成人が多いことが分かる。

40代では、【子供】が一番多く書かれているが、記述内容をみるとその多くが「子供の時」「子供の頃」という時期を表す記述で使われており、同じく上位にある【今】も「今の自分に影響を与えている」という文脈で使われていることがほとんどであった。したがって、実質的に上位に来るのは【家】【親】などになる。50代では、【家】が一番多く書かれていた。また、【手伝い】も上位にある。他の年代でも、【親】、【家】、【家族】、【両親】などが上位にある。特別なことではなく、家族との触れ合いや家の手伝い、このような日常的な生活が自己形成に影響を与えているという回答も多くあったと言える。

【友達】、【友人】も20代、30代、40代では上位であった。50代でも、多く書かれた言葉である。友人との関係も、自己形成に影響を与える体験であったと推測される。

問1 あなたは子どもの頃(概ね18歳以下)、以下のような体験がどのくらいありましたか。

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

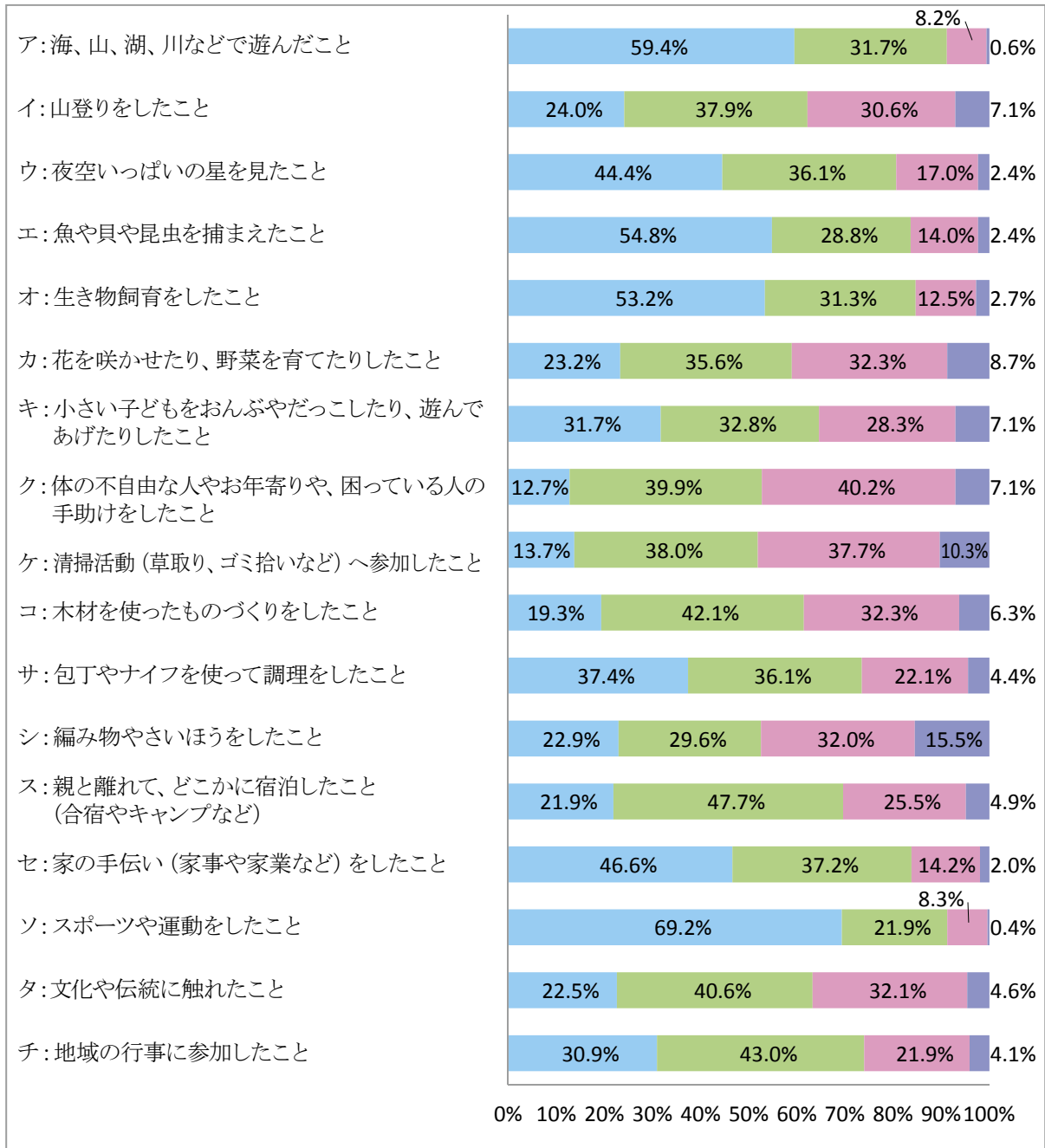


図1-1 子どもの頃の体験

問1 あなたは子どもの頃(概ね18歳以下)、以下のような体験がどのくらいありましたか。＜年代別結果＞

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

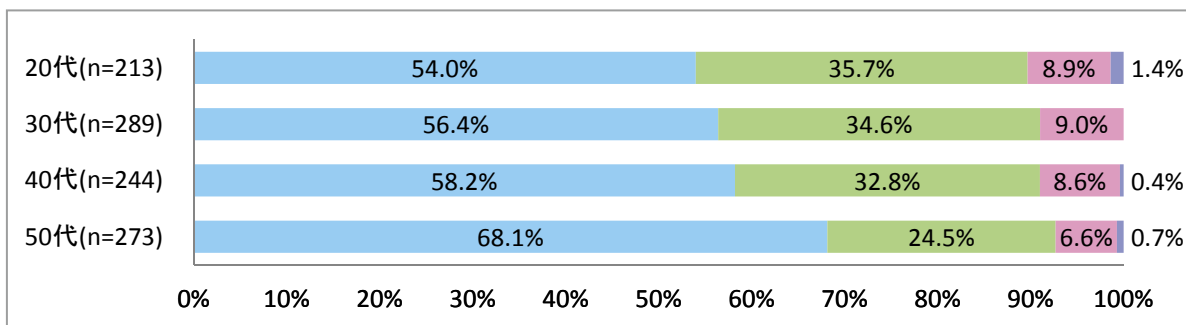


図1-2-ア 海、山、湖、川などで遊んだこと

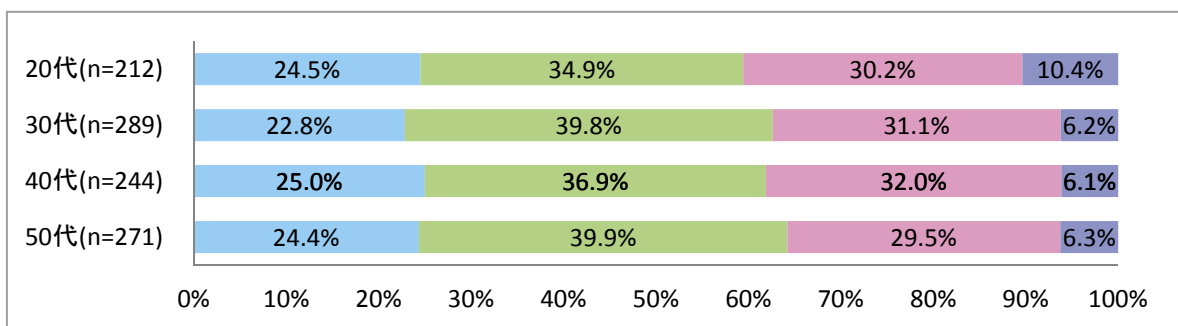


図1-2-イ 山登りをしたこと

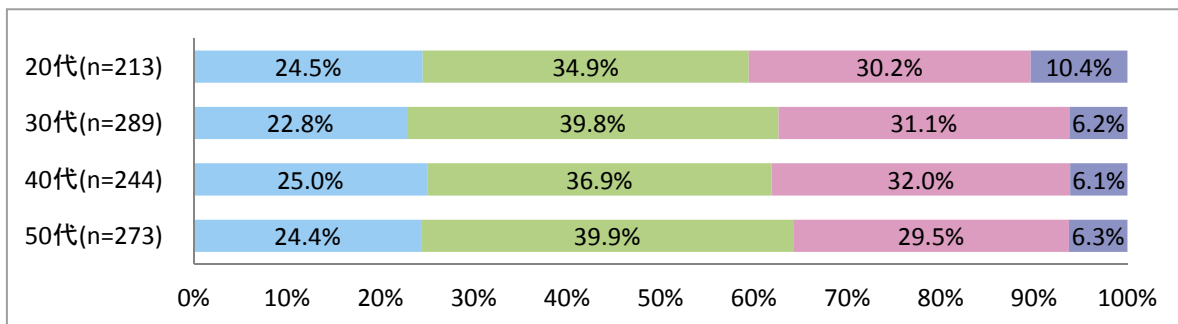


図1-2-ウ 夜空いっぱいの星を見たこと

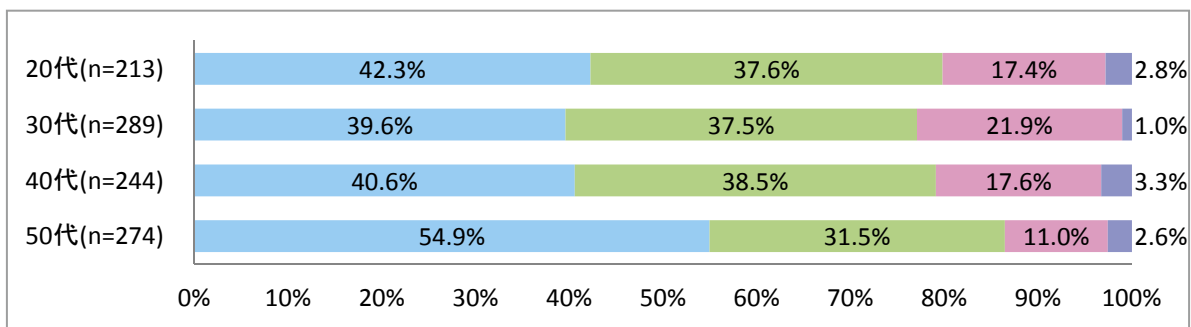


図1-2-エ 魚や貝や昆虫をつかまえたこと

■ 何度もあった ■ とどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

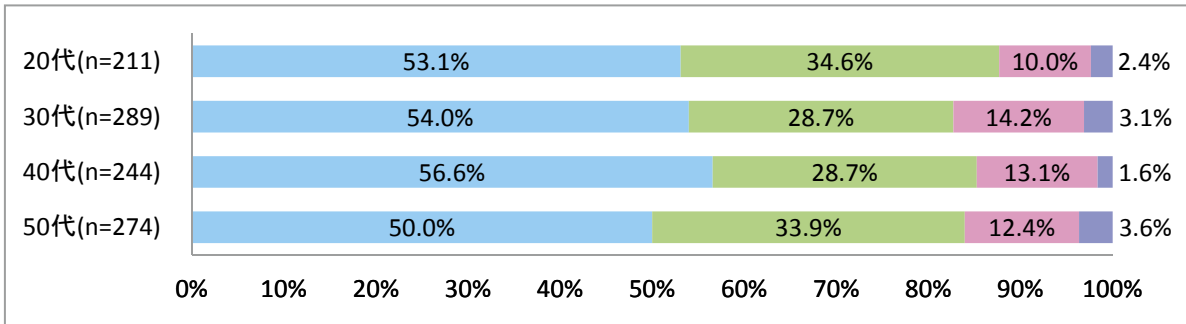


図1-2-オ 生き物飼育をしたこと

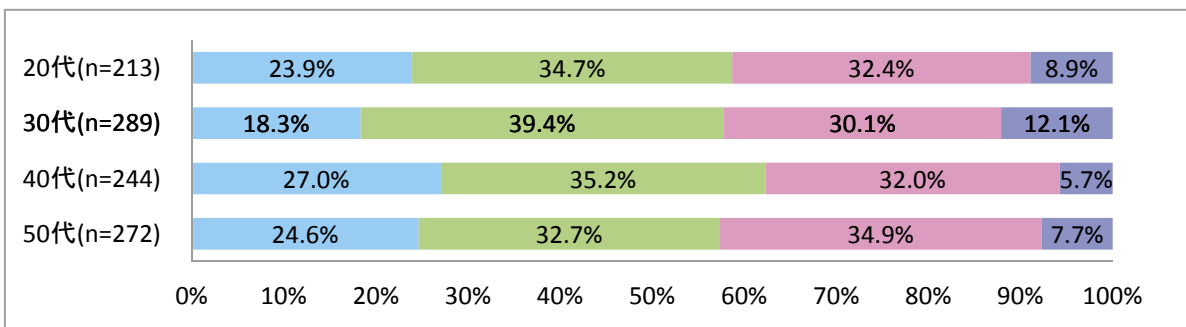


図1-2-カ 花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと

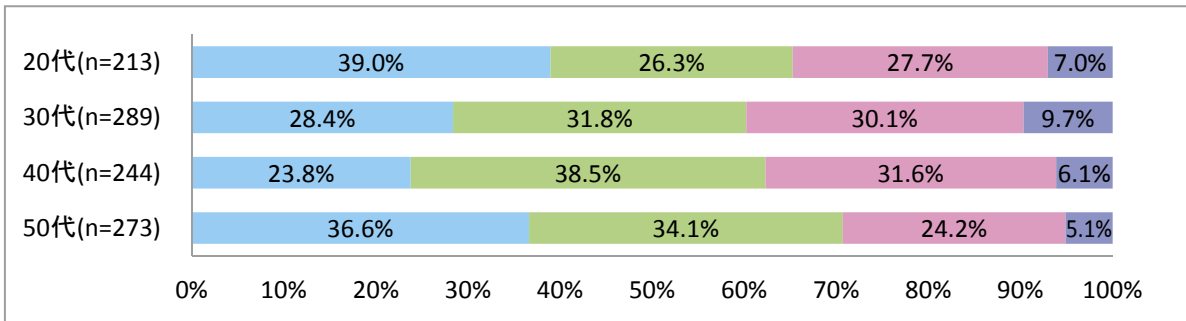


図1-2-キ 小さい子供をおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと

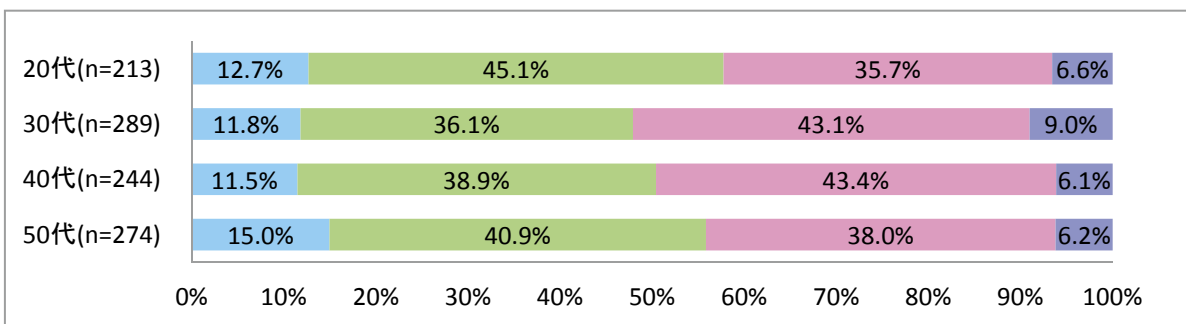


図1-2-ク 体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

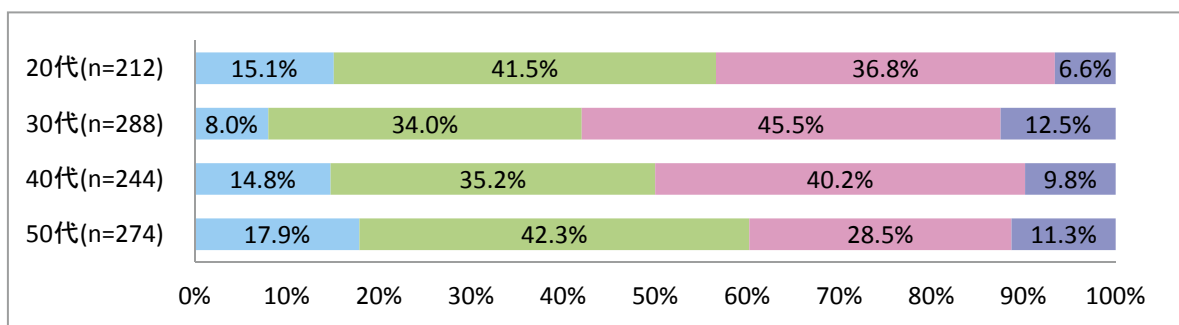


図1-2-ケ 清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと

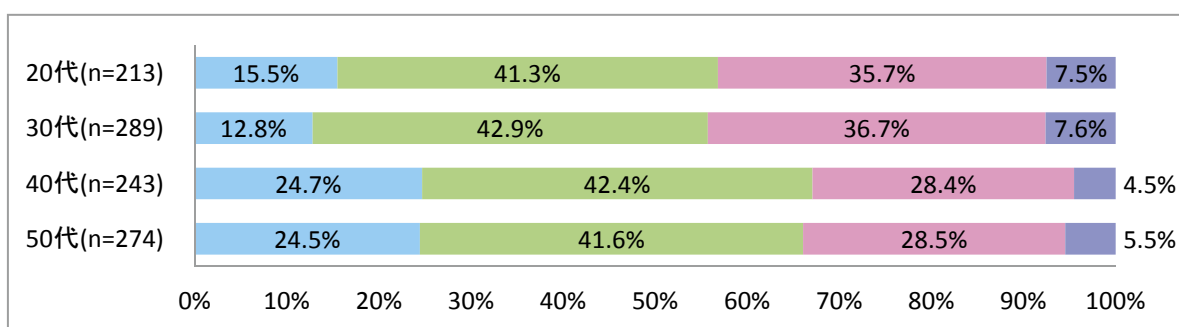


図1-2-コ 木材を使ったものづくりをしたこと

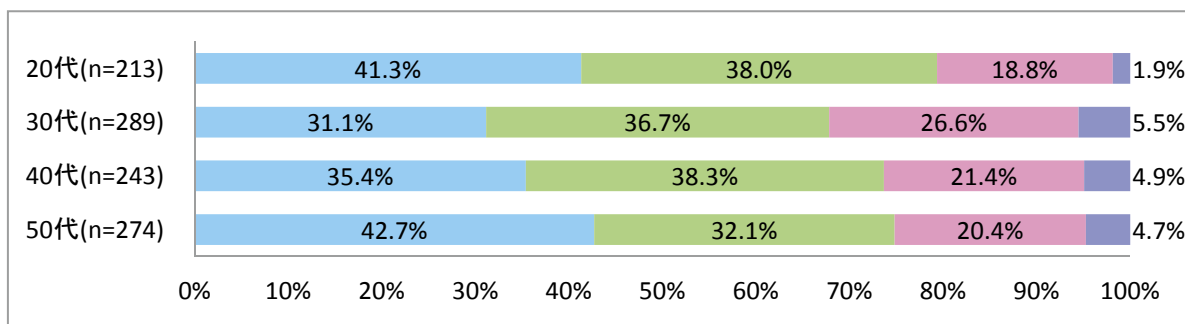


図1-2-サ 包丁やナイフを使って調理をしたこと

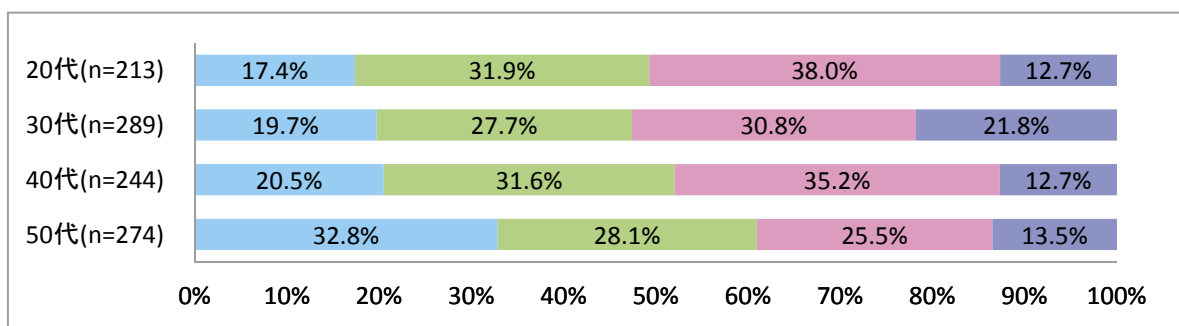


図1-2-シ 編み物やさいほうをしたこと

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

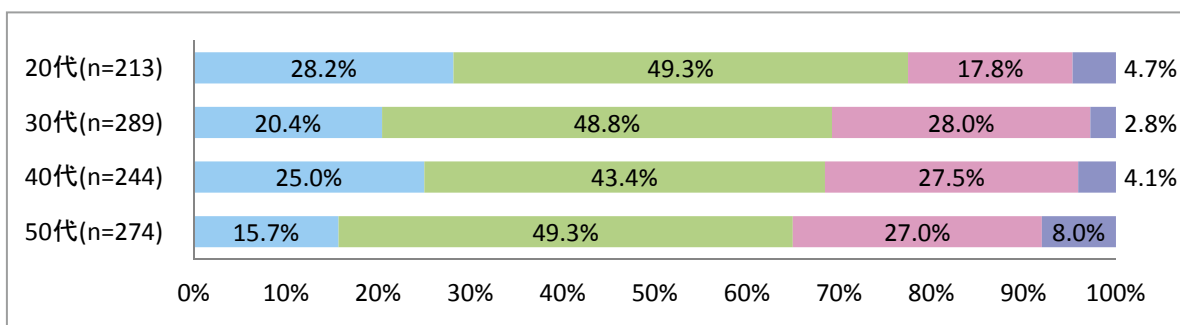


図1-2-ス 親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)

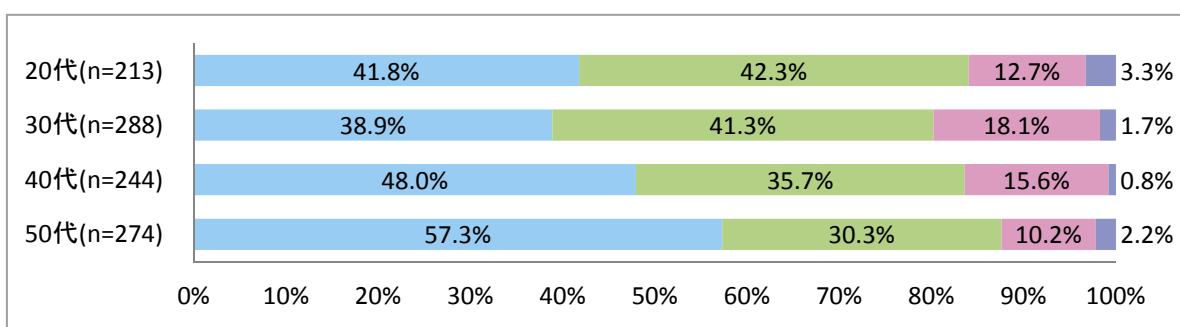


図1-2-セ 家の手伝い(家事や家業など)をしたこと

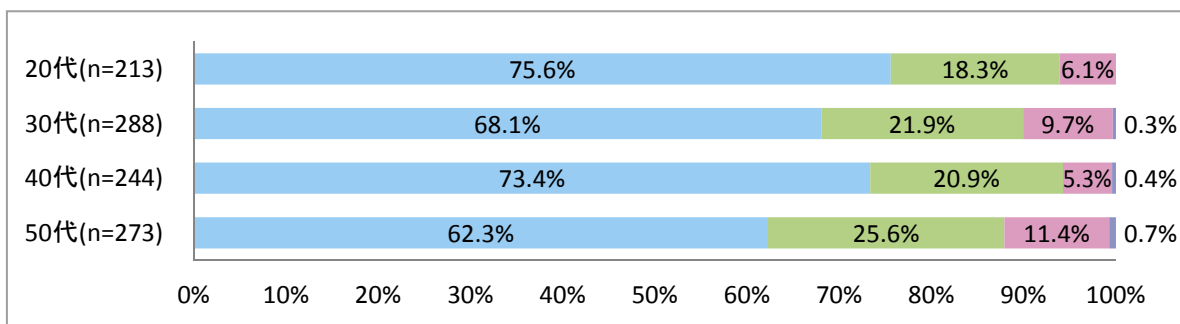


図1-2-ソ スポーツや運動をしたこと

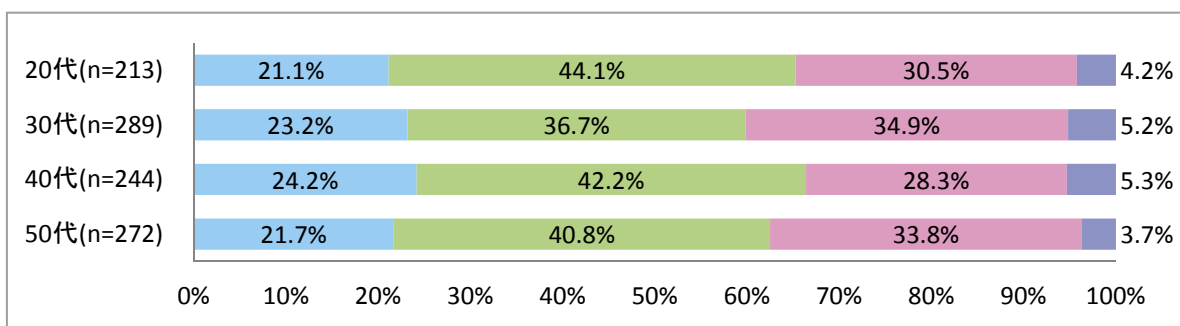


図1-2-タ 文化や伝統に触れたこと

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

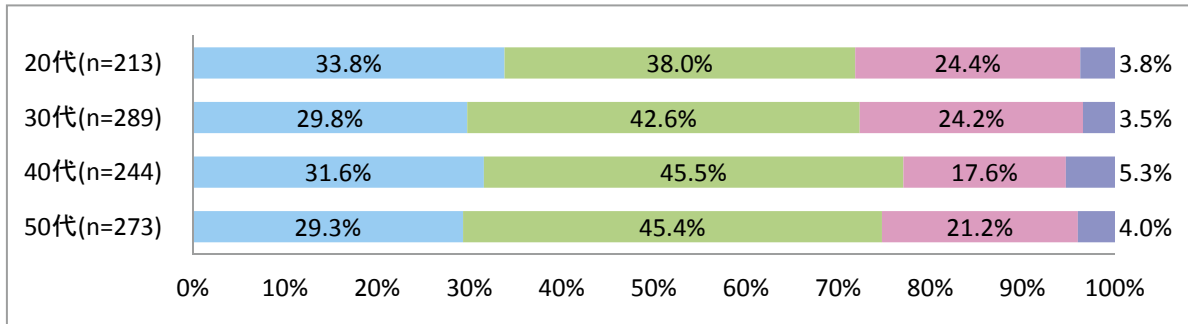


図1-2-チ 地域の行事に参加したこと

問1 あなたは子どもの頃(概ね18歳以下)、以下のような体験がどのくらいありましたか。〈年代・性別結果〉

■ 何度もあった ■ とどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

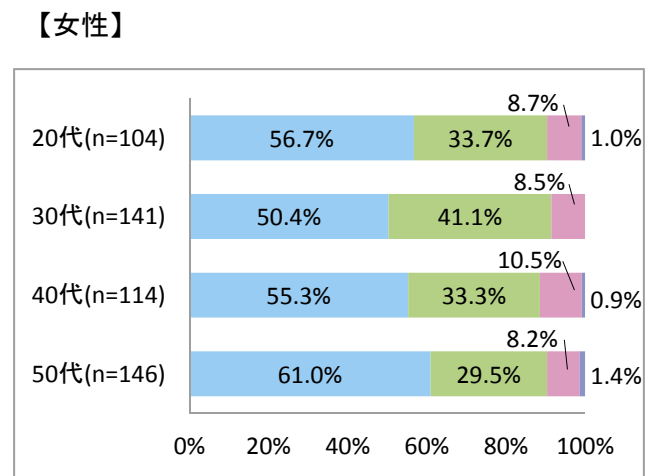
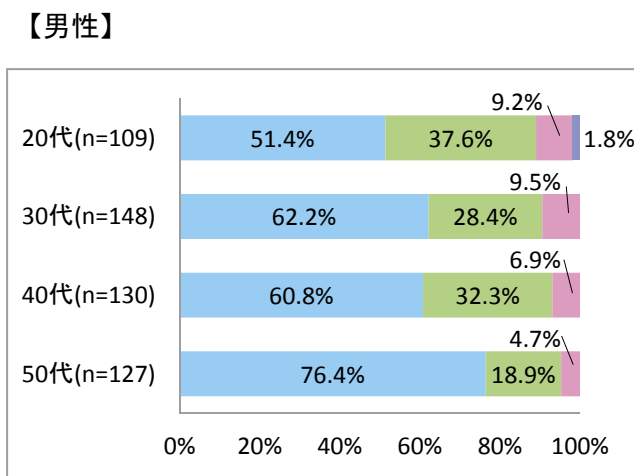


図1-3-ア 海、山、湖、川などで遊んだこと

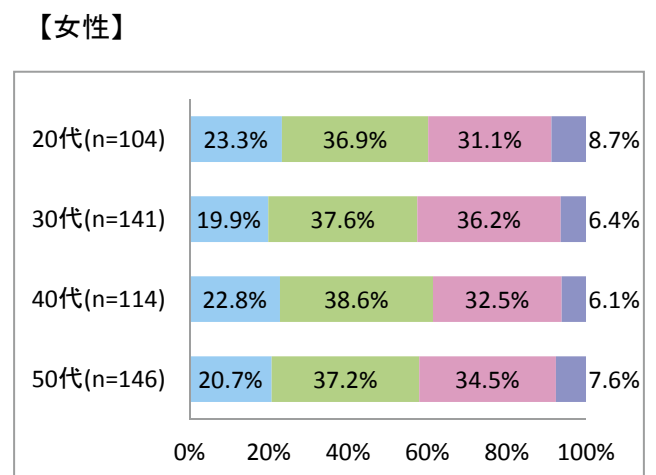
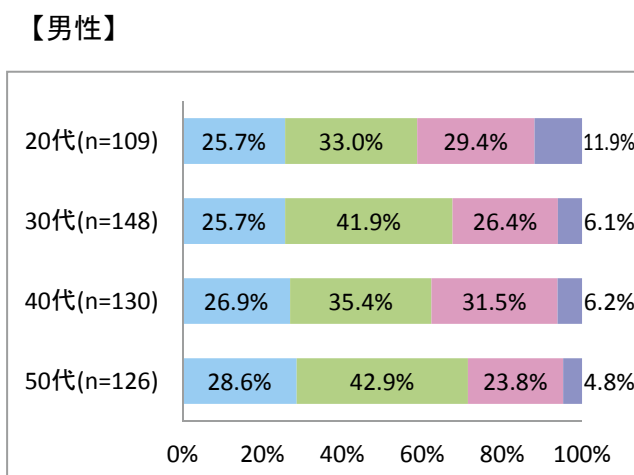


図1-3-イ 山登りをしたこと

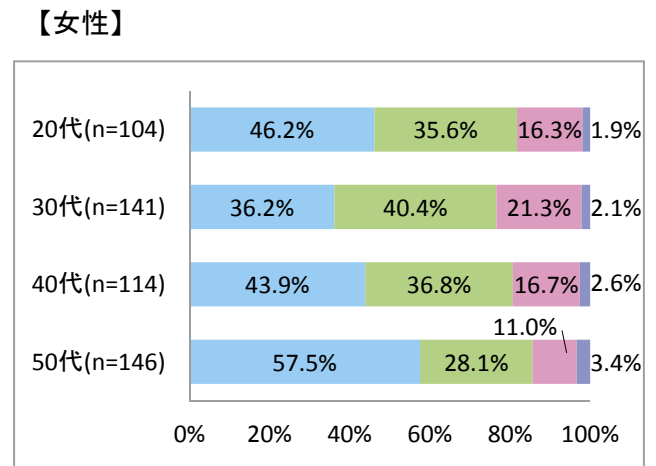
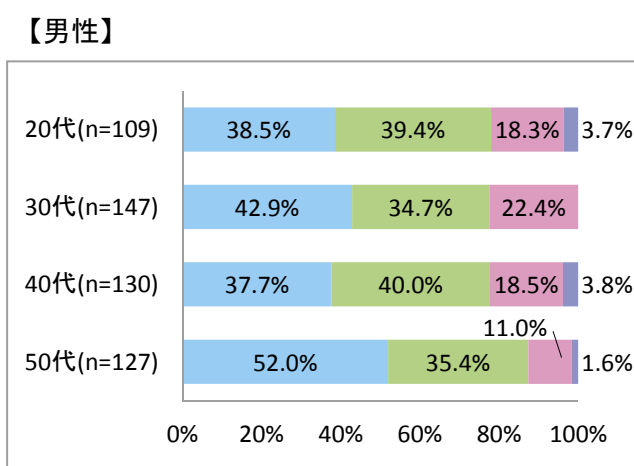


図1-3-ウ 夜空いっぱいの星を見たこと

■ 何度もあった ■ とときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

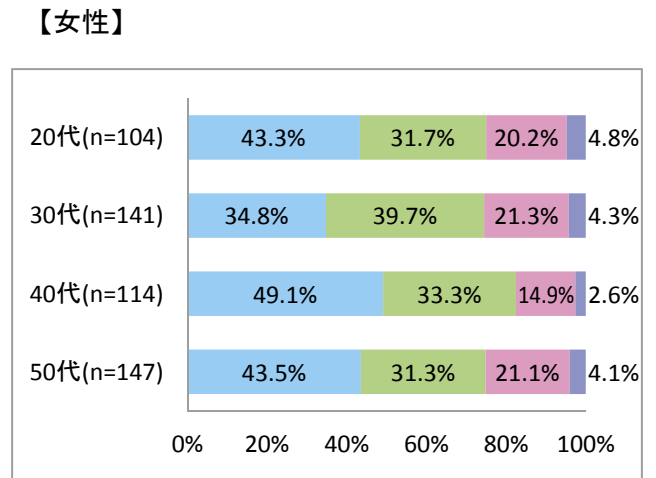
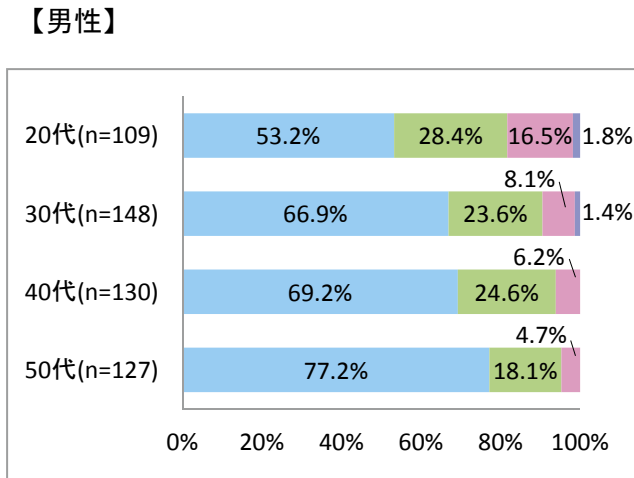


図1-3-エ 魚や貝や昆虫をつかまえたこと

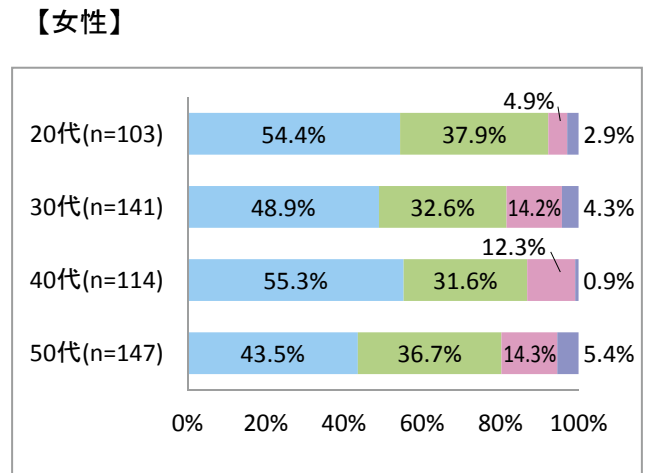
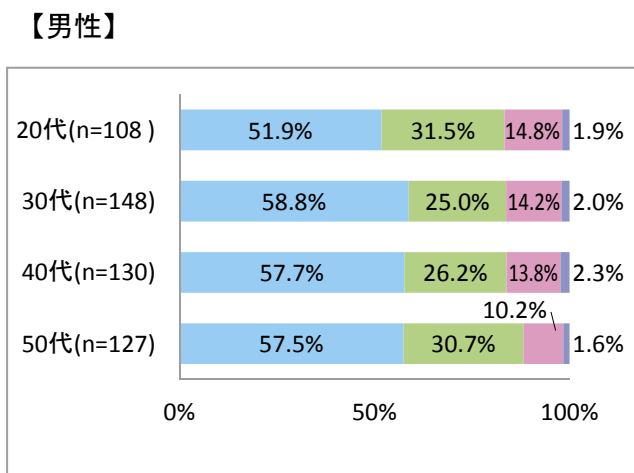


図1-3-オ 生き物飼育をしたこと

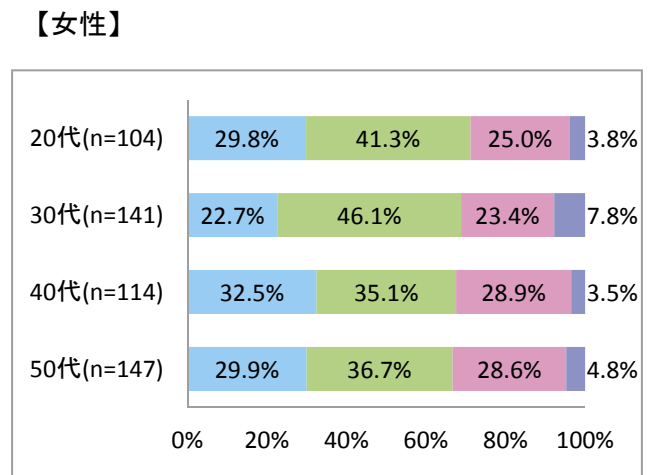
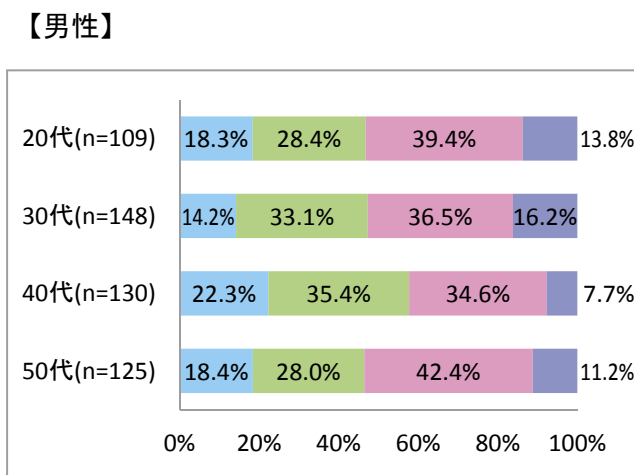
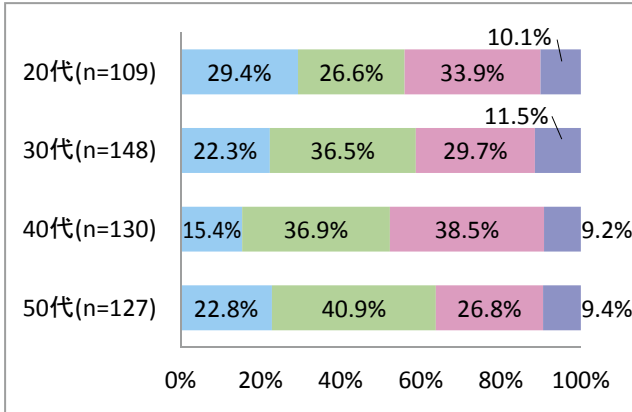


図1-3-カ 花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと

■ 何度もあった ■ とどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

【男性】



【女性】

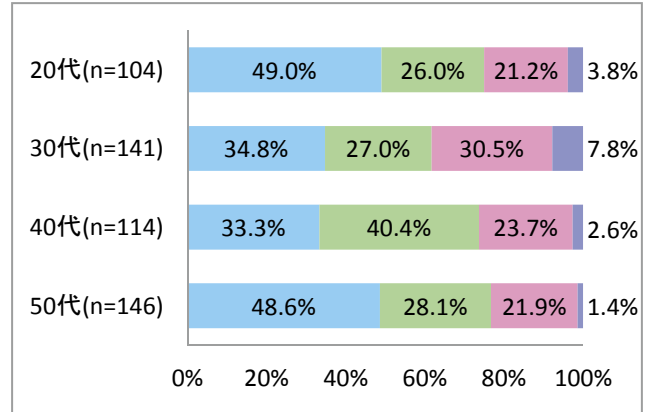
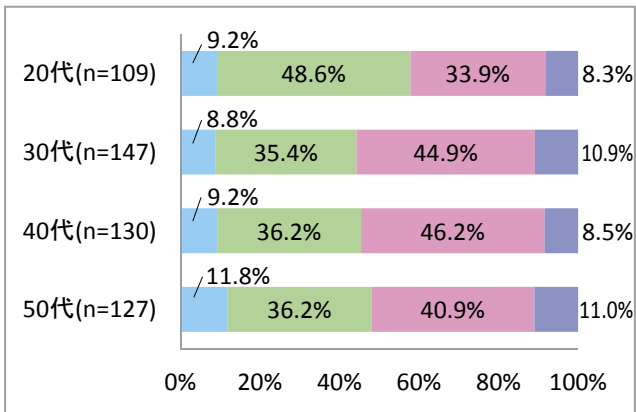


図1-3-キ 小さい子供をおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと

【男性】



【女性】

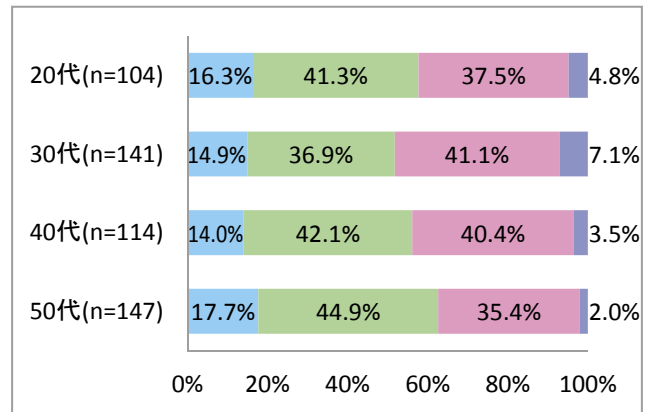
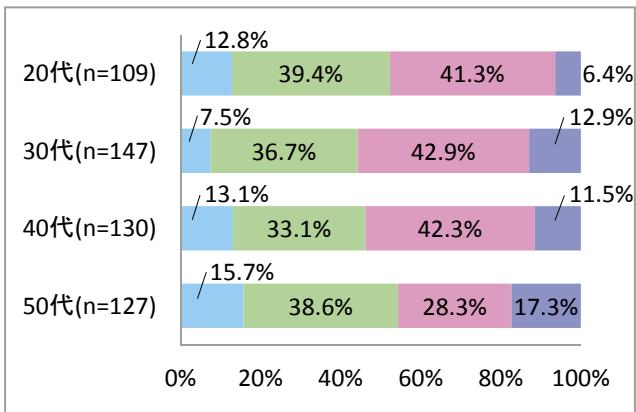


図1-3-ク 体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと

【男性】



【女性】

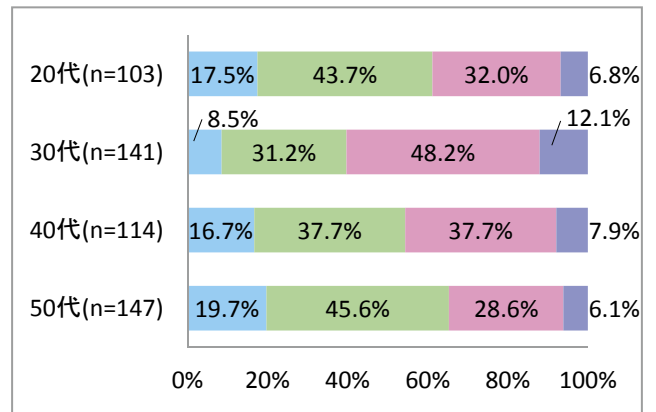
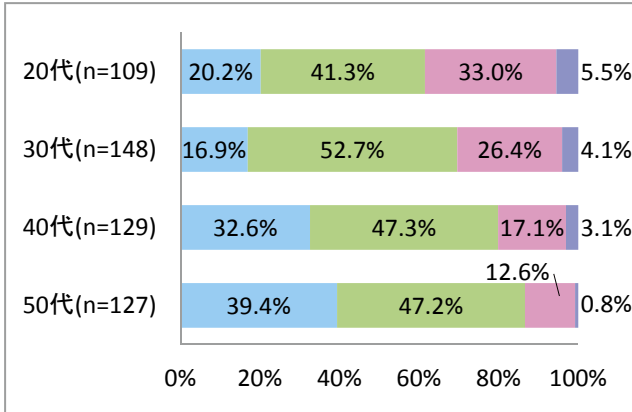


図1-3-ケ 清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと

■ 何度もあった ■ とどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

【男性】



【女性】

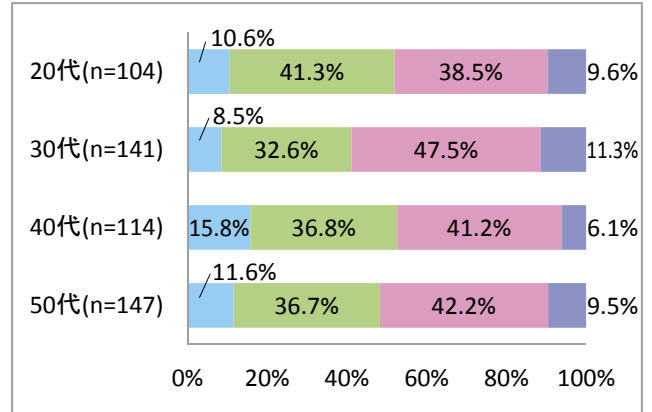
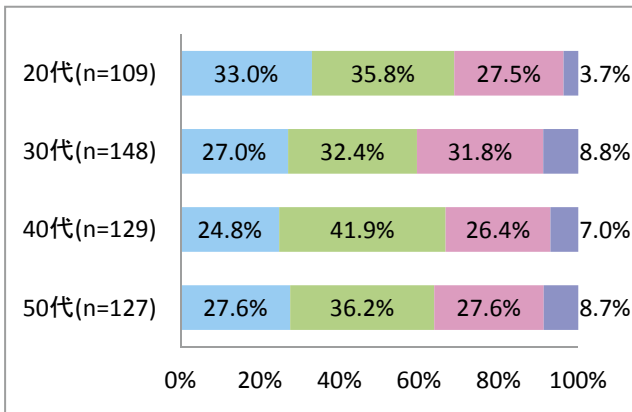


図1-3-コ 木材を使ったものづくりをしたこと

【男性】



【女性】

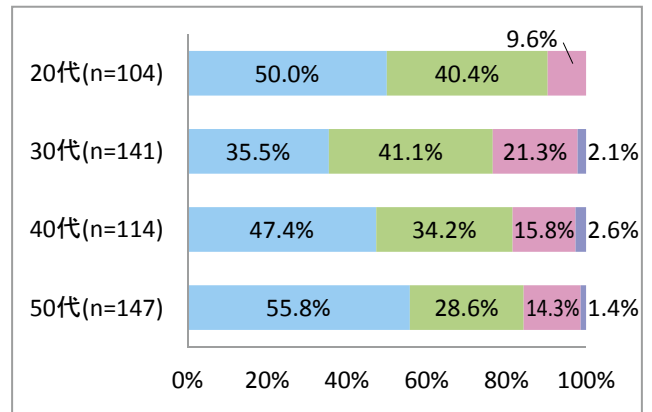
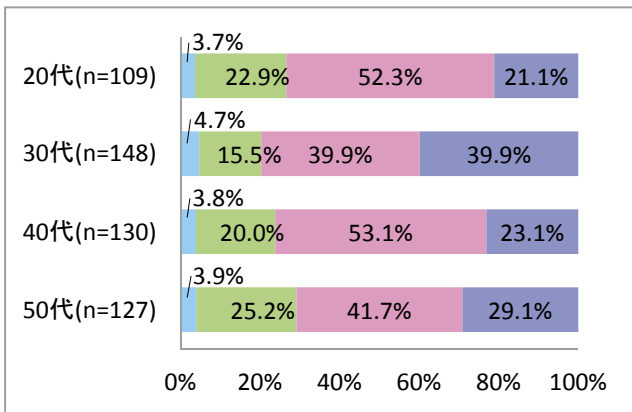


図1-3-サ 包丁やナイフを使って調理をしたこと

【男性】



【女性】

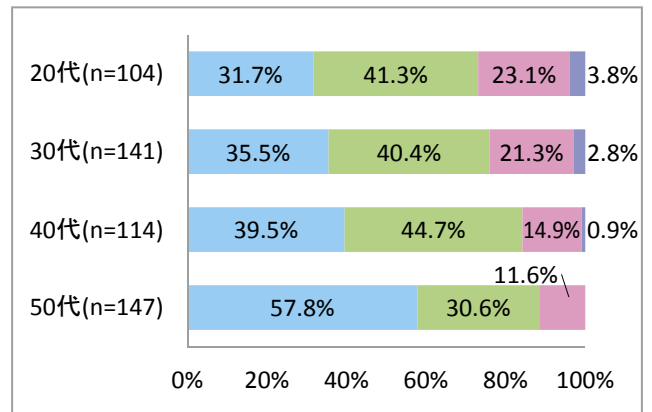
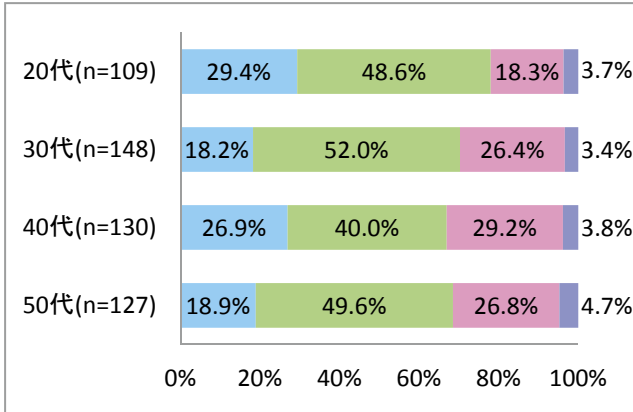


図1-3-シ 編み物やさいほうをしたこと

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

【男性】



【女性】

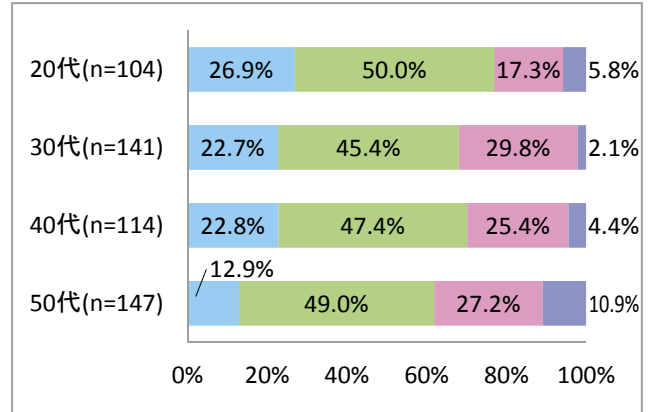
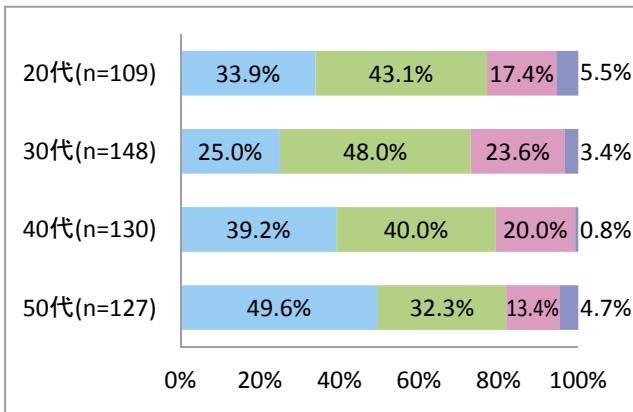


図1-3-ス 親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)

【男性】



【女性】

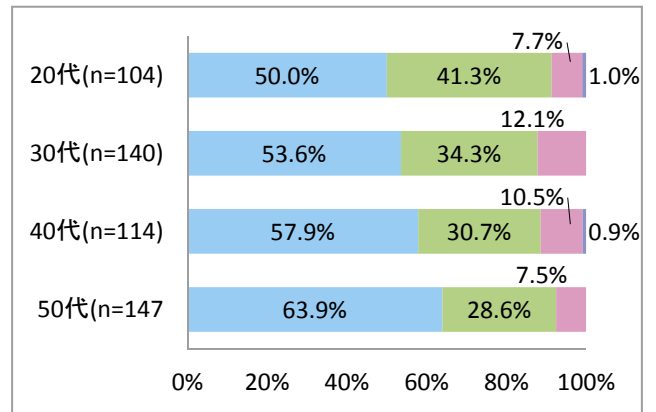
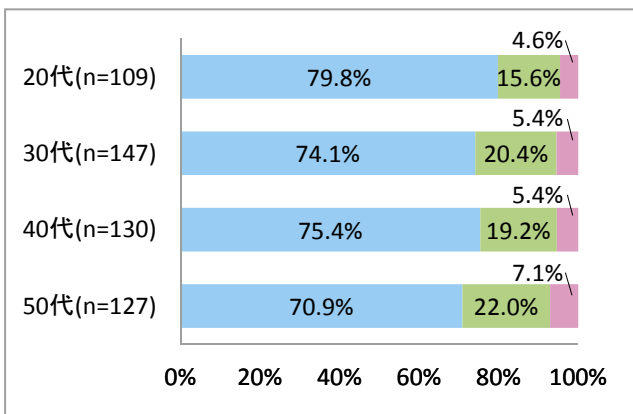


図1-3-セ 家の手伝い(家事や家業など)をしたこと

【男性】



【女性】

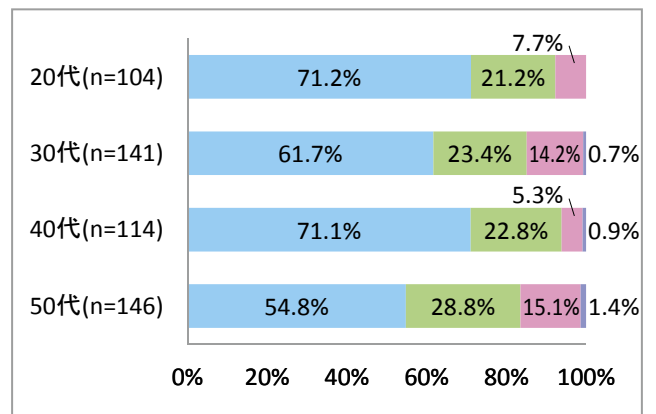
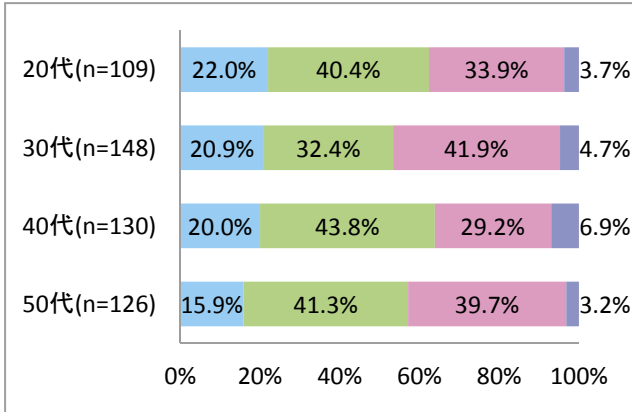


図1-3-ソ スポーツや運動をしたこと

■ 何度もあった ■ ときどきあった ■ あまりなかった ■ 全くなかった

【男性】



【女性】

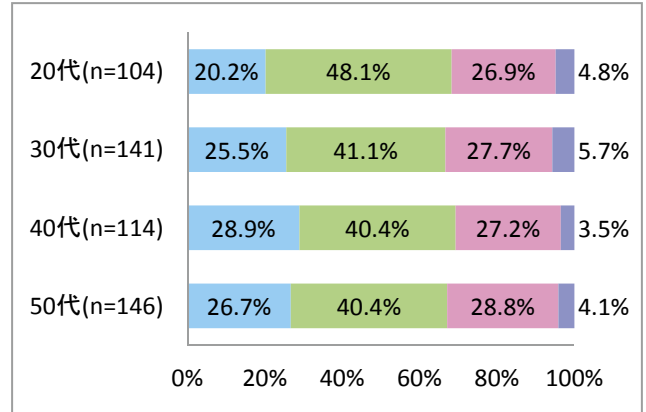
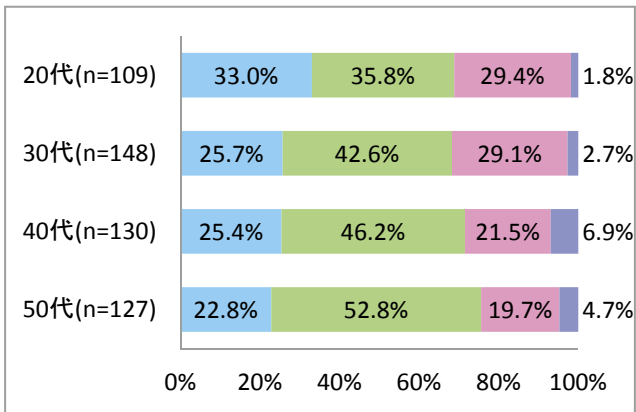


図1-3-タ 文化や伝統に触れたこと

【男性】



【女性】

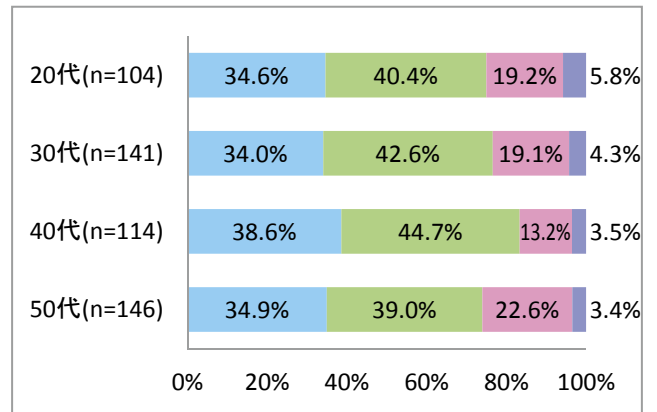


図1-3-チ 地域の行事に参加したこと

表2 自己の形成に影響した体験についての自由記述結果(問1(2))

今の自分の形成に、特に影響したと思われる体験は何ですか。以下の枠内に、自由にお書きください。
 (1) のア～チで挙げた体験でも結構ですし、それ以外の体験でもかまいません。

20代	30代	40代	50代
部活動	自然	子供	家
自然	自分	今	今
体験	スポーツ	自分	手伝い
人	体験	家	自分
親	部活動	親	自然
多く	手伝い	友達	子供
家	子供	体験	親
スポーツ	家族	生活	川
自分	今	近所	人
キャンプ	山	部活動	山
小学校	家	人	高校
友達	親	友人	飼育
子供	友人	仕事	体験
ピアノ	友達	地域	私
犬	外	家族	生活
高校	影響	海	影響
中学	祖父母	影響	両親
機会	仕事	経験	母
飼育	海	父	生き物
料理	両親	スポーツ	海
学校	運動	山	家事
経験	父	学校	近所
ふれあい	キャンプ	川	部活動
時間	高校	大人	小学校
友人	ふれあい	母	交流
毎日	人	両親	学校
高校時代	近所	田舎	中学
両親	母	外	友人
田舎	生活	一緒	仕事
運動	参加	参加	友達
習い事	料理	中学	姉
気持ち	学校	高校時代	先生
中学校	川	飼育	兄
調理	小学校	形成	人達
生き物	クラブ活動	人達	小学生
	動物	高校	時代
	年寄り	子	同居
	旅行	行事	家庭
	大切	小学校	昔
	大人	アルバイト	毎日
	地域	世話	年令
	夏休み	実家	人間
	子供会	運動	農作業
	時間	父親	動物
	環境	交流	外
	祖母	活動	父
	世話	物	しつけ
	交流	みんな	田んぼ
	先生		犬
	体		母親
	勉強		一緒
			祖父母

第 3 章 <問 2> 道徳の内容項目についての大切さの意識と 実践についての自己評価

(1) 道徳の内容項目をどのくらい大切と思うか

中学校学習指導要領に示されている道徳の内容項目について、「どのくらい大切だと思うか」について回答を求めた。「大切である」と回答した割合が高かったものは、【キ）温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。<思いやり>】(77.3%)、【カ）礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。<礼儀>】(76.3%)、【シ）生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する<生命の尊重>】(75.1%)、【ト）父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。<家族>】(66.6%)、【ク）友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。<友情>】(65.3%)であった。「大切である」と「どちらかという大切なものである」と答えた割合を足し合わせた値は、全ての項目で 70%を超えており、学習指導要領で示されている道徳の内容項目は、一般成人からも大切と思われている道徳的価値であることが示されたといえよう（図 2-1）。

年代別に見ると、アからカの内容項目の 1 の視点（学習指導要領の「主として自分自身に関すること」）、キからサの 2 の視点（「主として他の人とかかわりに関すること」）については、年代の差があまりないが、若い世代の方が大切だと思っている割合が高い傾向があった。シからセの 3 の視点（「主として自然や崇高なものとかかわりに関すること」）、ソからネの 4 の視点（「主として集団や社会とかかわりに関すること」）では、上の年代の方が大切だと思っている割合が高い傾向が見られた。自分自身や身のまわりの人に関する価値観は若い成人で発達するが、生命や大きな集団に対する価値観は、40 代以降に発達していく可能性が示された（図 2-2）。

問2A 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい大切だと思いますか。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

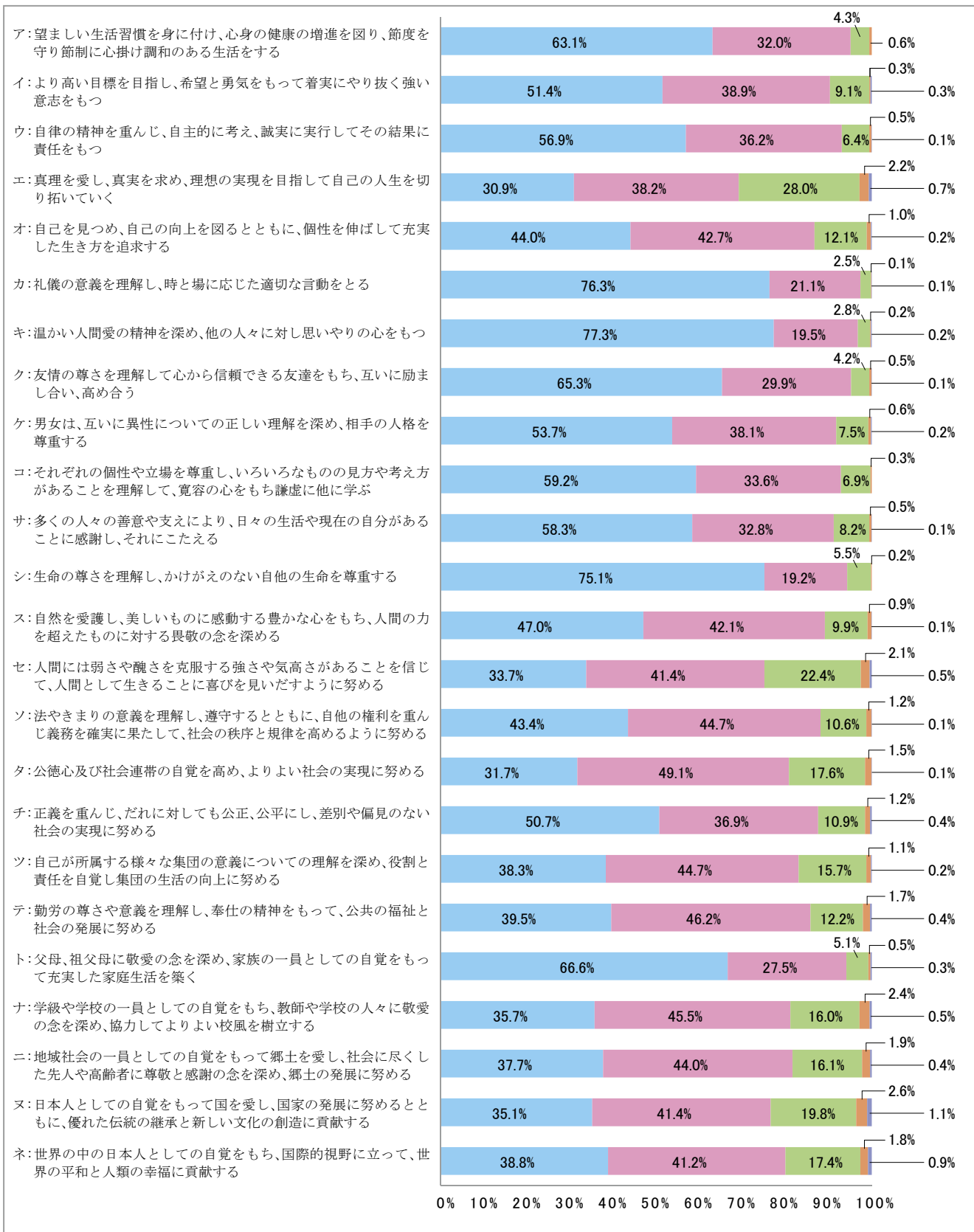


図2-1 道徳の内容項目の重要度

問2A 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい大切だと思いますか。＜年代別結果＞

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
 ■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

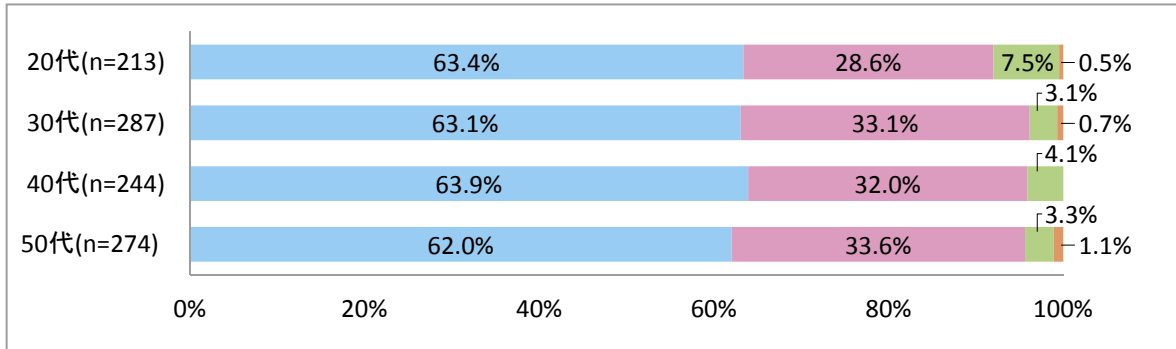


図2-2-ア 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。

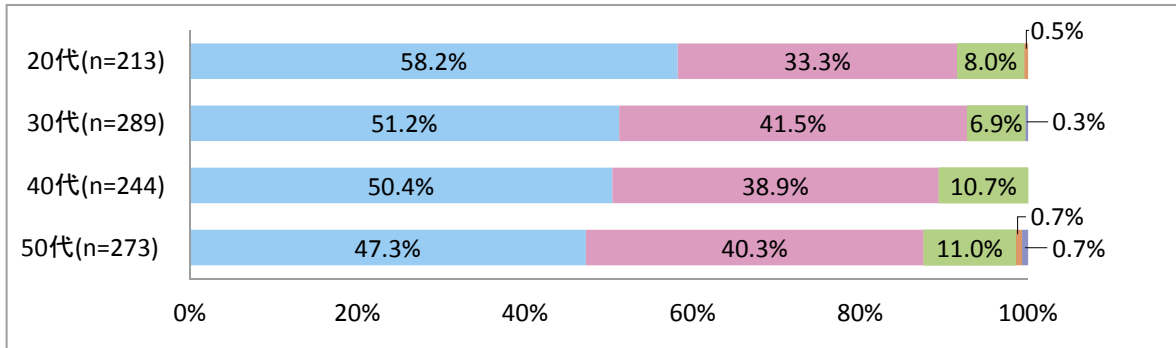


図2-2-イ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。

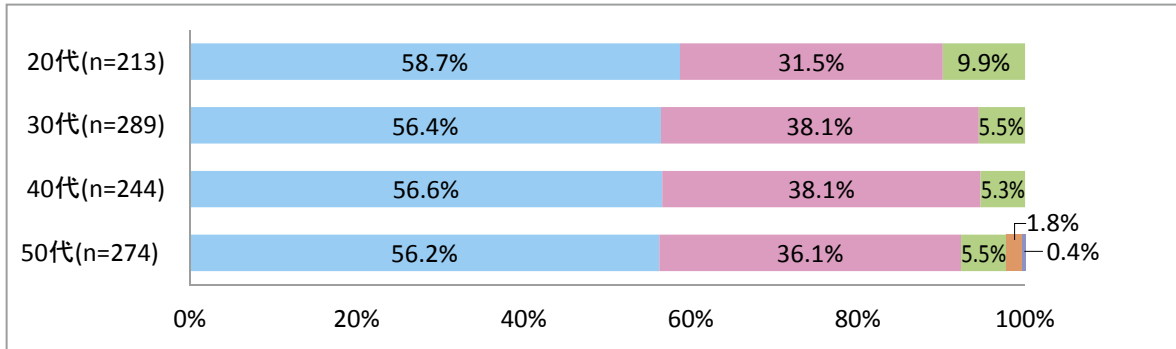


図2-2-ウ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

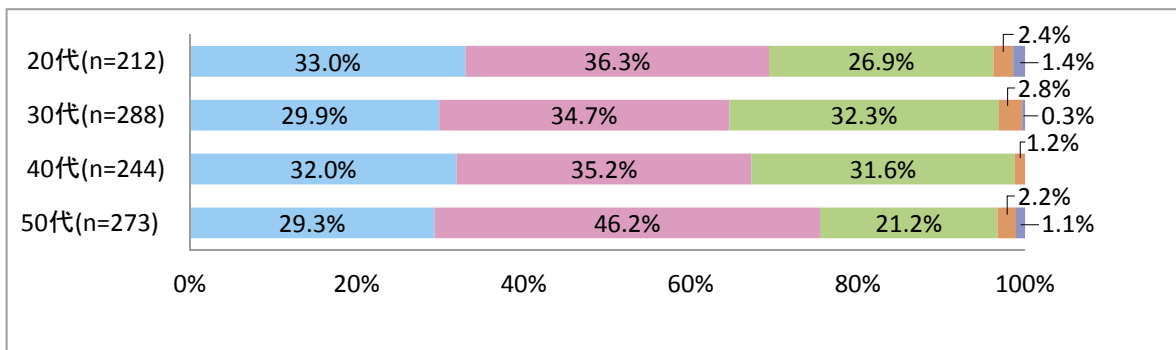


図2-2-エ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

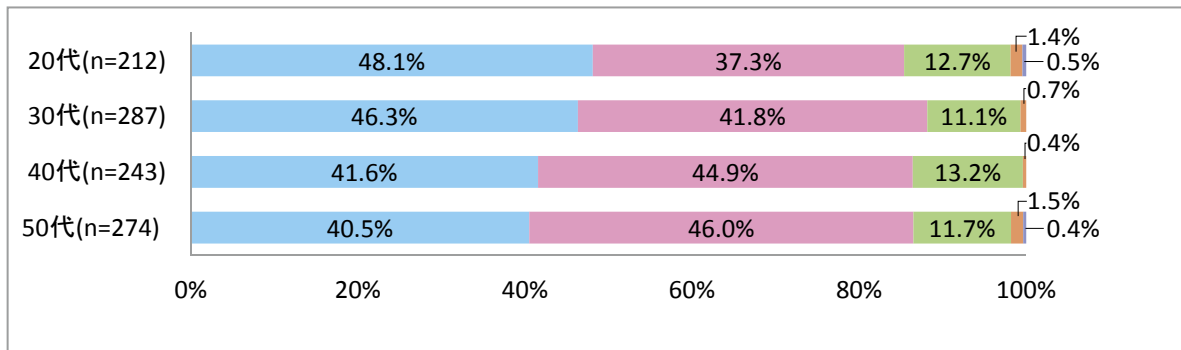


図2-2-オ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

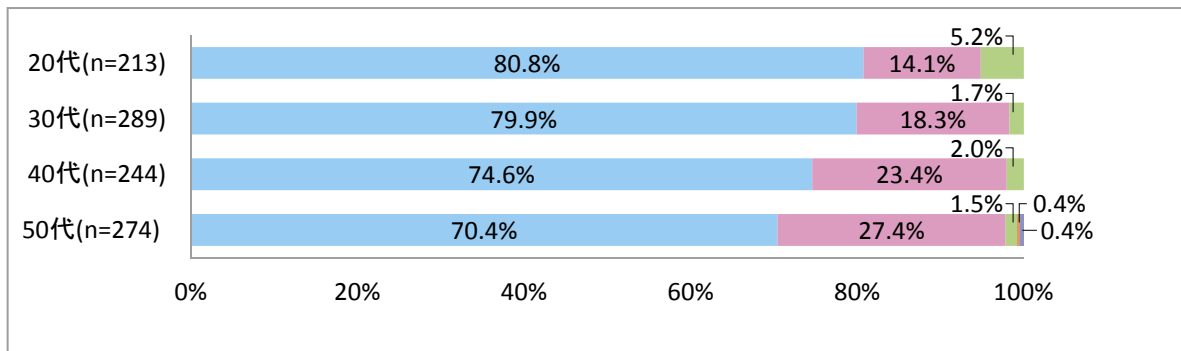


図2-2-カ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

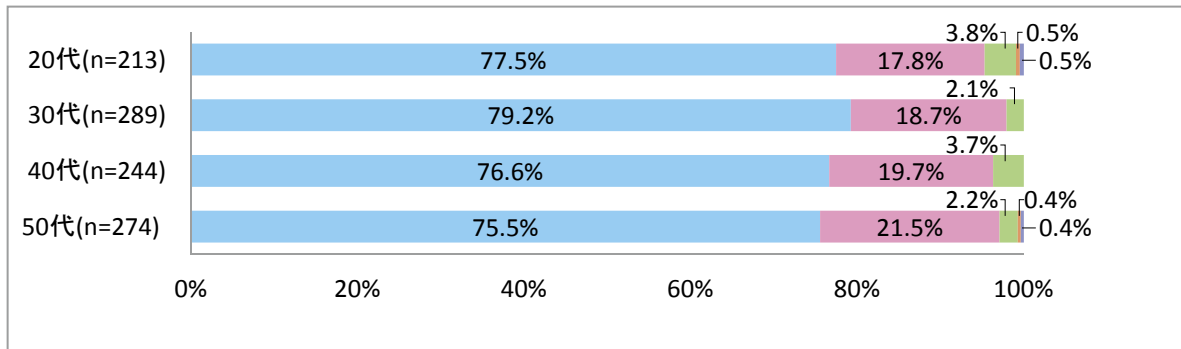


図2-2-キ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

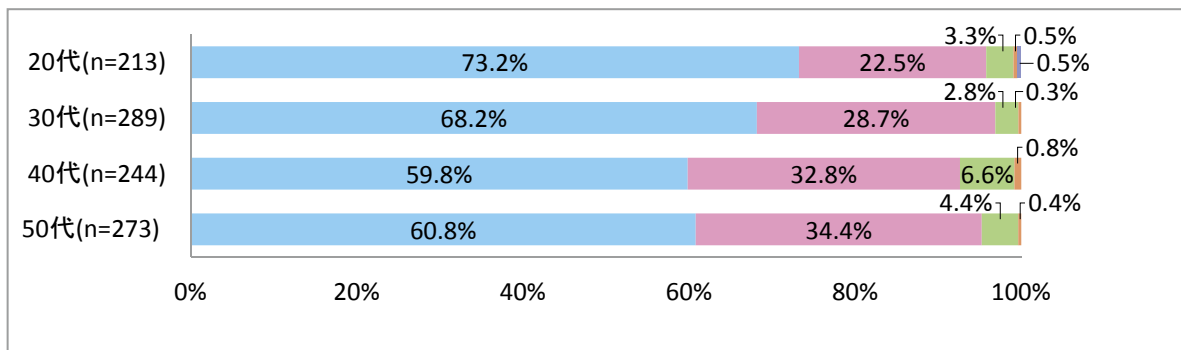


図2-2-ク 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
 ■ どちらかという大切なではない ■ 大切ではない

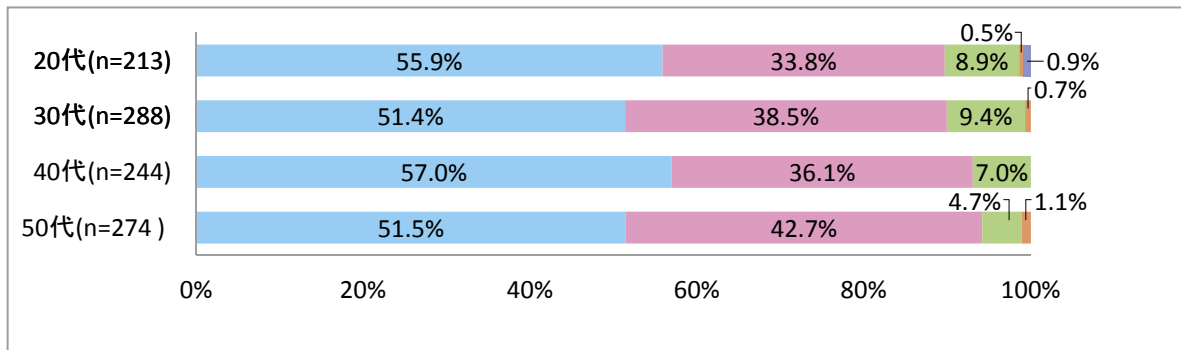


図2-2-ケ 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

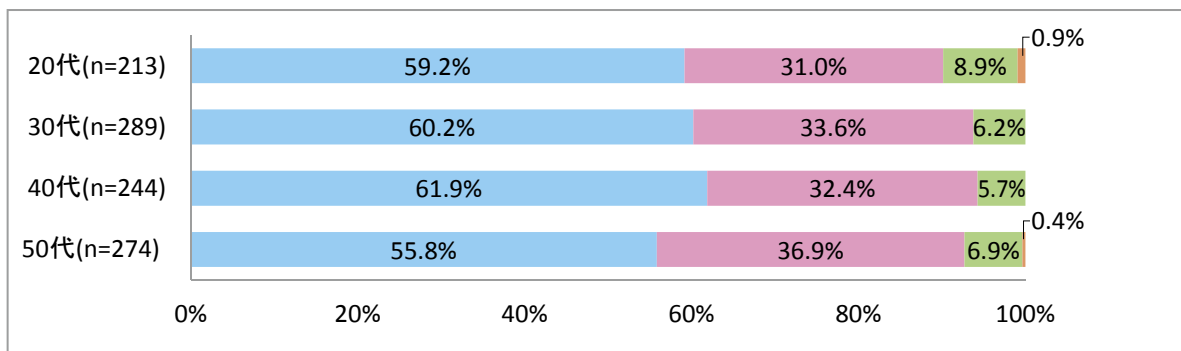


図2-2-コ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。

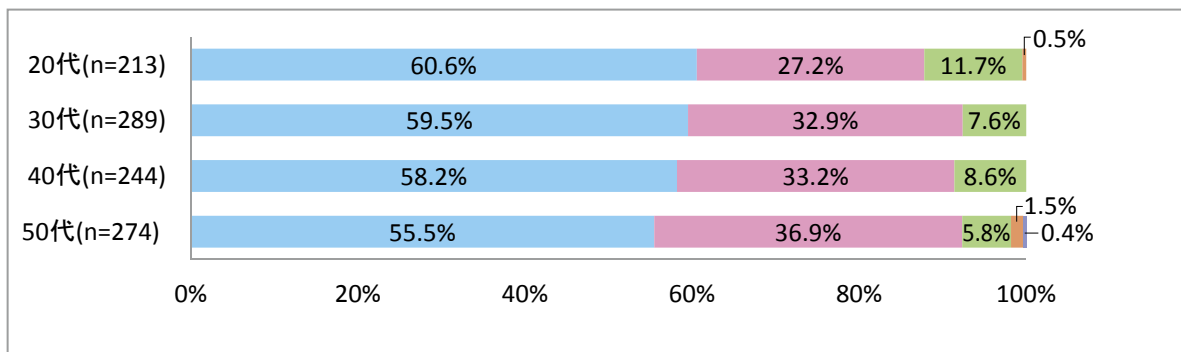


図2-2-サ 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。

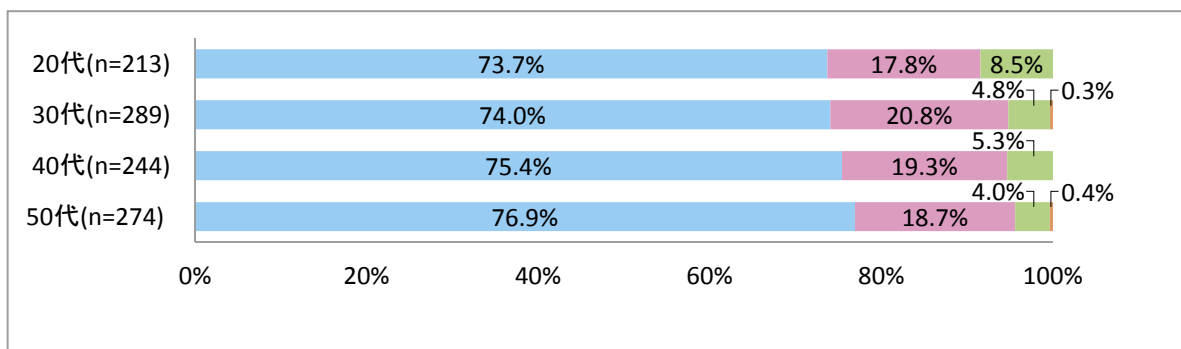


図2-2-シ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
 ■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

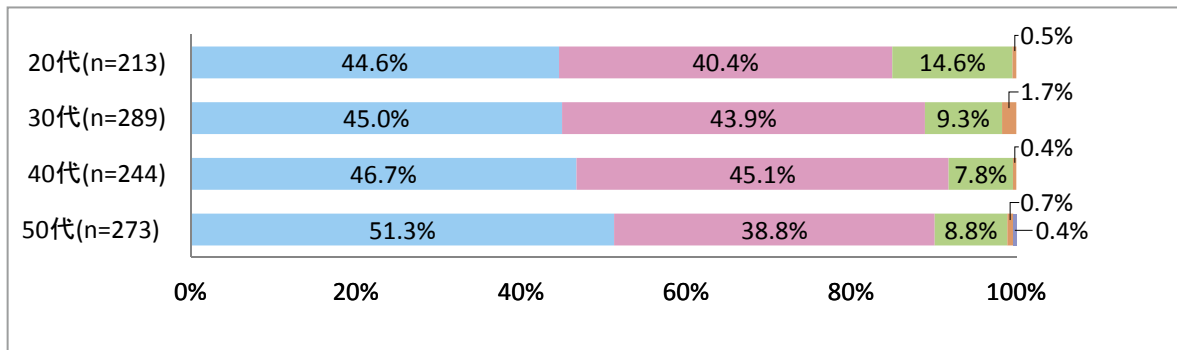


図2-2-ス 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。

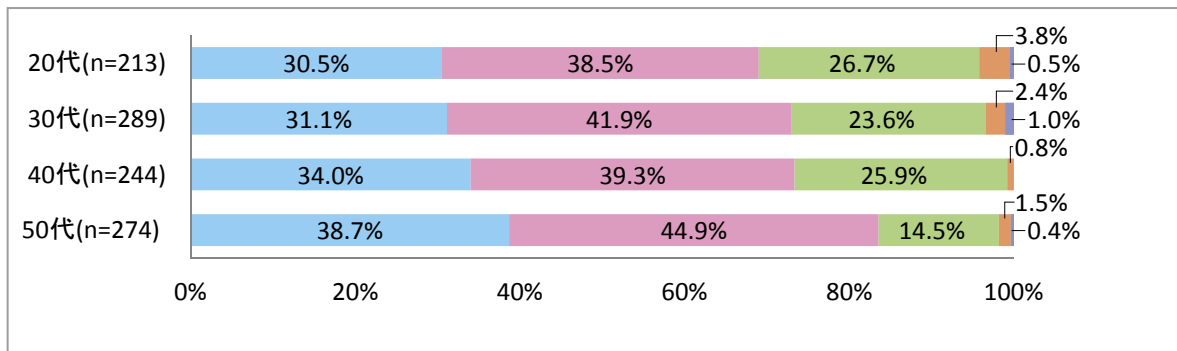


図2-2-セ 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることへ喜びを見いだすように努める。

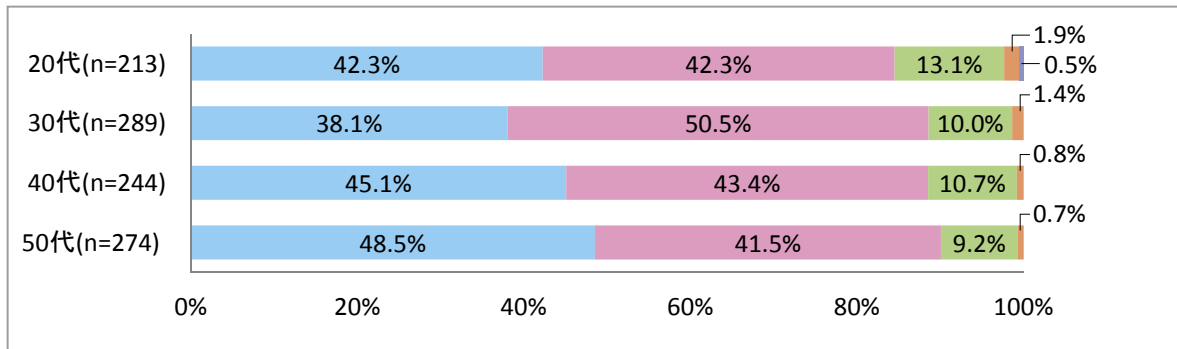


図2-2-ソ 法やまじりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

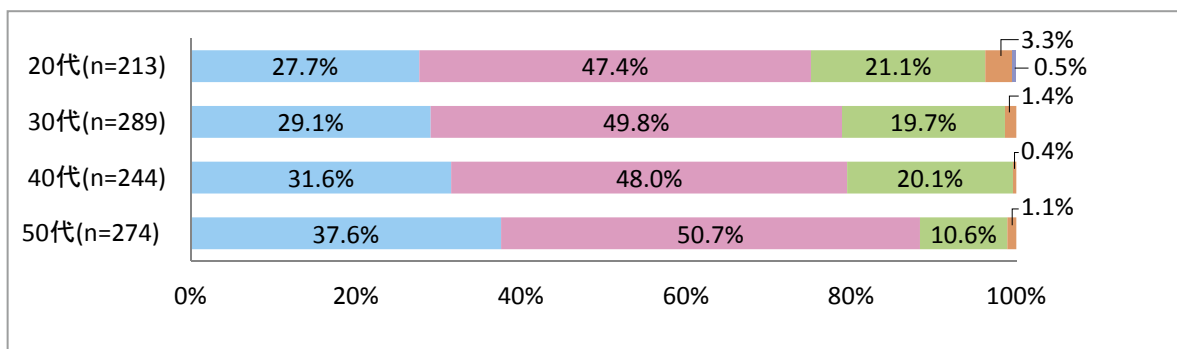


図2-2-タ 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

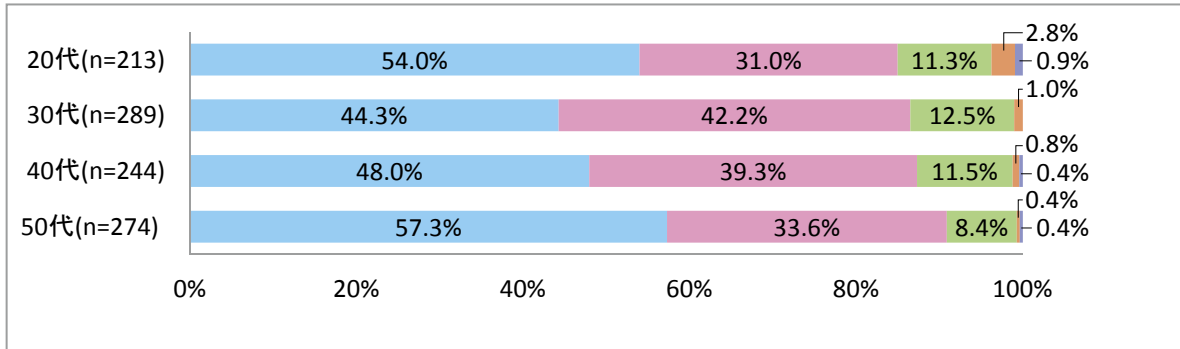


図2-2-チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

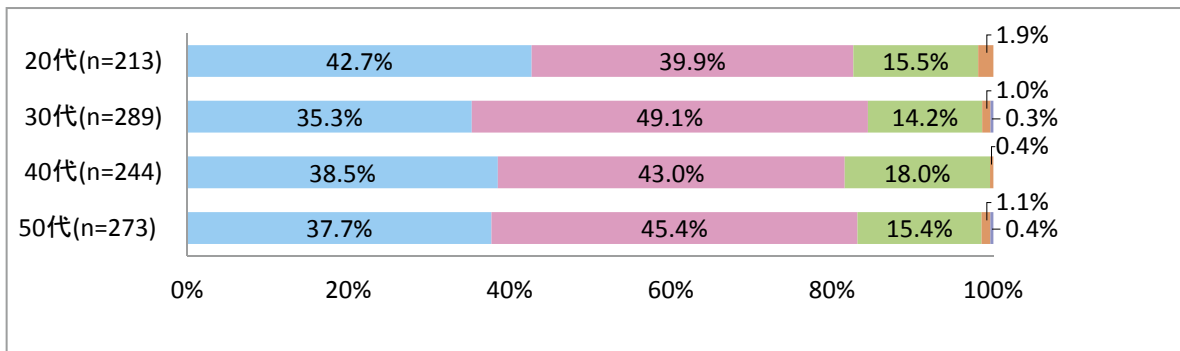


図2-2-ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。

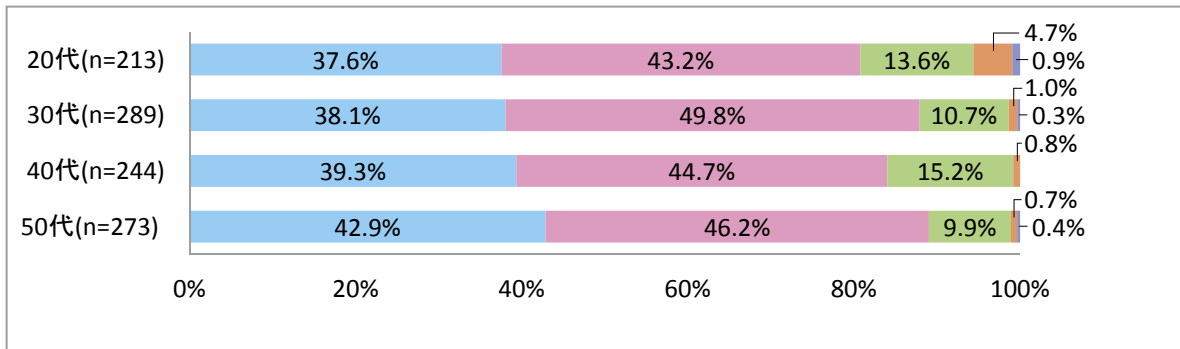
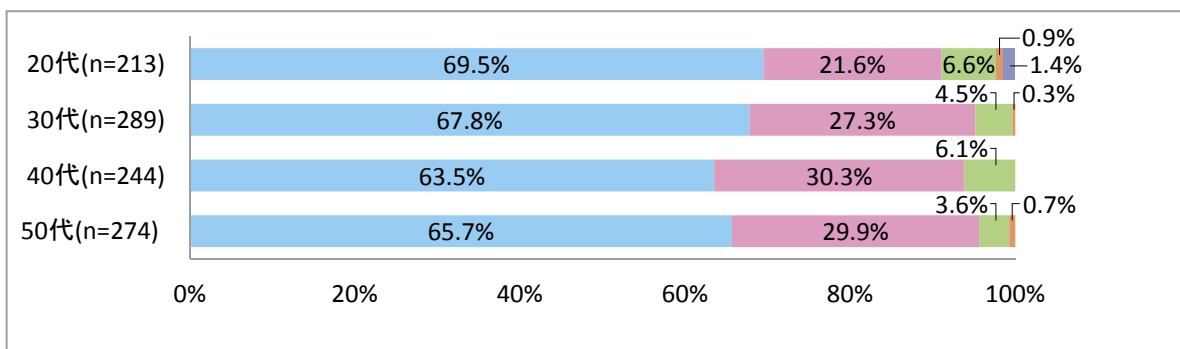


図2-2-テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。



2-2-ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
 ■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

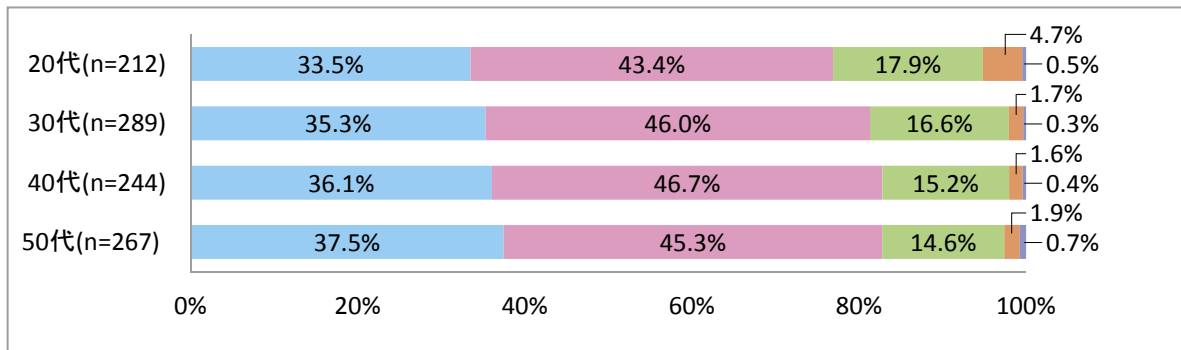


図2-2-ナ 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

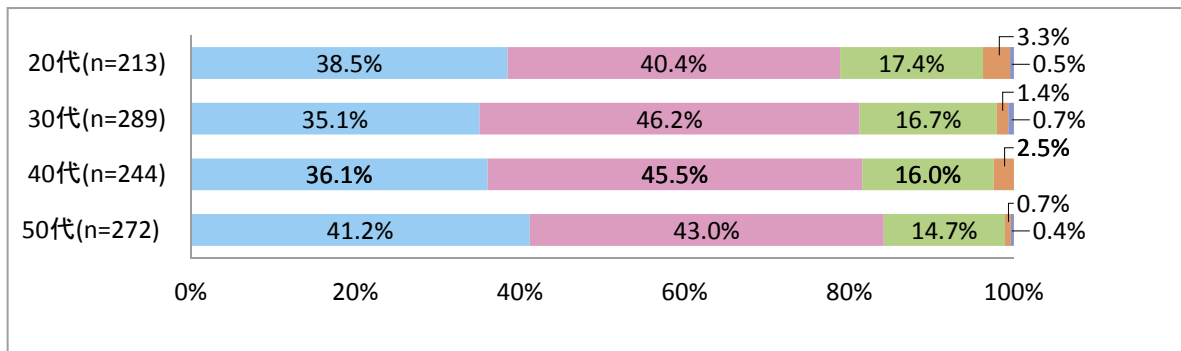


図2-2-ニ 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

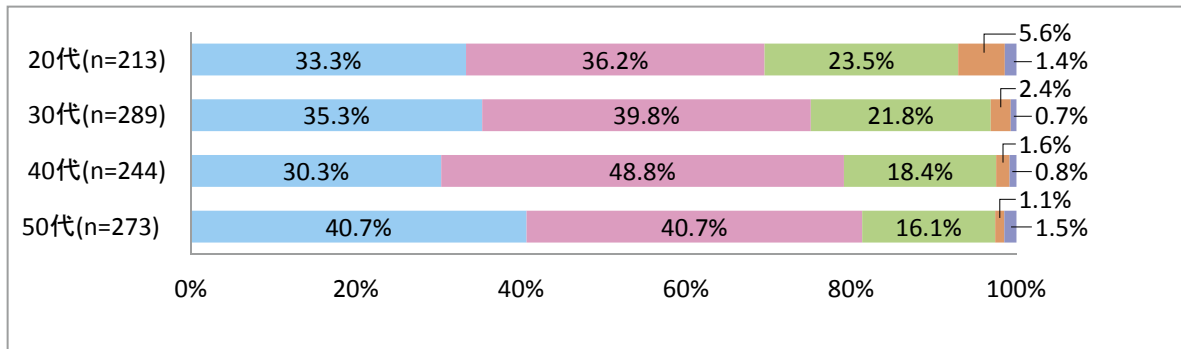


図2-2-ヌ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。

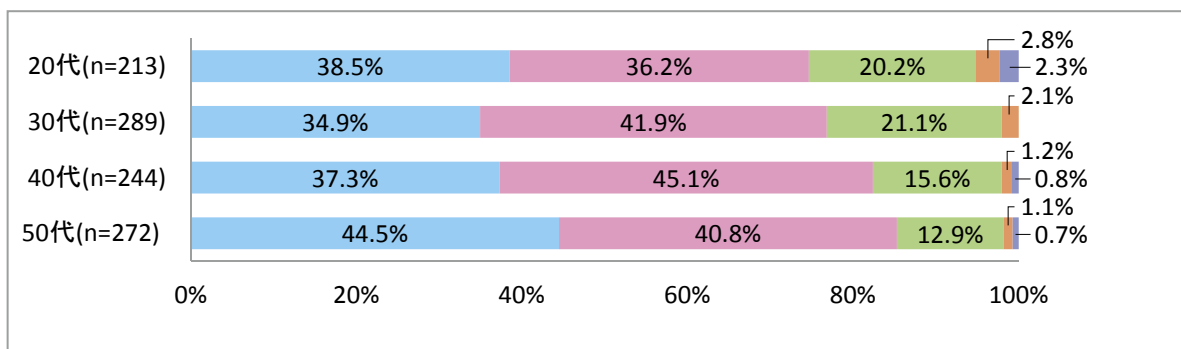
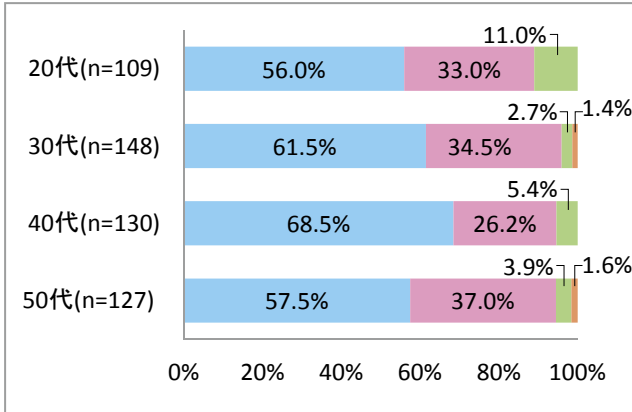


図2-2-ネ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する

問2 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい大切だと思いますか。＜年代・性別結果＞

- 大切である
- どちらかという大切な
- どちらともいえない
- どちらかという大切なではない
- 大切ではない

【男性】



【女性】

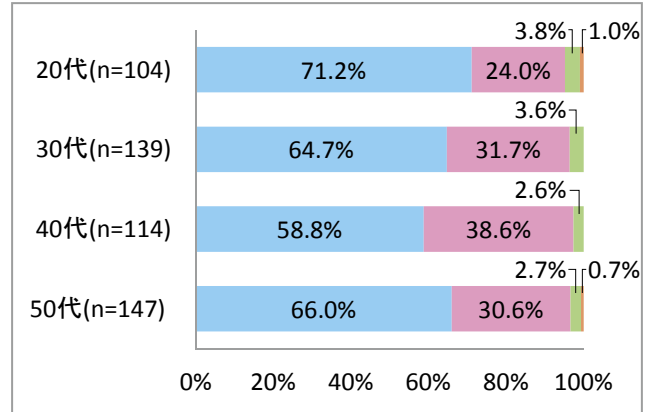
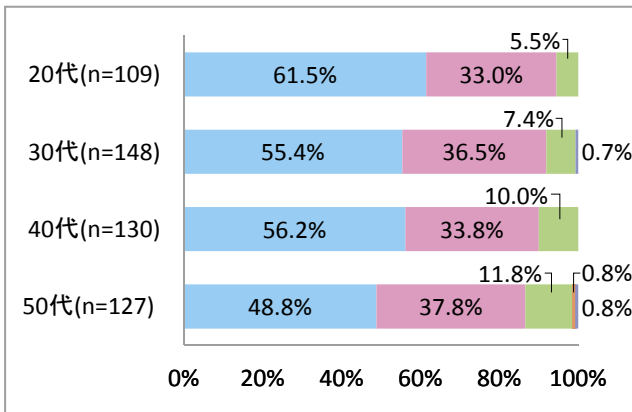


図2-3-ア 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。

【男性】



【女性】

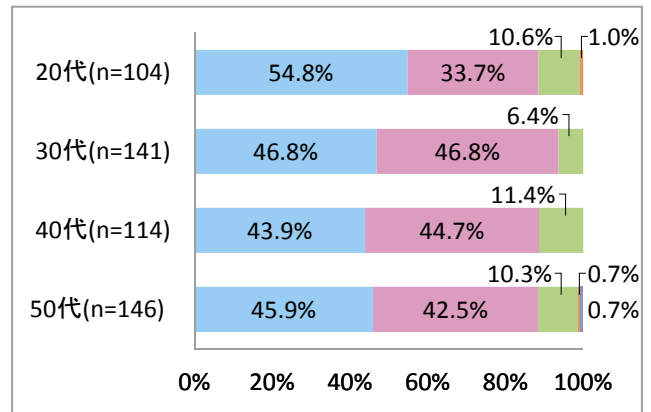
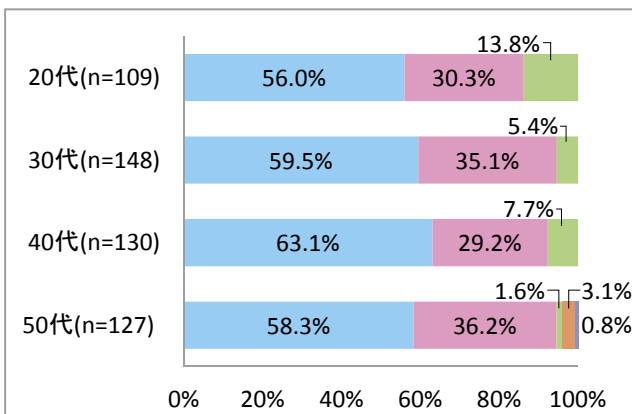


図2-3-イ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。

【男性】



【女性】

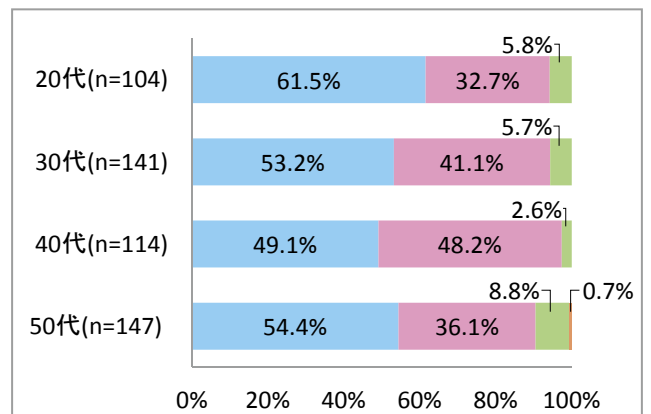


図2-3-ウ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

■ 大切である ■ どちらかという大切な ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切なではない ■ 大切ではない

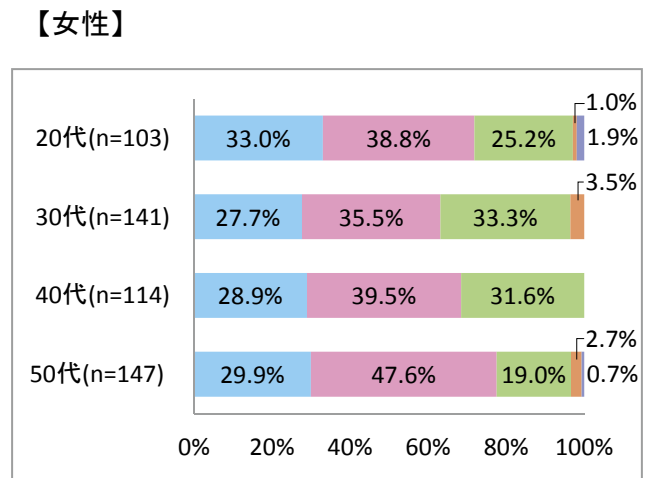
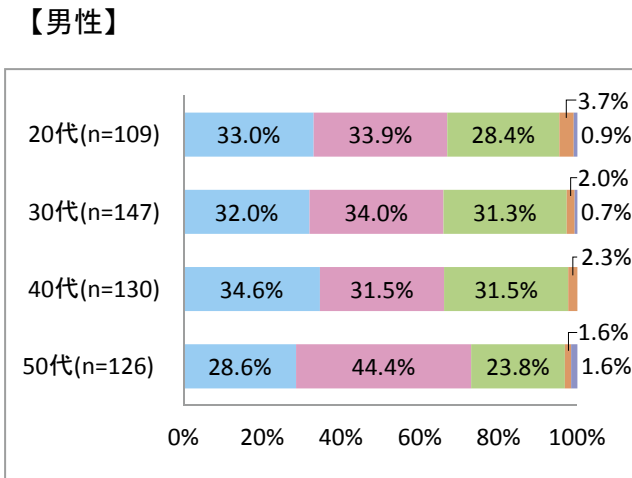


図2-3-エ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。

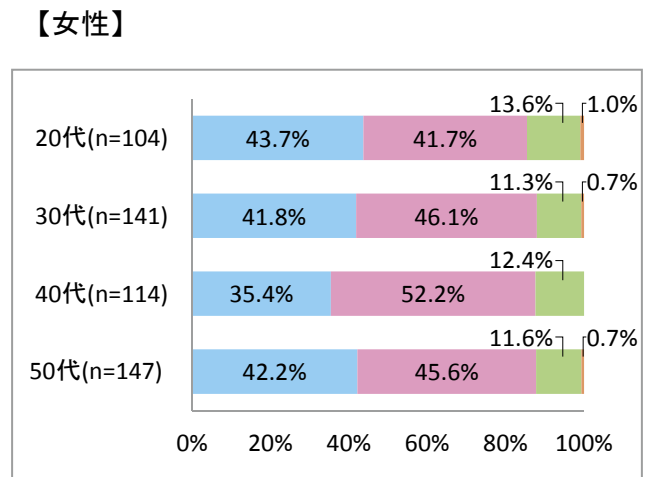
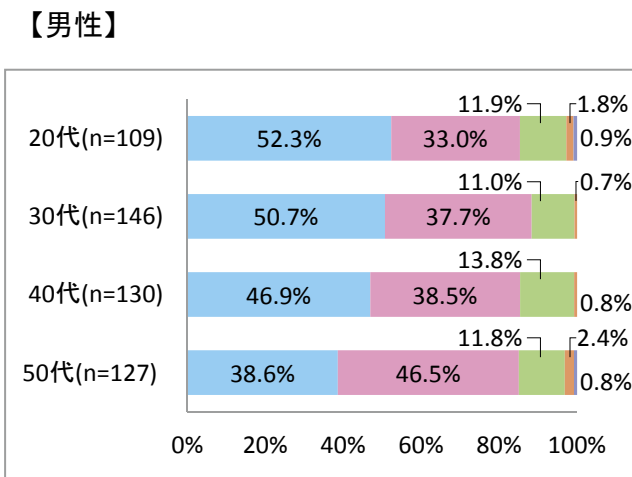


図2-3-オ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

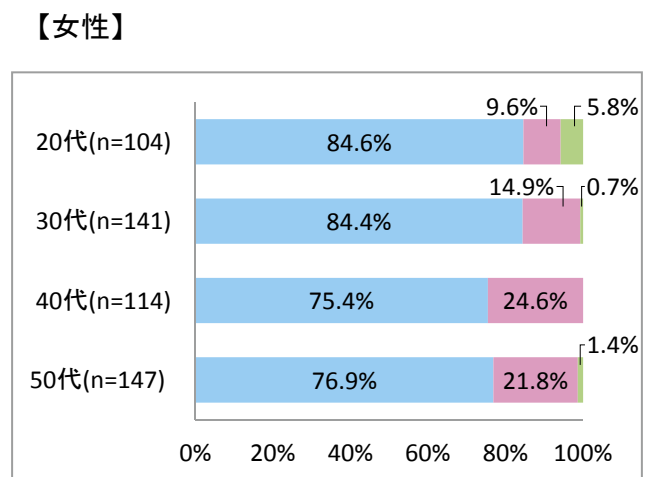
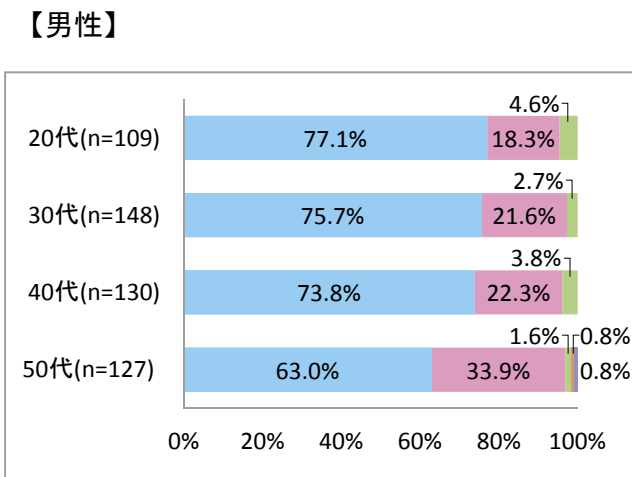
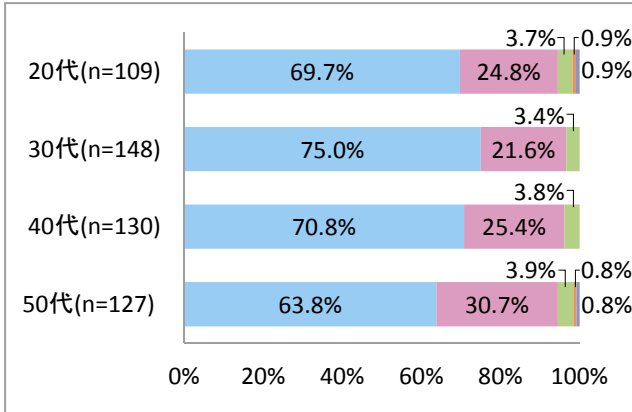


図2-3-カ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

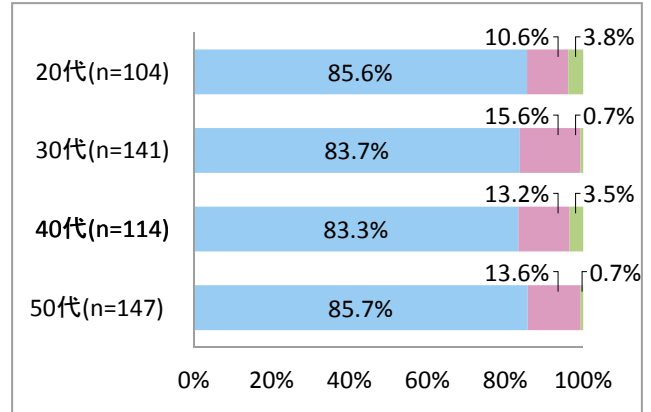
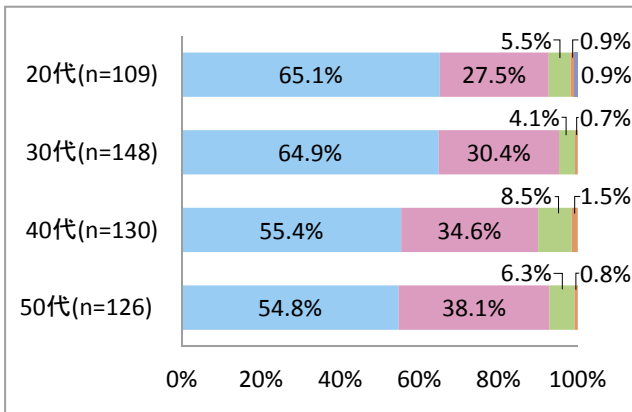


図2-3-キ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

【男性】



【女性】

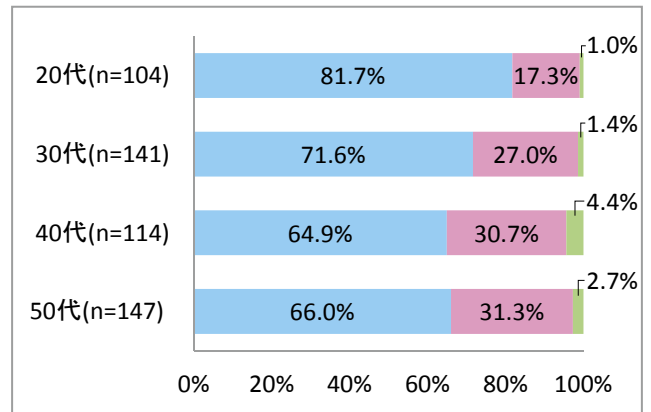
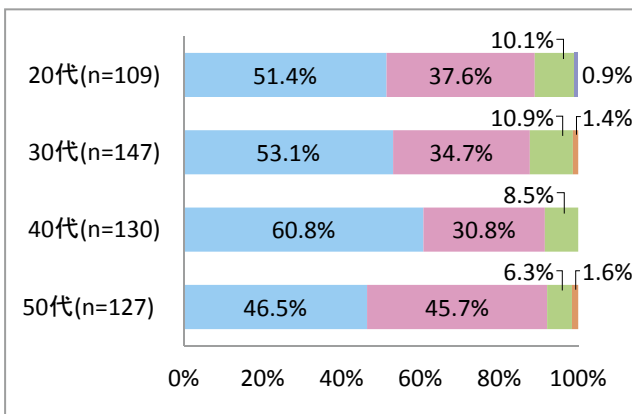


図2-3-ク 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

【男性】



【女性】

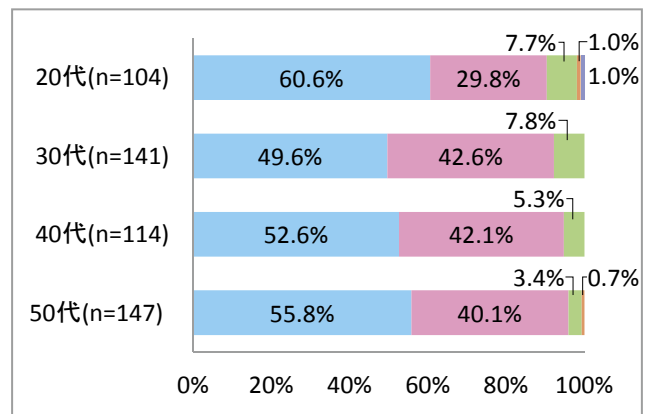
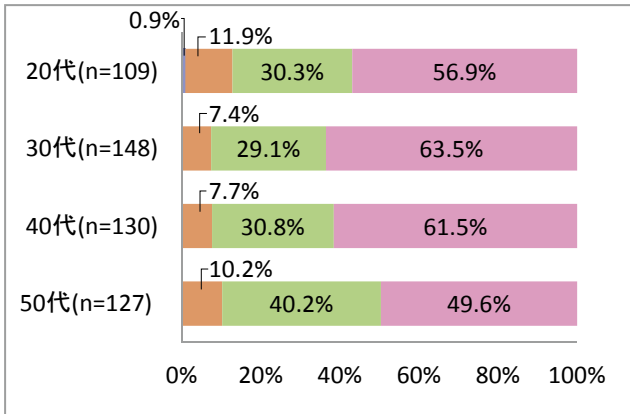


図2-3-ケ 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

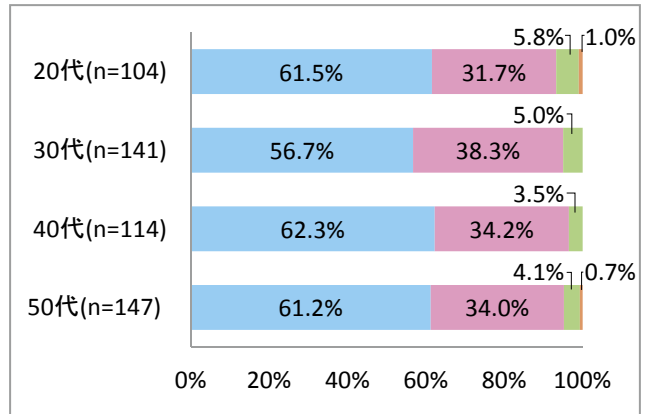
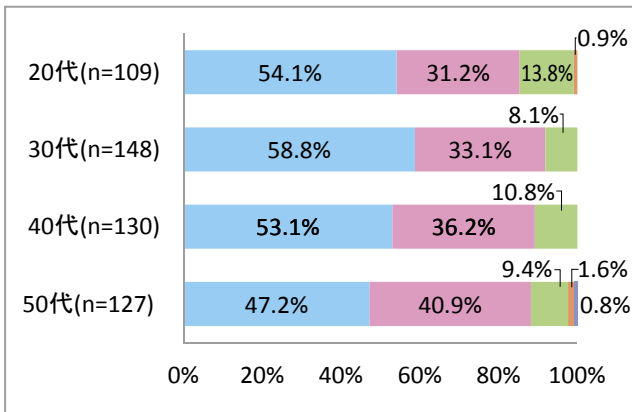


図2-3-コ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。

【男性】



【女性】

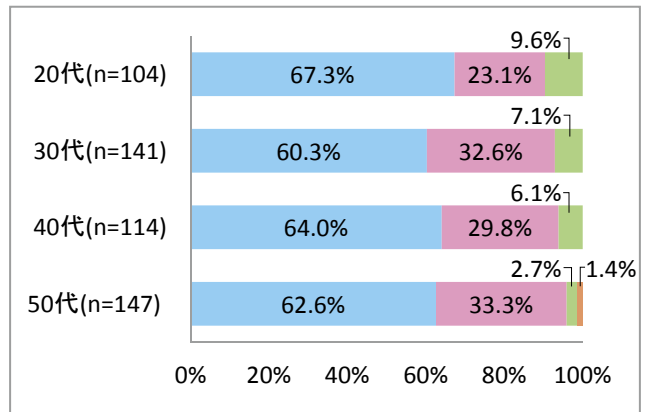
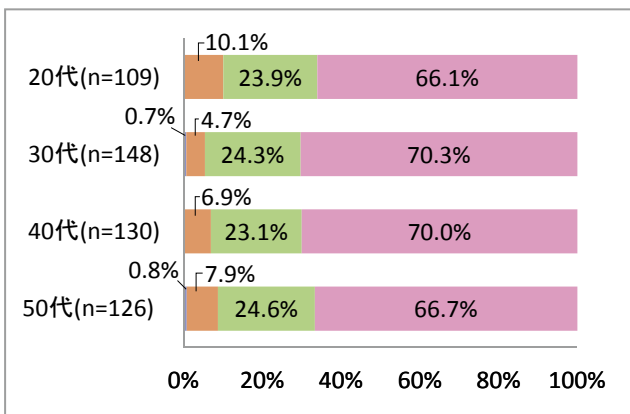


図2-3-サ 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえ

【男性】



【女性】

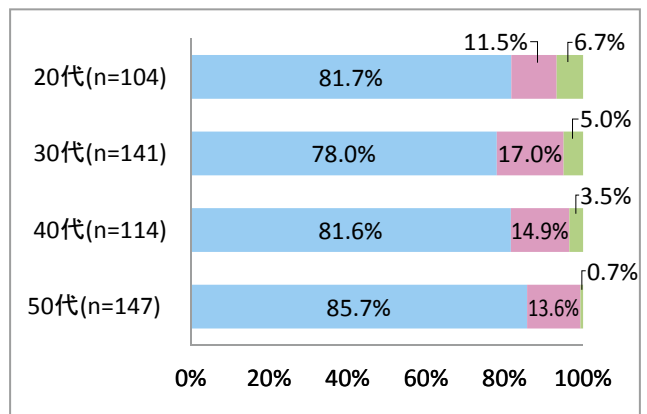
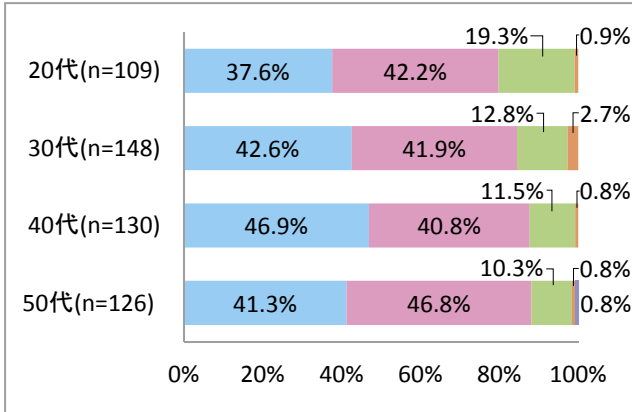


図2-3-シ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

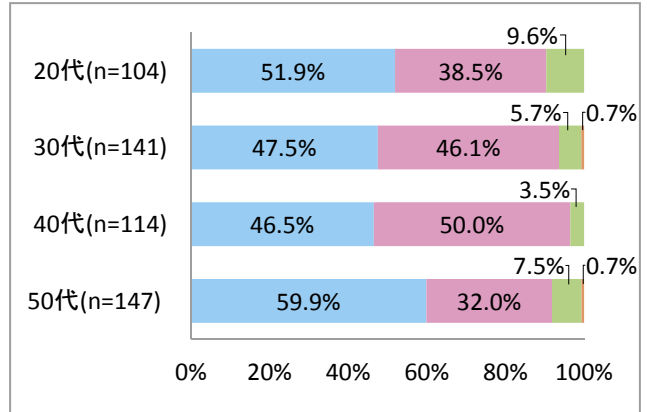
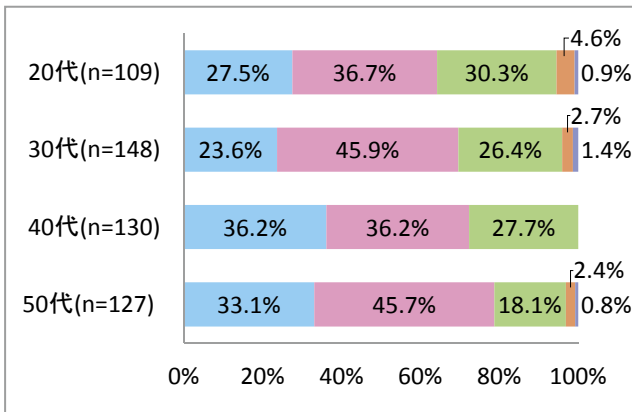


図2-3-ス 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。

【男性】



【女性】

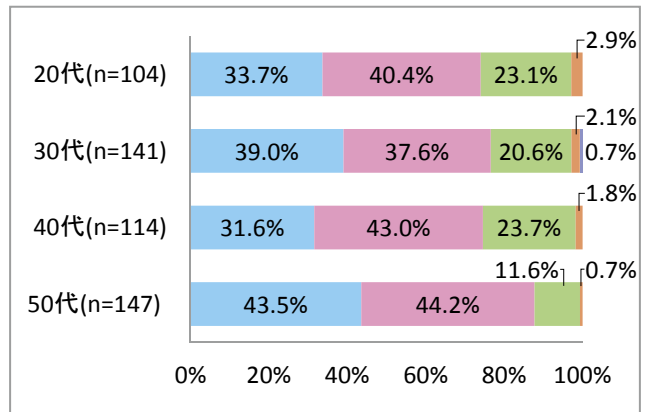
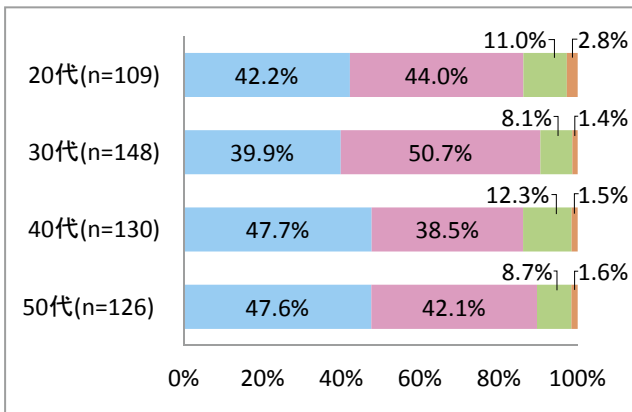


図2-3-セ 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。

【男性】



【女性】

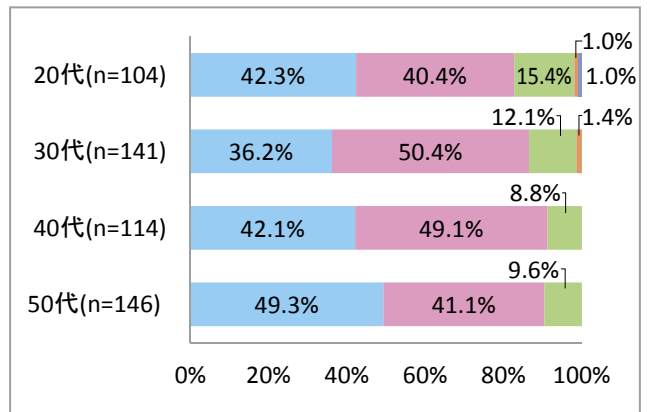
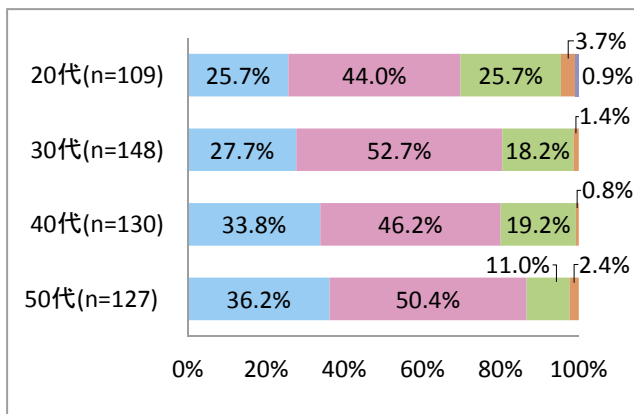


図2-3-ソ 法やまじりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

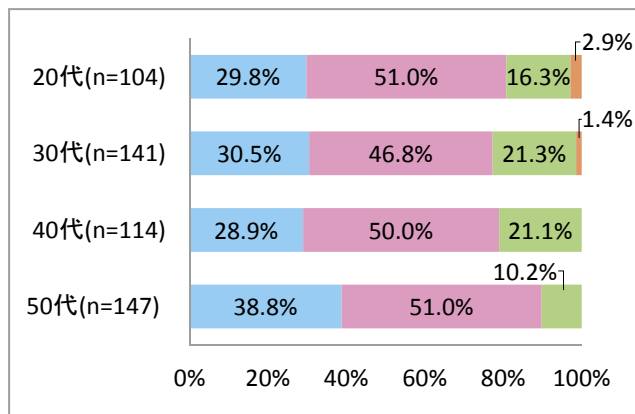
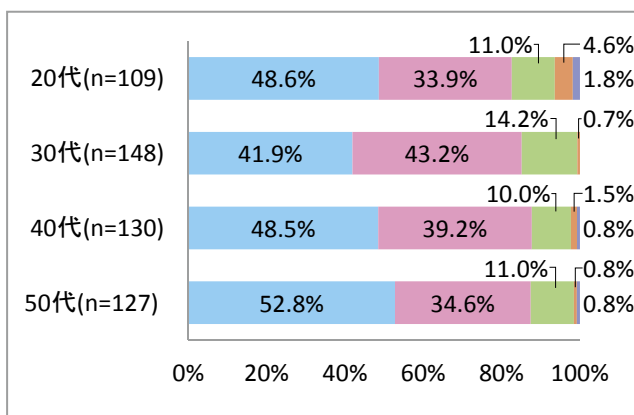


図2-3-タ 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

【男性】



【女性】

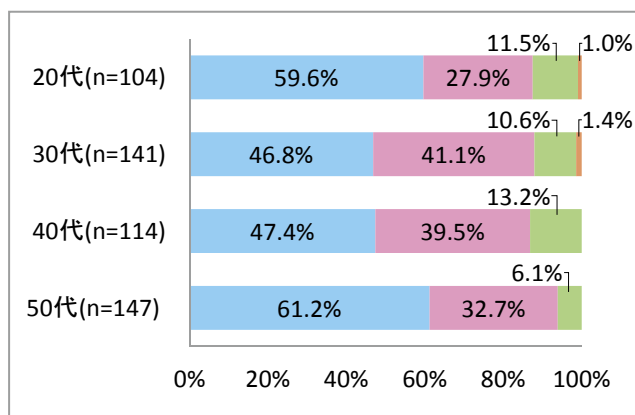
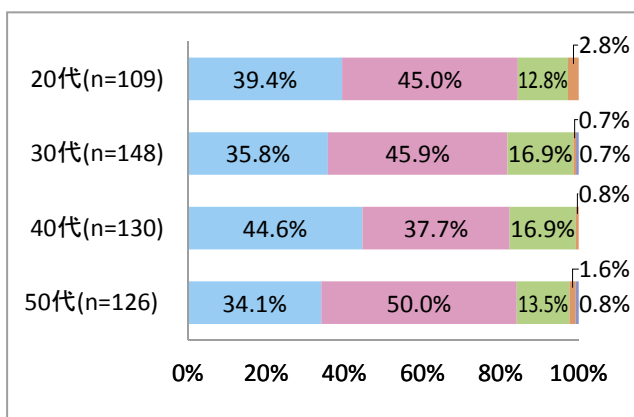


図2-3-チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

【男性】



【女性】

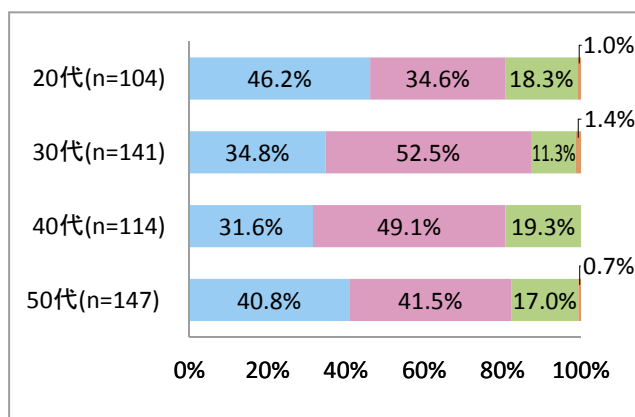
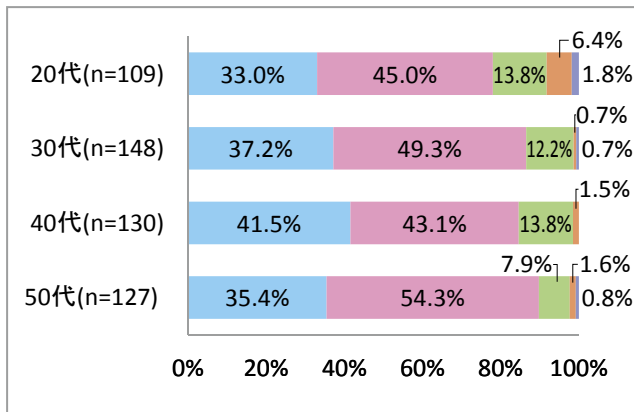


図2-3-ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

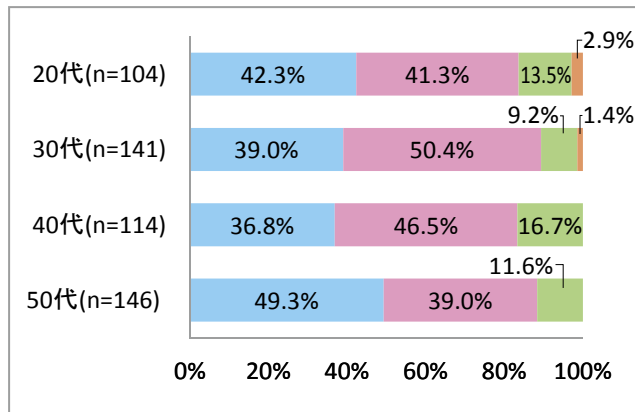
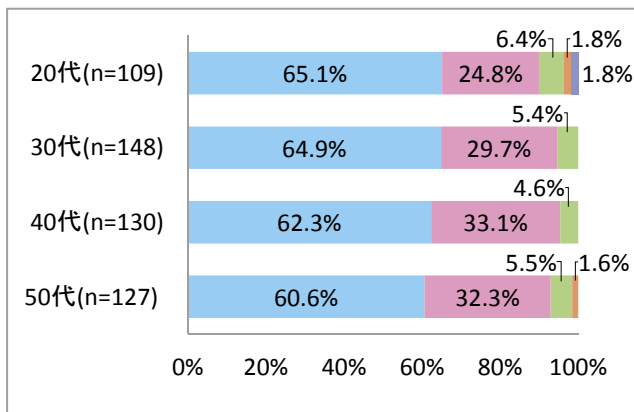


図2-3-テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。

【男性】



【女性】

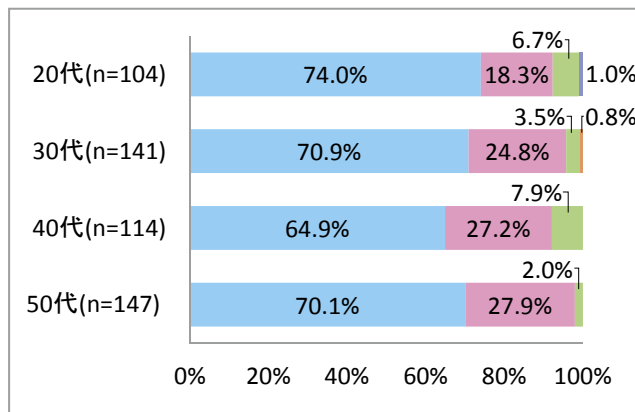
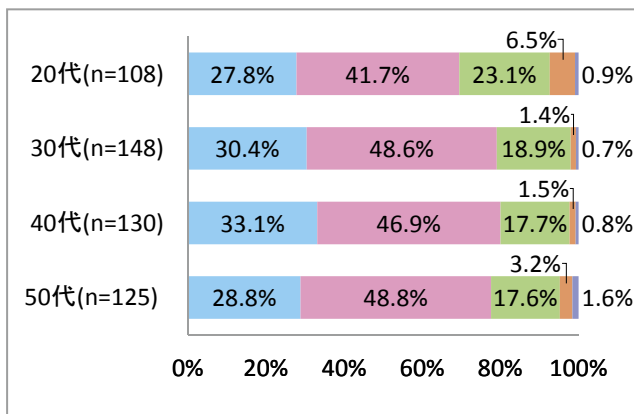


図2-3-ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

【男性】



【女性】

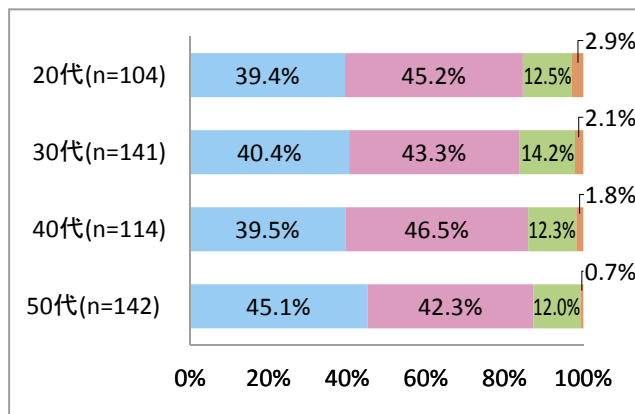
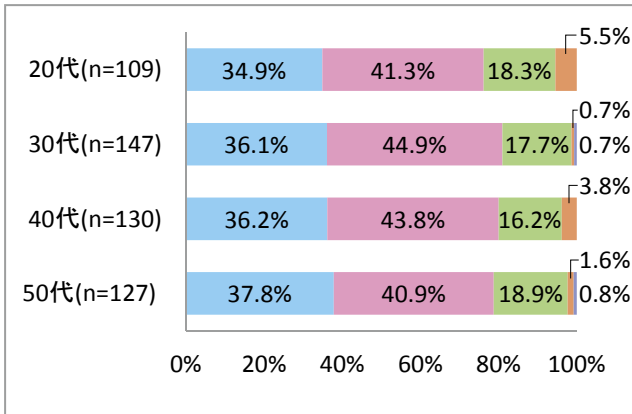


図2-3-ナ 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

■ 大切である ■ どちらかという大切である ■ どちらともいえない
 ■ どちらかという大切ではない ■ 大切ではない

【男性】



【女性】

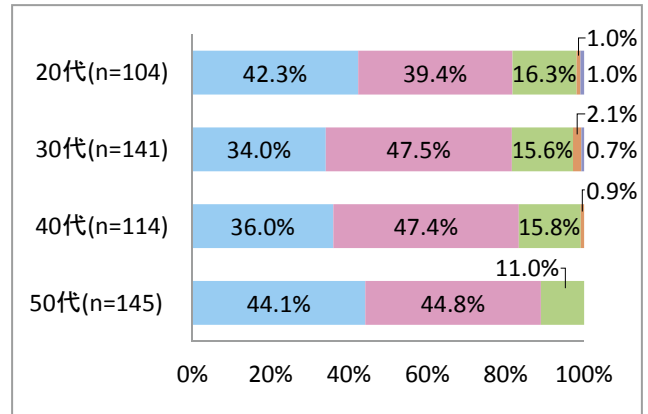
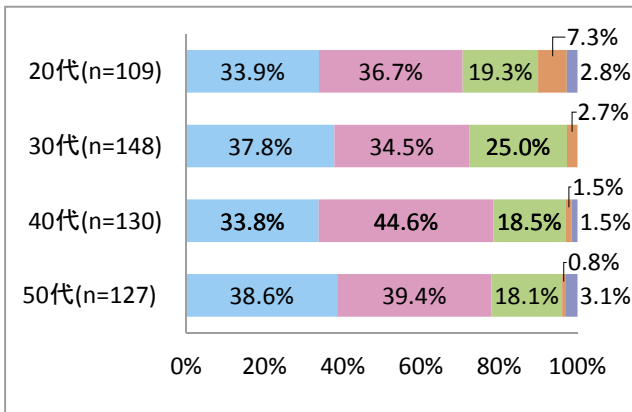


図2-3-二 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

【男性】



【女性】

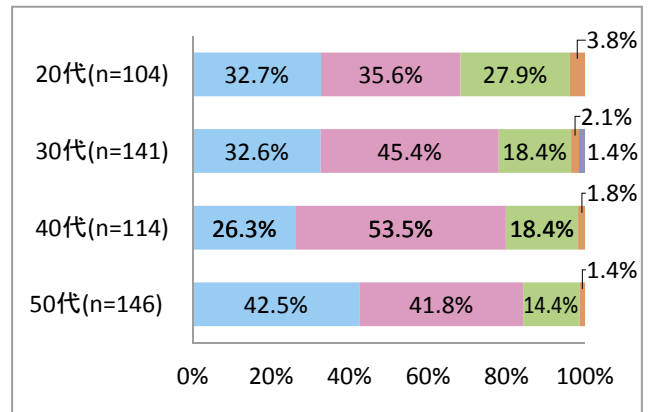
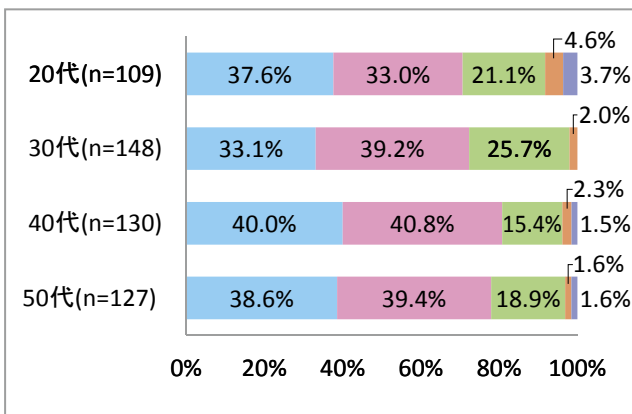


図2-3-又 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。

【男性】



【女性】

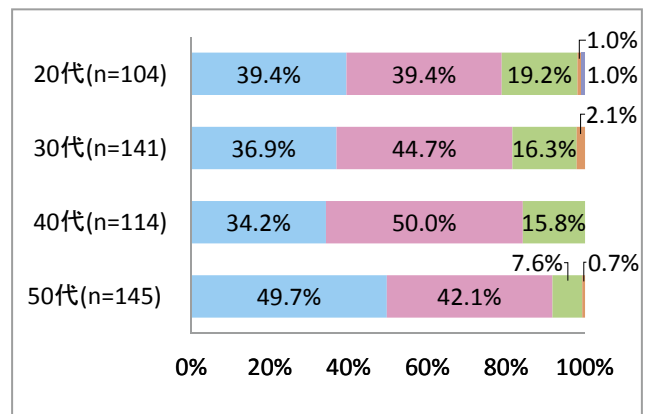


図2-3-ネ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。

(2) 道徳の内容項目を自分がどのくらいできているか

中学校学習指導要領に示されている道徳の内容項目について、「どのくらいできているか」について回答を求めた。「できている」と回答した割合が高かったものは、【シ）生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する<生命の尊重>】(24.8%)、【ト）父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。<家族>】(18.8%)、【ク）友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。<友情>】(17.0%)、【カ）礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。<礼儀>】(16.0%)、【キ）温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。<思いやり>】(13.0%)であった(図2-4)。

全体的に、問2Aの「大切に思う」と答えた割合よりも、問2Bの「できている」と答えた割合の方がかなり低く、大切にとは思っているが、なかなか実践できていないという自己評価が反映されていると言えよう。

順位は異なるものの、問2Aの「大切に思うか」と問2Bの「できているか」の上位5つにある項目は、<思いやり><礼儀><生命の尊重><家族愛><友情>と同じであった。この5つの内容項目は、日本人の成人が大切に思い、実践している価値であると言えよう。

年代別に「できている」と回答された割合を見ると、10%を下回る項目がほとんどであり、はっきりした差はわかりにくいですが、<思いやり><友情><家族愛>などについては、若い年代の方が「できている」と回答している割合が高い傾向があった。

「できている」と「どちらかというときてている」と回答した割合を足すと、【望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。<基本的生活習慣>】、【自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。<自主・自律>】、【自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。<畏敬の念>】、【法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。<法の遵守>】、【公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。<公德心>】、【正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。<正義>】、【勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。<勤労>】、【学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。<愛校心>】、【地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。<郷土愛>】などで、年齢が上であるほど値が高い傾向が見られた。【日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。<愛国心>】については、50代が顕著に高い傾向が見られた(図2-5)。

若い年代では、<思いやり><友情><家族愛>など、身近な人に対する道徳的実践についての自己評価が高い傾向にあった。上の年代では内容項目の3と4の視点に対する道徳的実践の自己評価が高い傾向にあった。身近な人への道徳性から、より広い対象への道徳性へと、生涯発達していく可能性が示されたと言えよう。

問2B 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい自分ができていますか。

■できている ■どちらかというとできている ■どちらともいえない
 ■どちらかというとできていない ■できていない

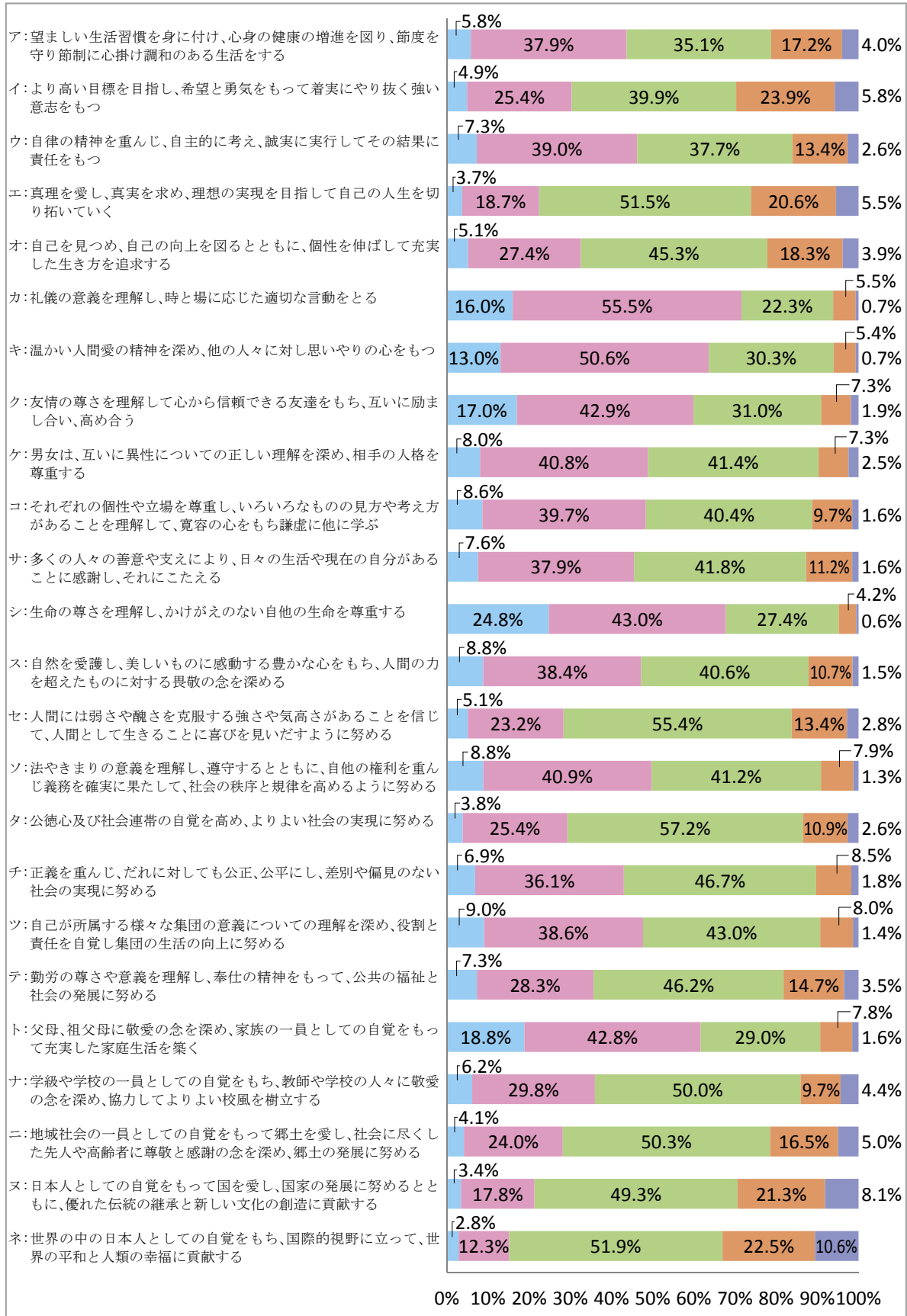


図2-4 道徳の内容項目の実践の自己評価

問2B 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい自分ができていますか。＜年代別結果＞

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

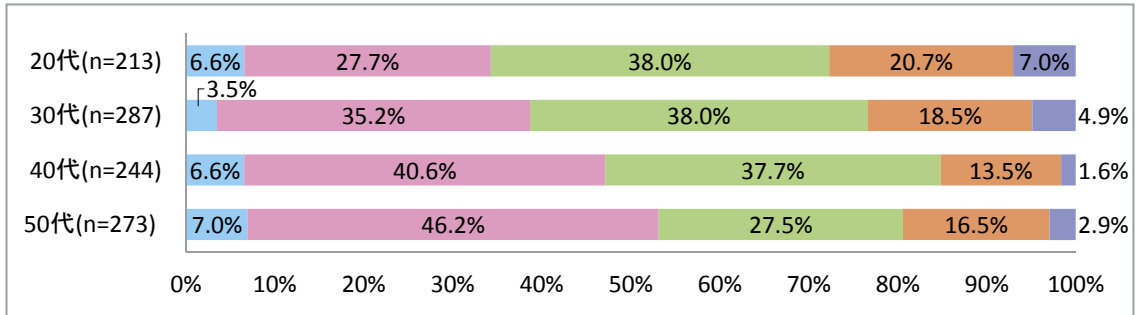


図2-5-ア 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。

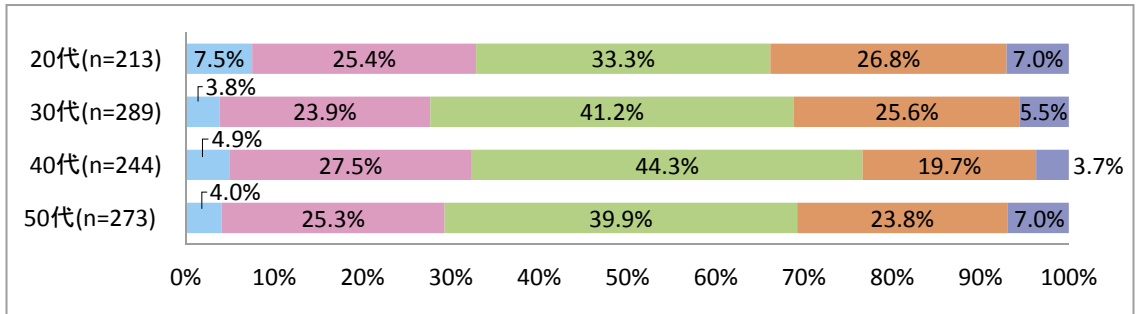


図2-5-イ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。

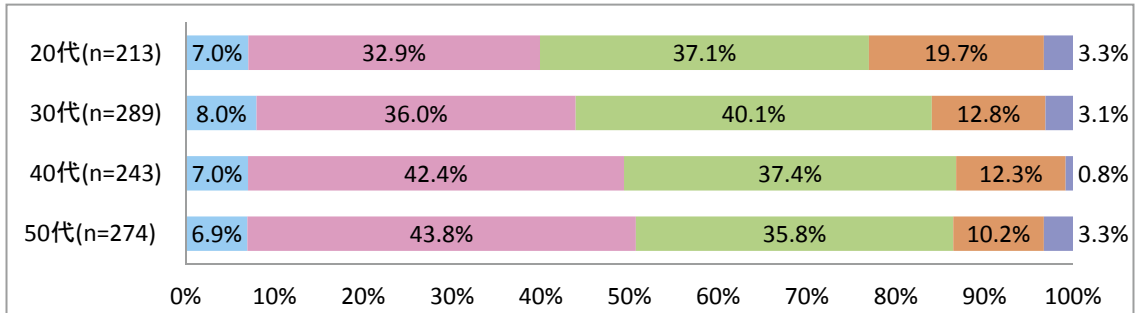


図2-5-ウ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

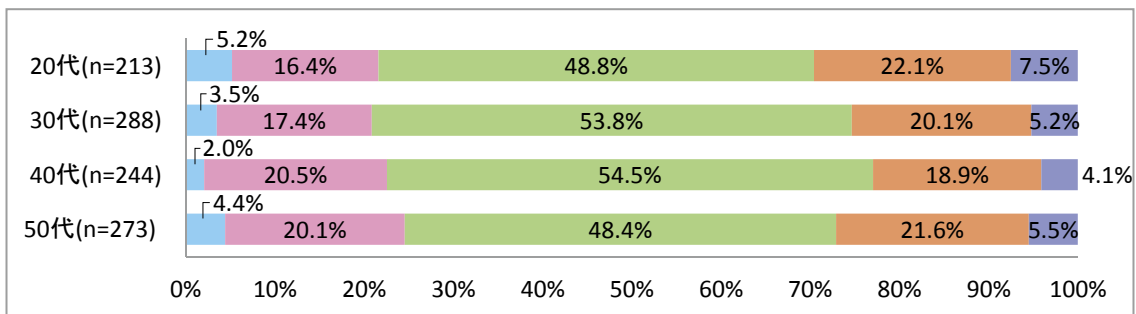


図2-5-エ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

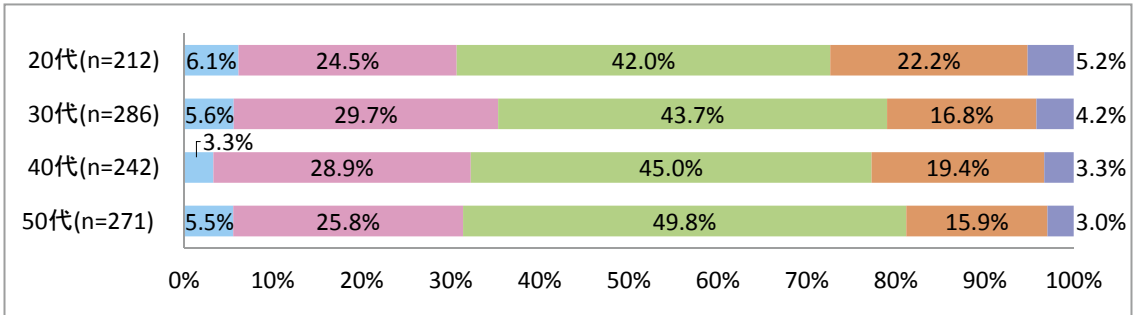


図2-5-オ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

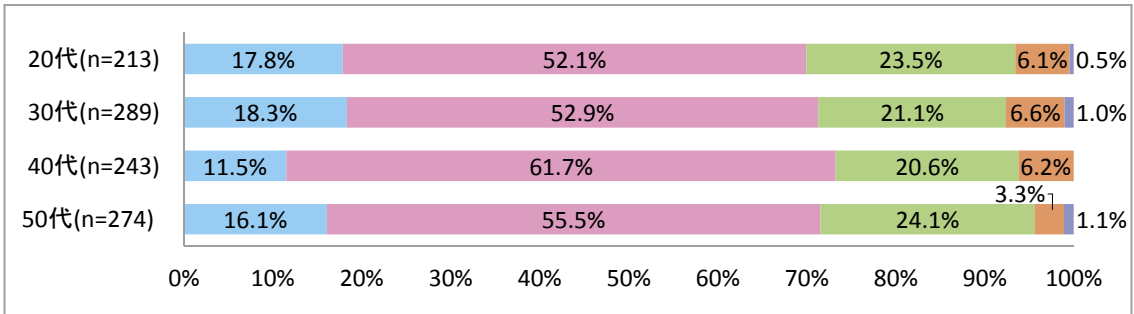


図2-5-カ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

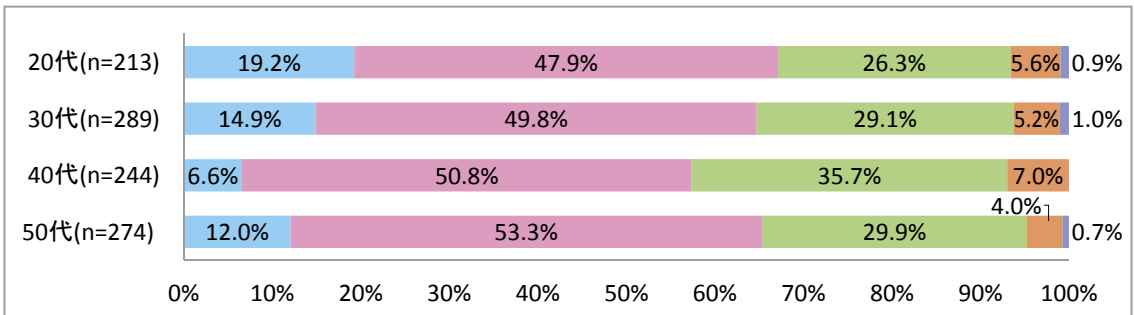


図2-5-キ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

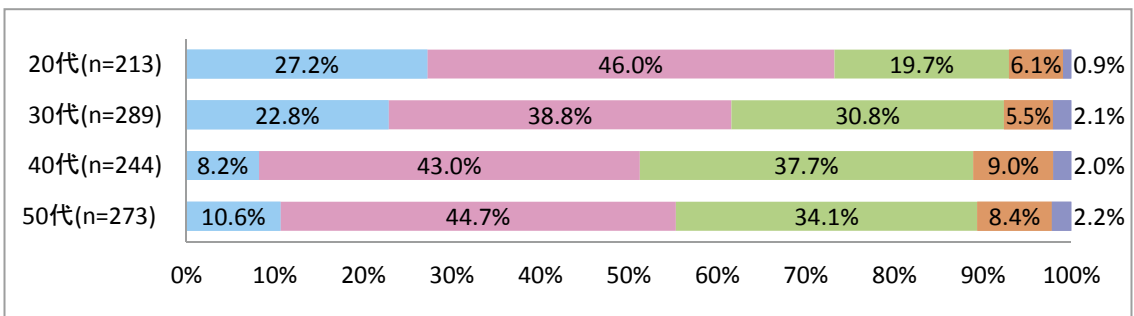


図2-5-ク 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

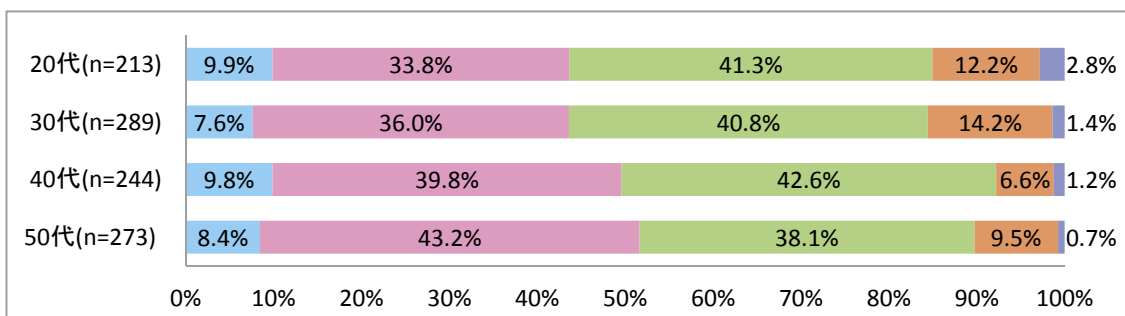


図2-5-ス 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。

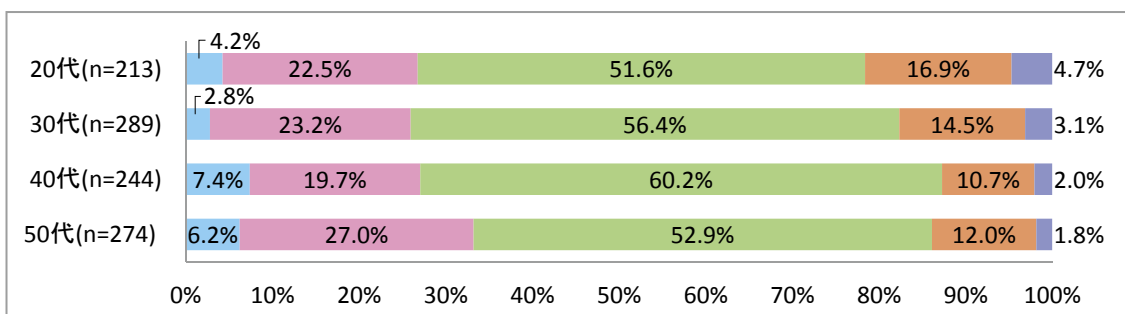


図2-5-セ 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。

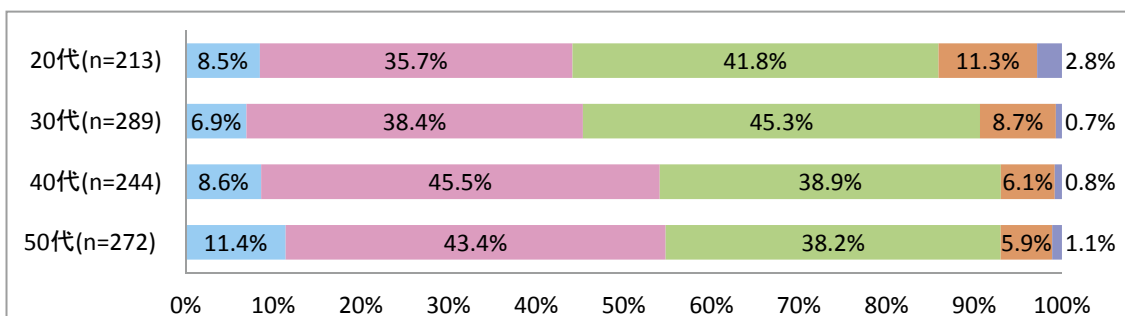


図2-5-ソ 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

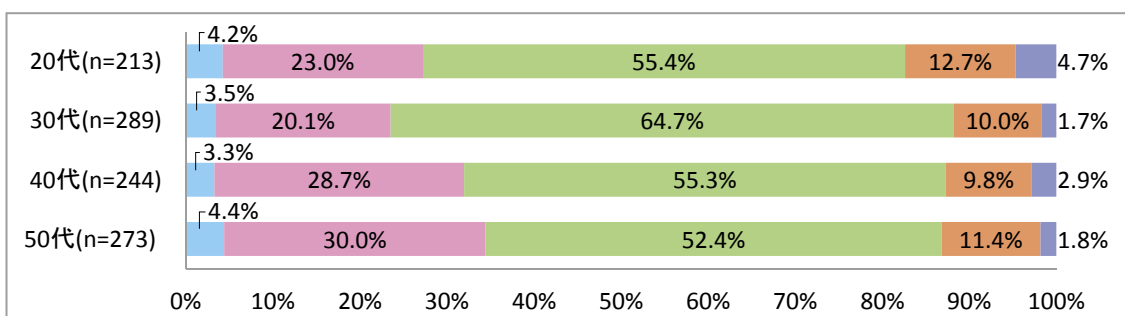


図2-5-タ 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

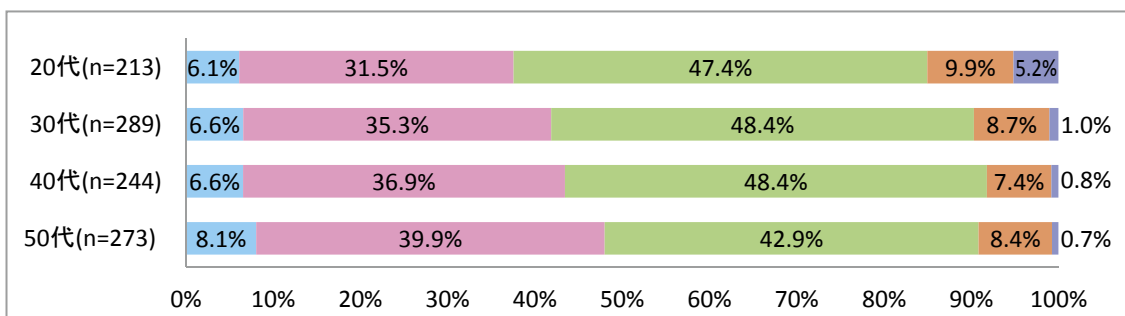


図2-5-チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

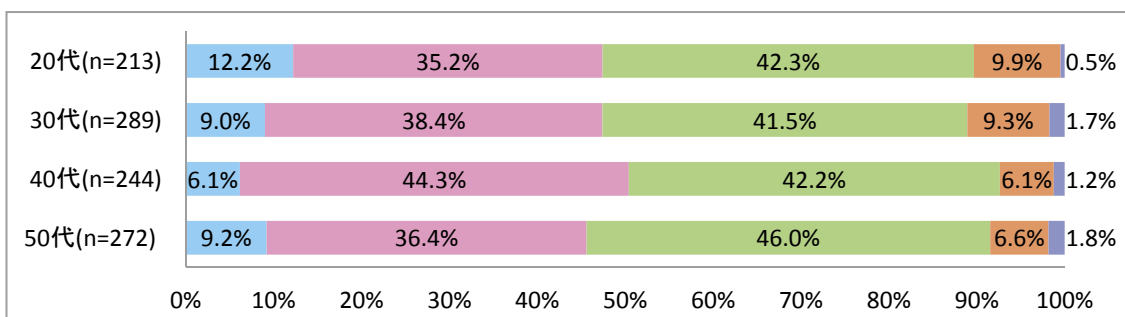


図2-5-ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。

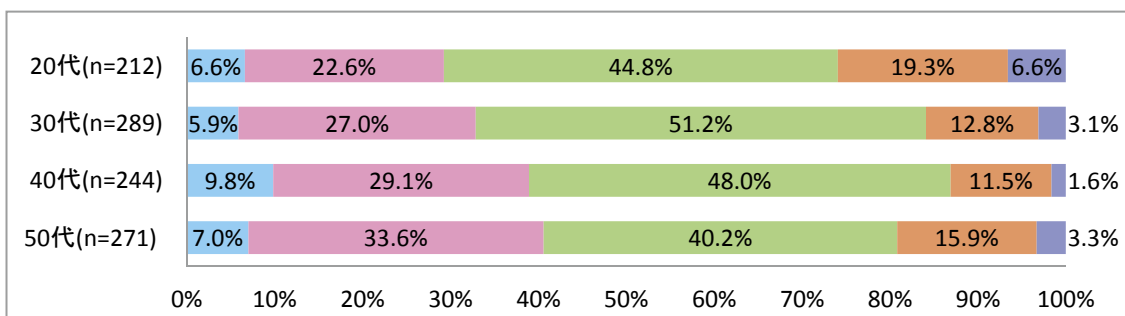
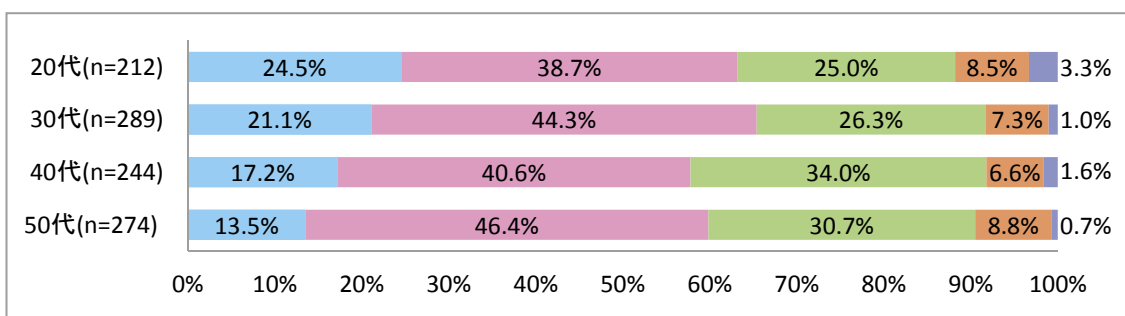


図2-5-テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。



2-5-ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

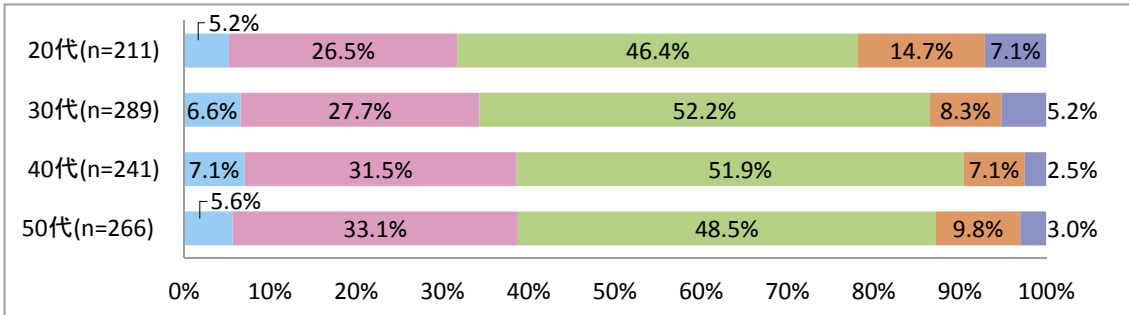


図2-5-ナ 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

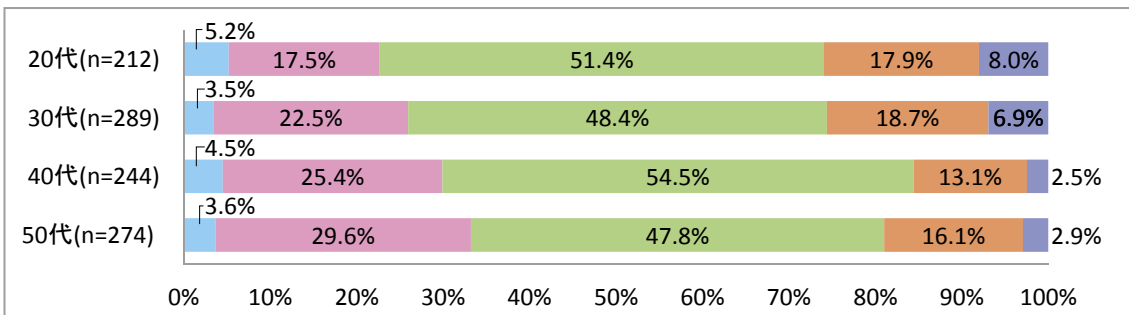


図2-5-ニ 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

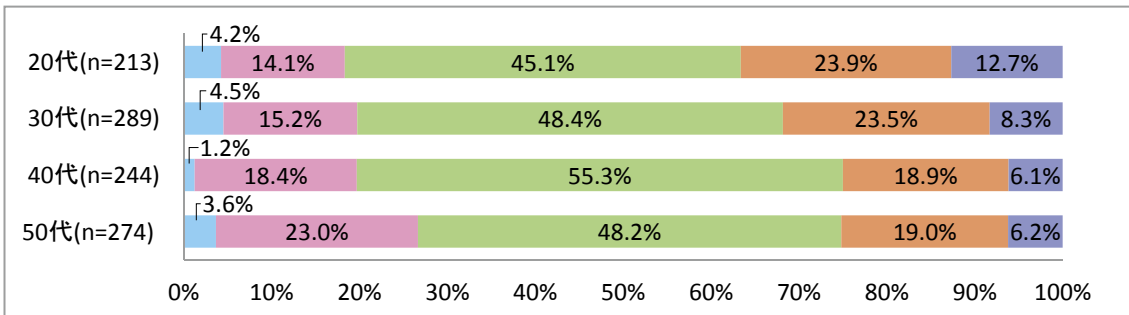


図2-5-ヌ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。

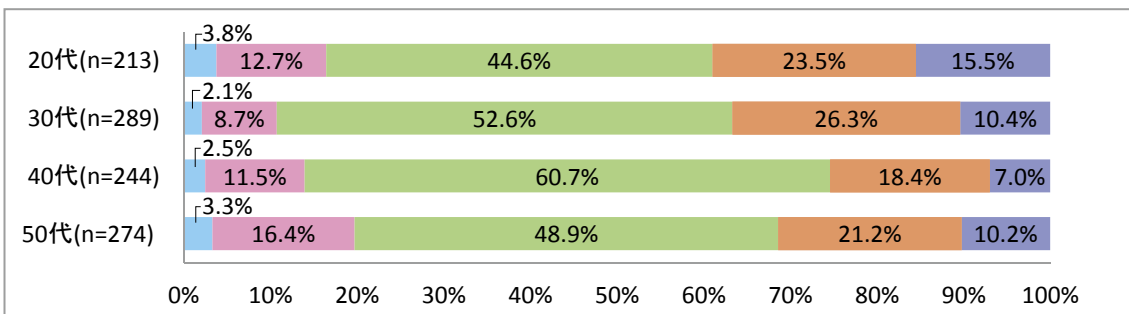


図2-5-ネ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する

問2 以下に示す考え方や生き方について、どのくらい自分ができるていますか。＜年代・性別結果＞

■ できている ■ どちらかというできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというできていない ■ できていない

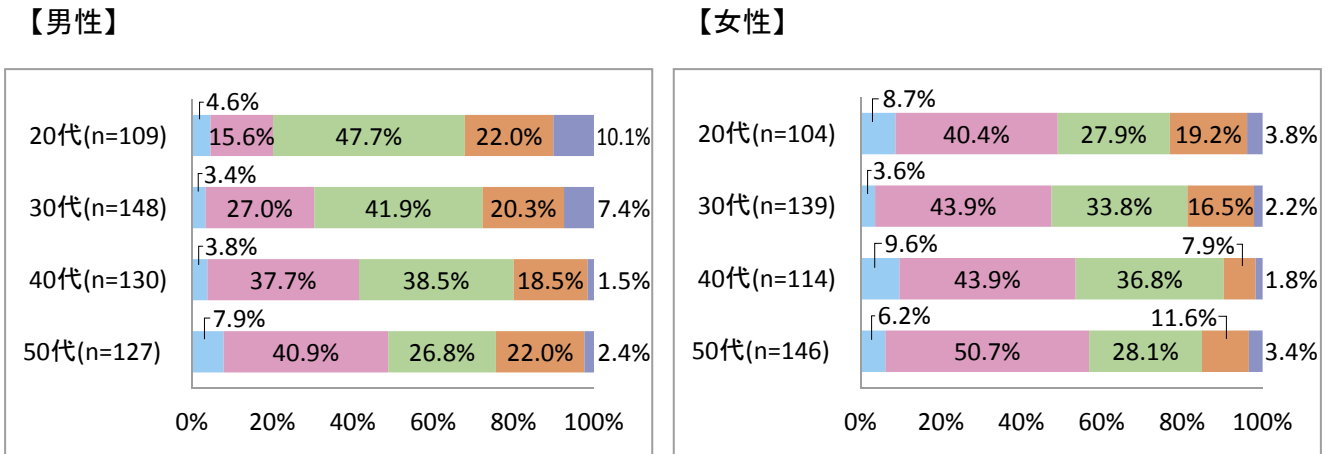


図2-6-ア 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。

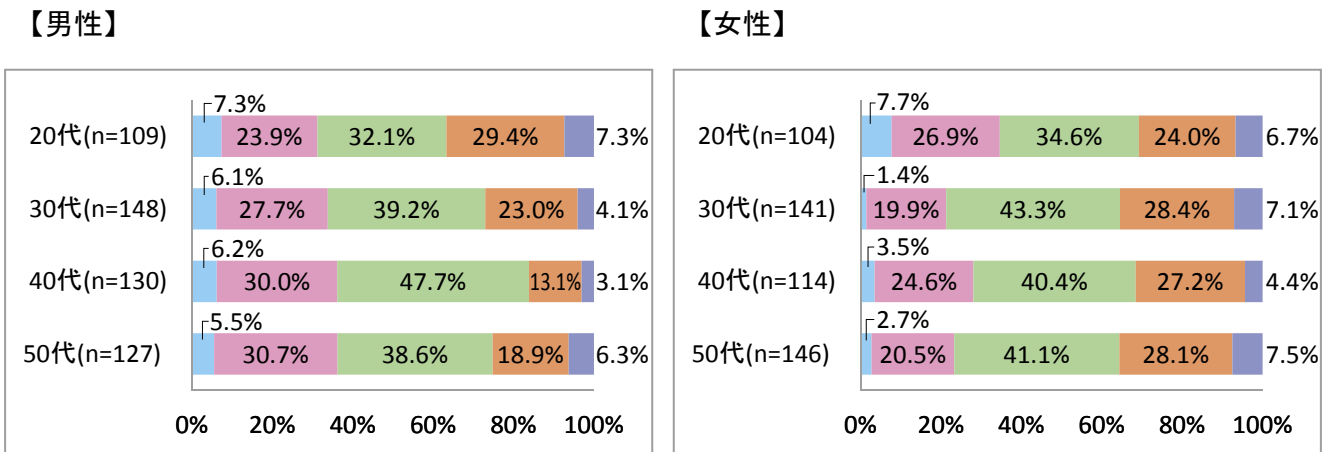


図2-6-イ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。

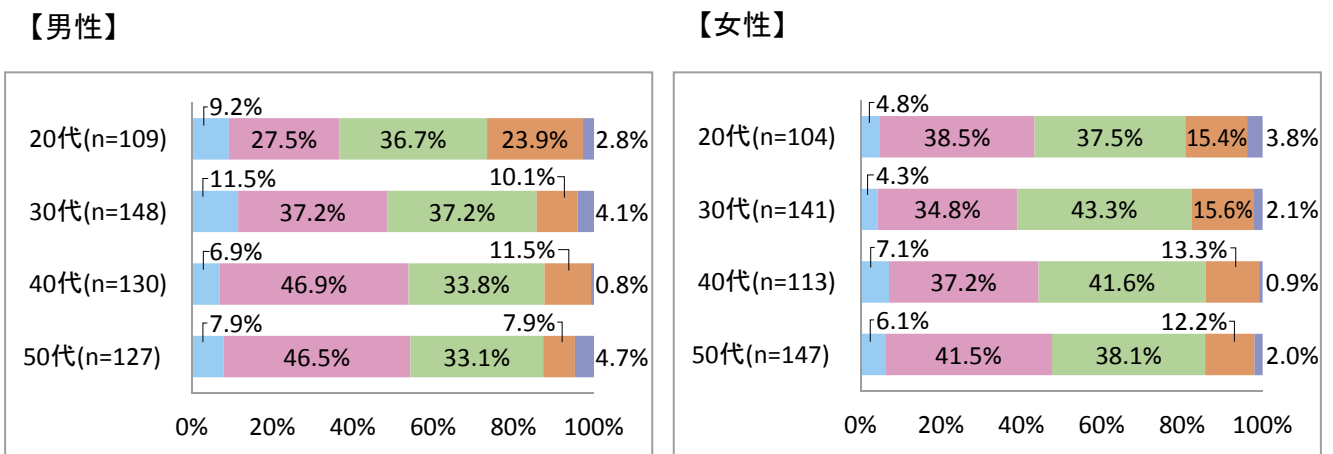


図2-6-ウ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

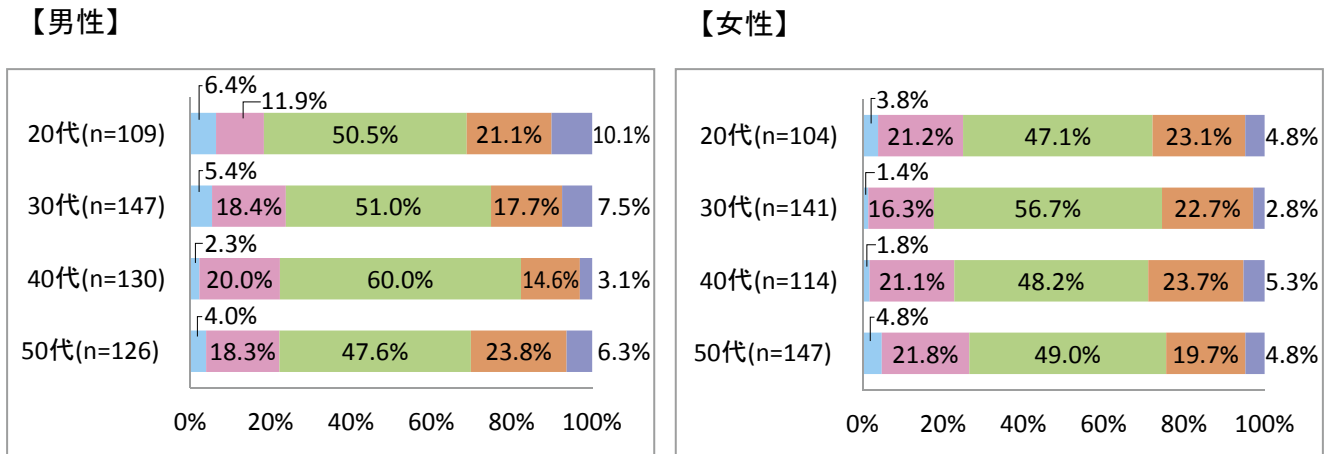


図2-6-エ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。

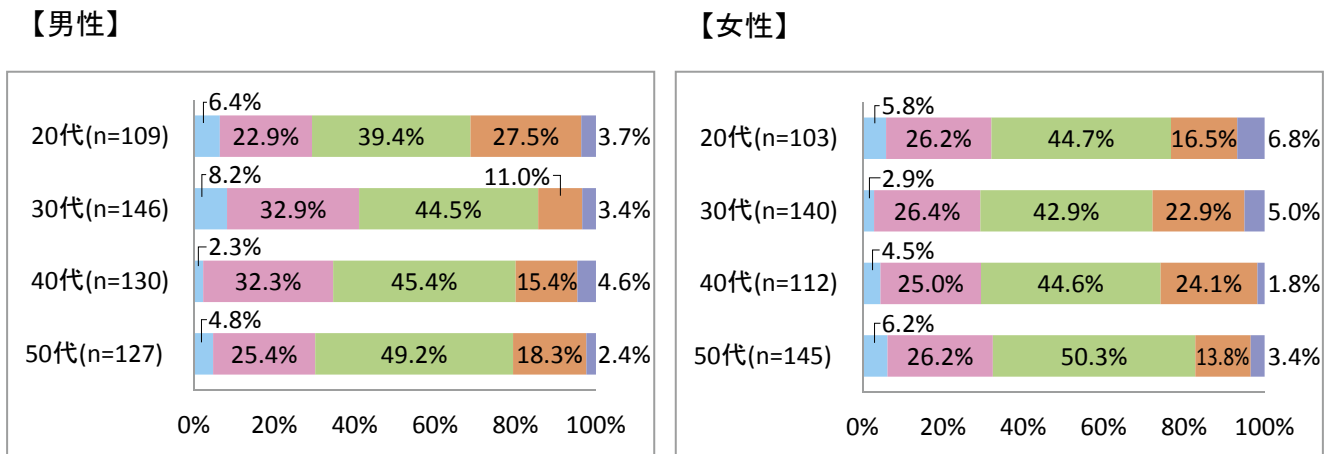


図2-6-オ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

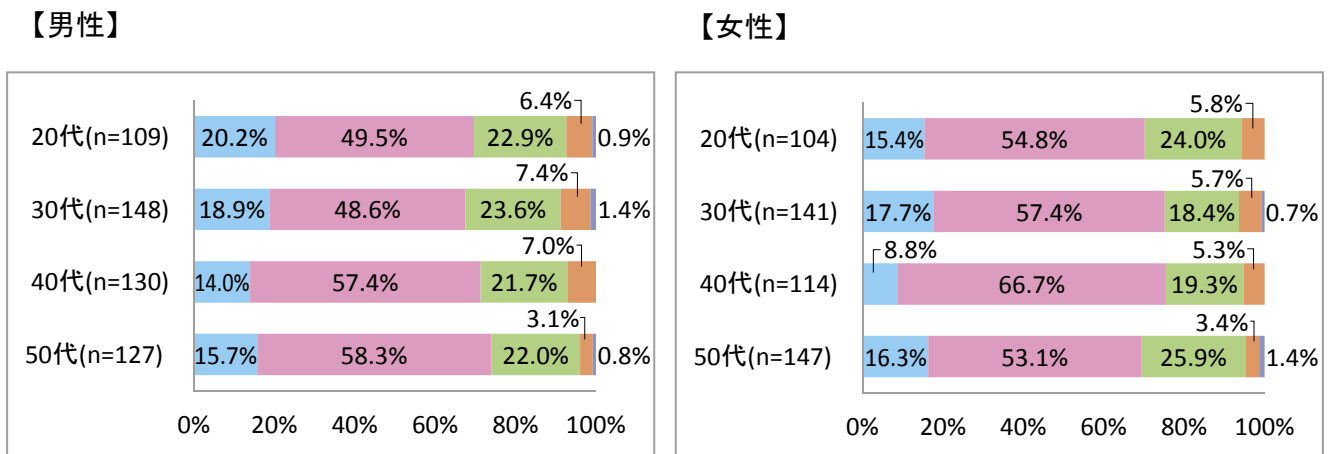
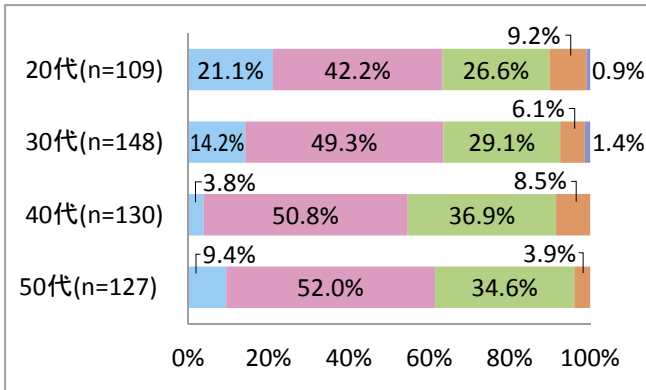


図2-6-カ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

【男性】



【女性】

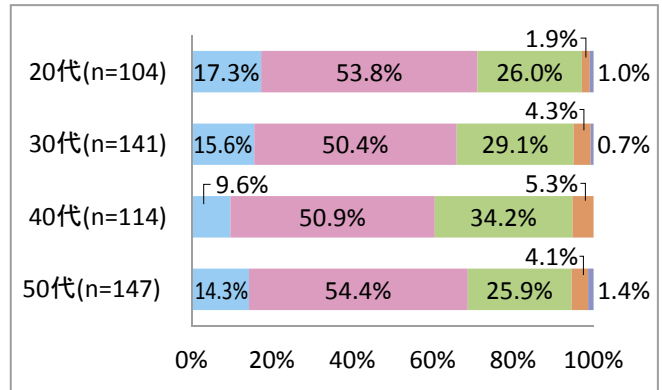
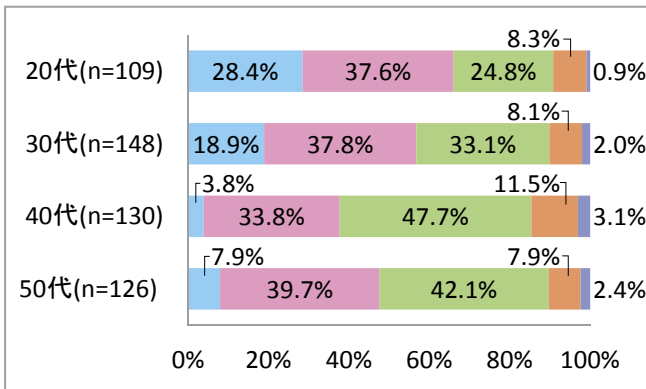


図2-6-キ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。

【男性】



【女性】

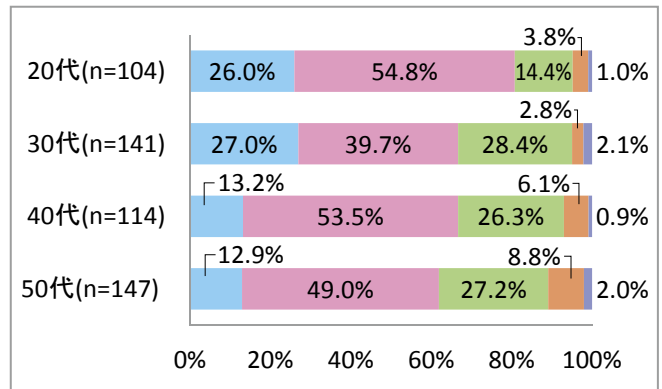
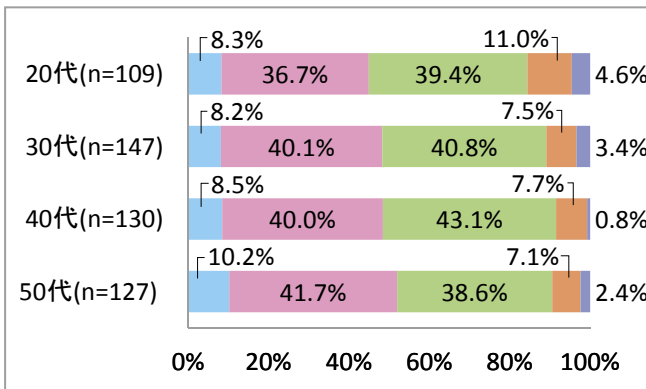


図2-6-ク 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。

【男性】



【女性】

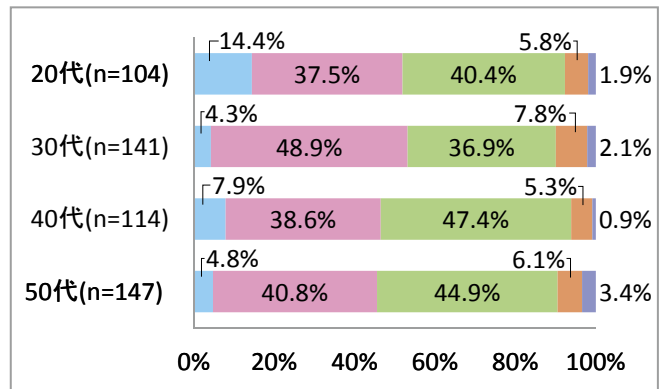
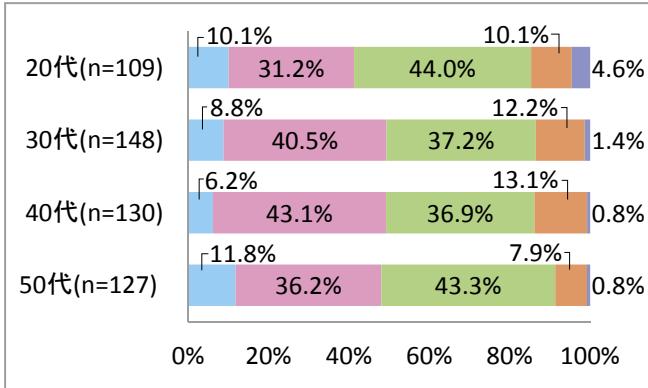


図2-6-ケ 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

【男性】



【女性】

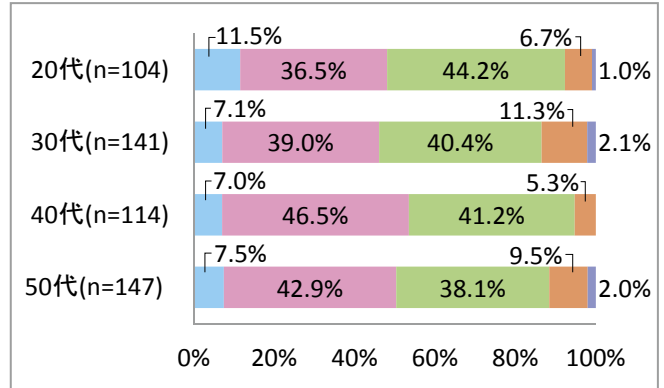
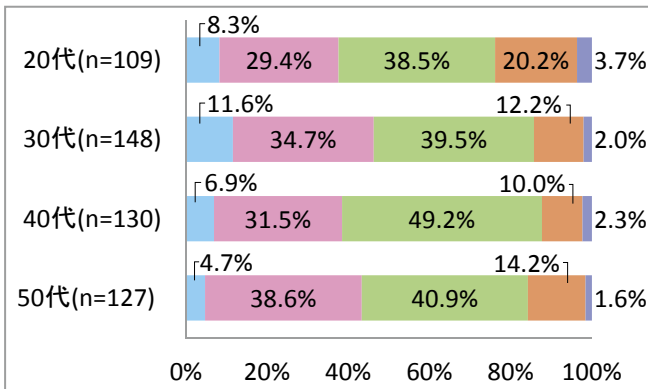


図2-6-コ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心を持ち謙虚に他に学ぶ。

【男性】



【女性】

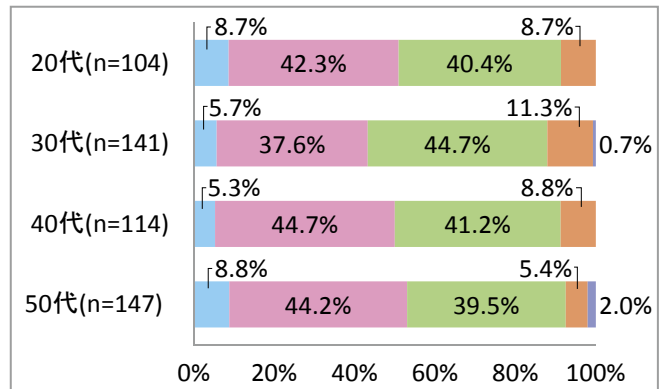
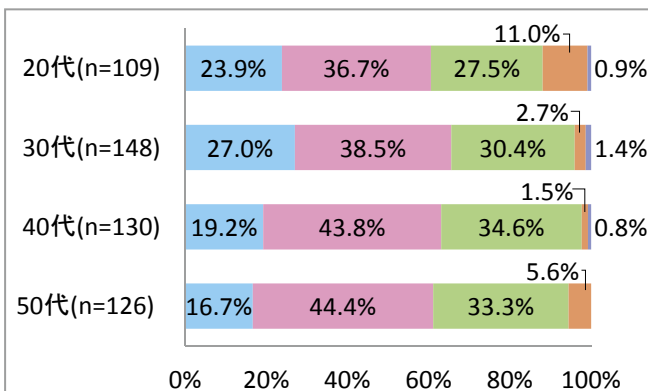


図2-6-サ 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。

【男性】



【女性】

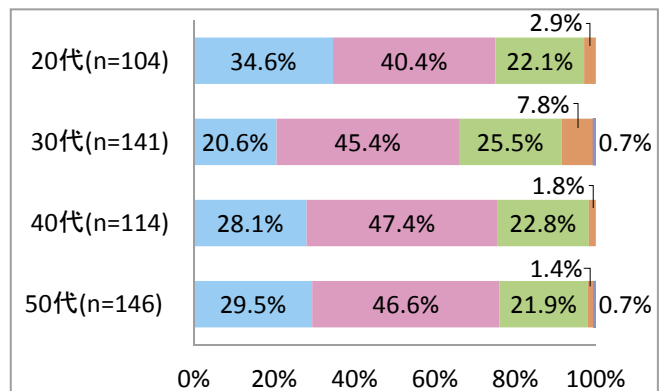


図2-6-シ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

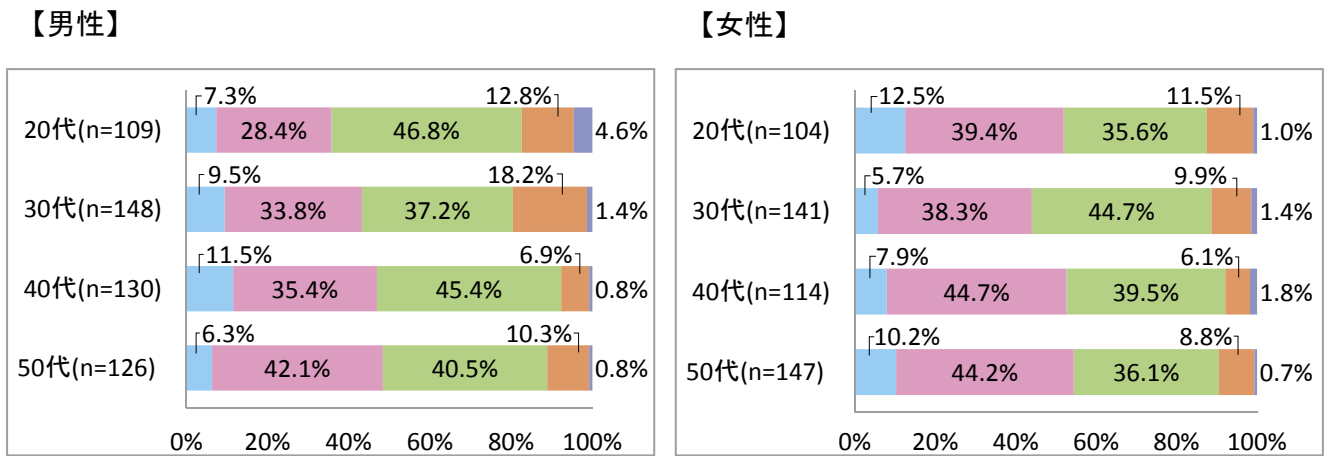


図2-6-S 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。

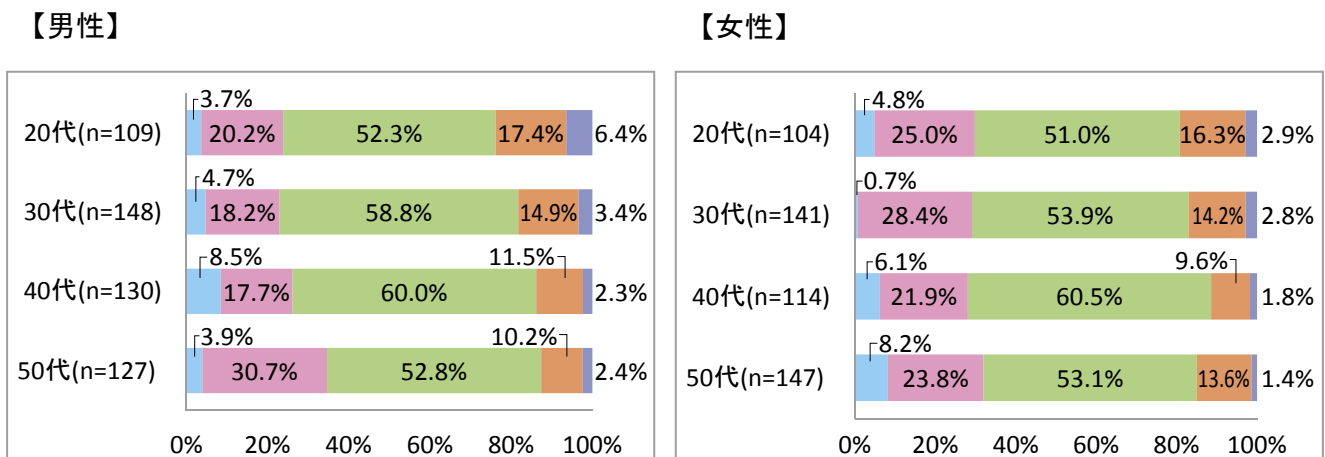


図2-6-Se 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。

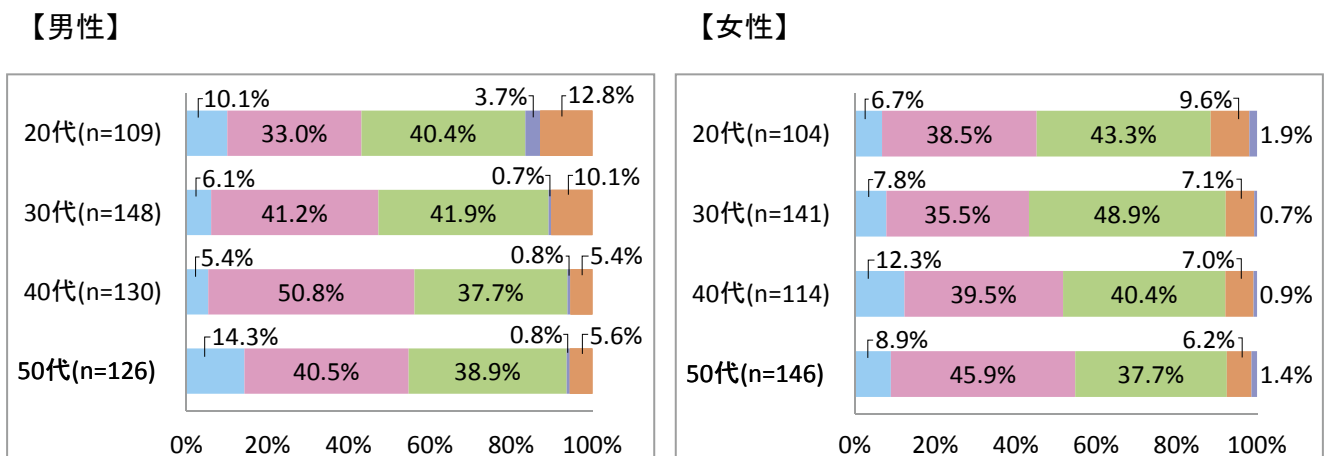


図2-6-Su 法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

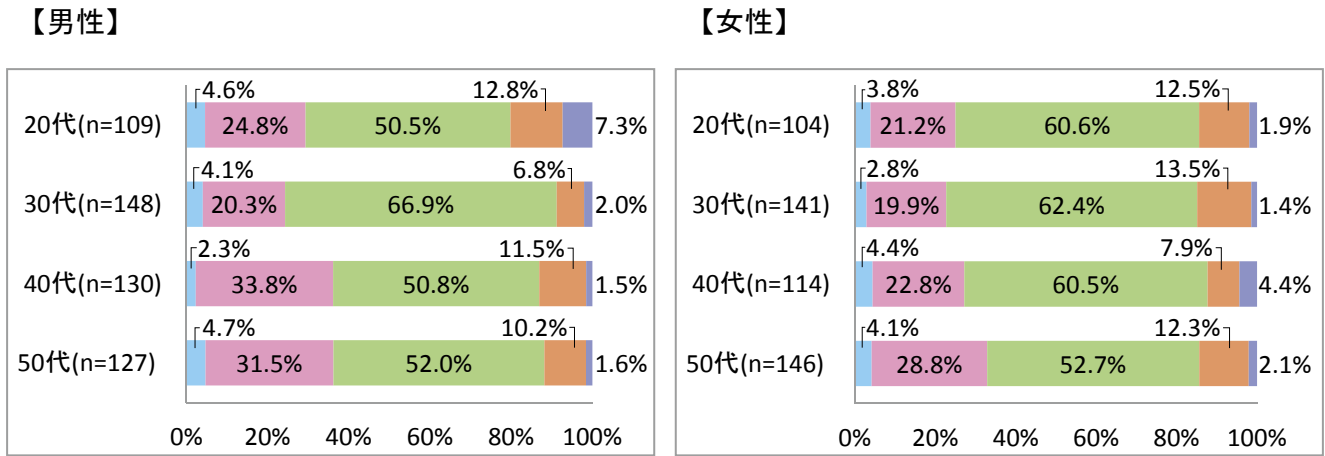


図2-6-タ 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。

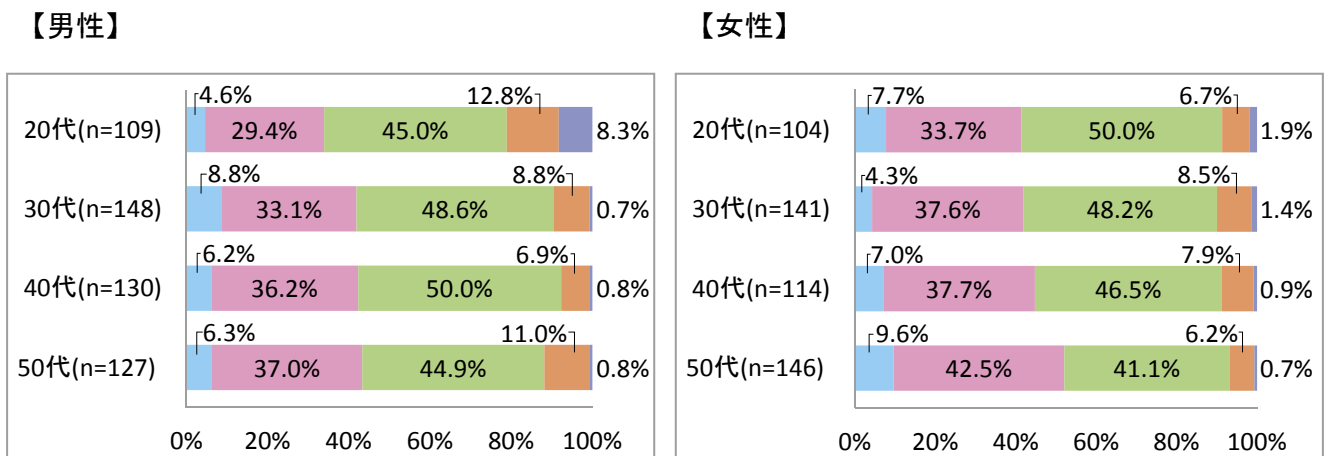


図2-6-チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。

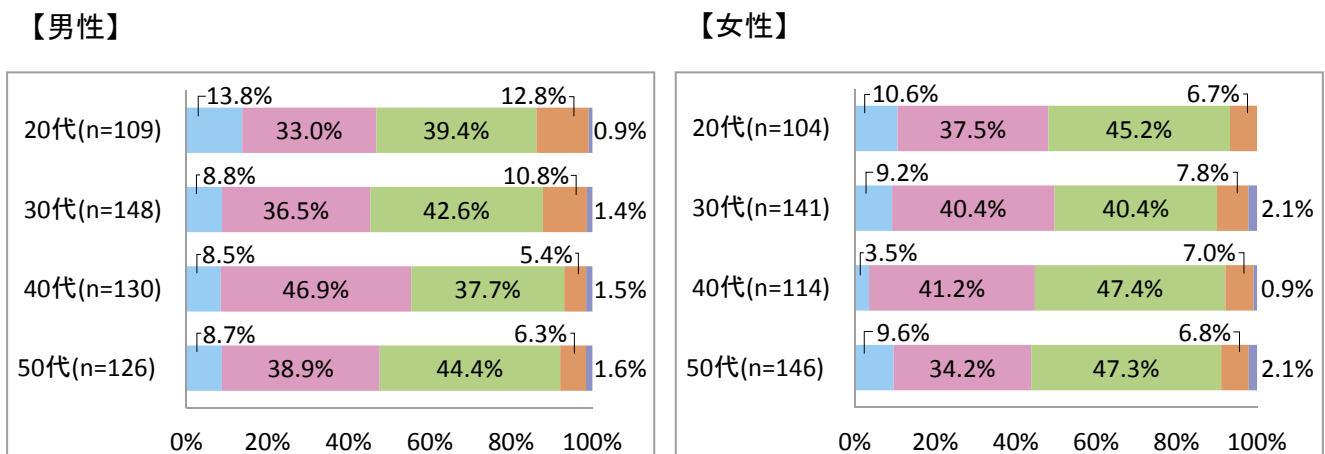
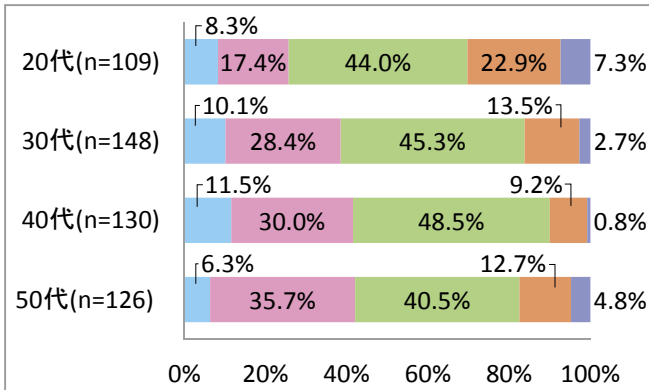


図2-6-ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。

■ できている ■ どちらかというとできている ■ どちらともいえない
■ どちらかというとできていない ■ できていない

【男性】



【女性】

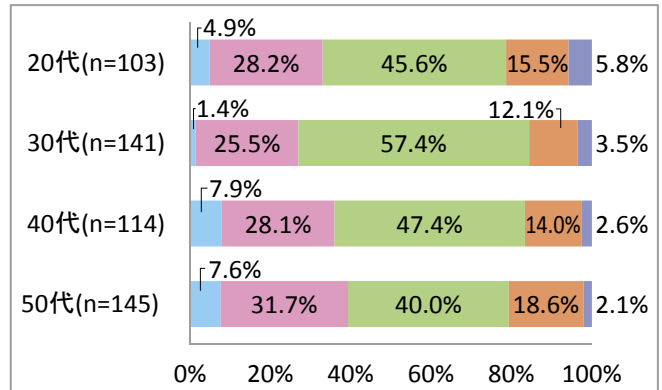
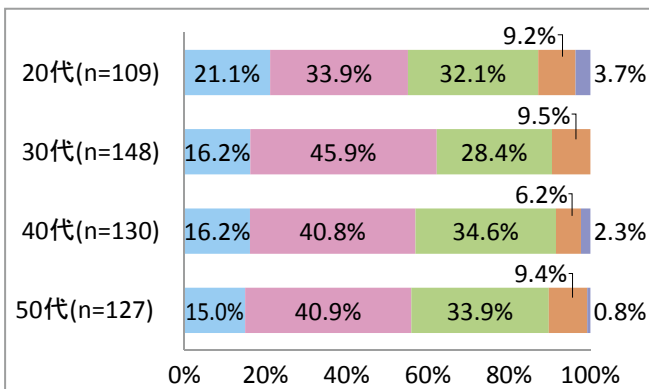


図2-6-テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。

【男性】



【女性】

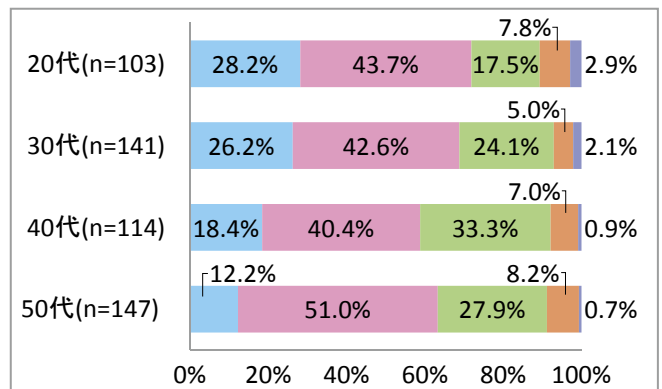
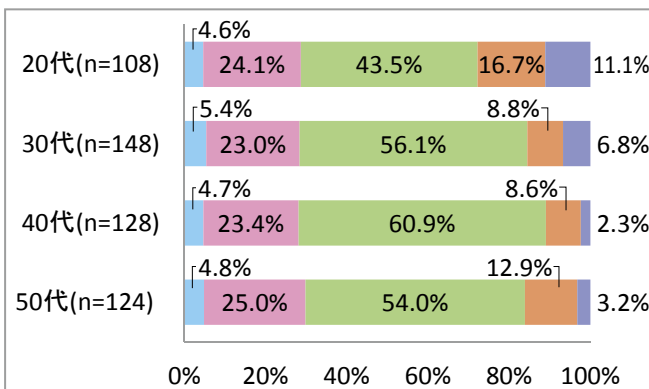


図2-6-ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。

【男性】



【女性】

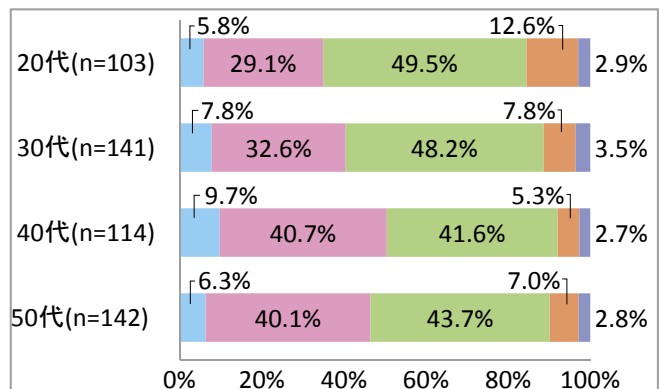


図2-6-ナ 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。

■ できている ■ どちらかというときている ■ どちらともいえない
■ どちらかというときていない ■ できていない

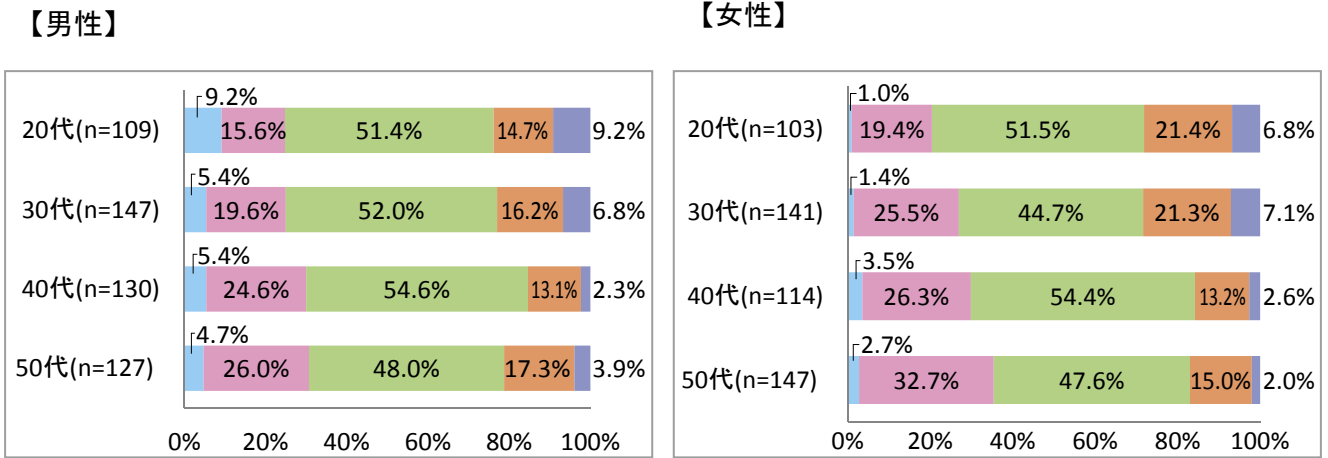


図2-6-ニ 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。

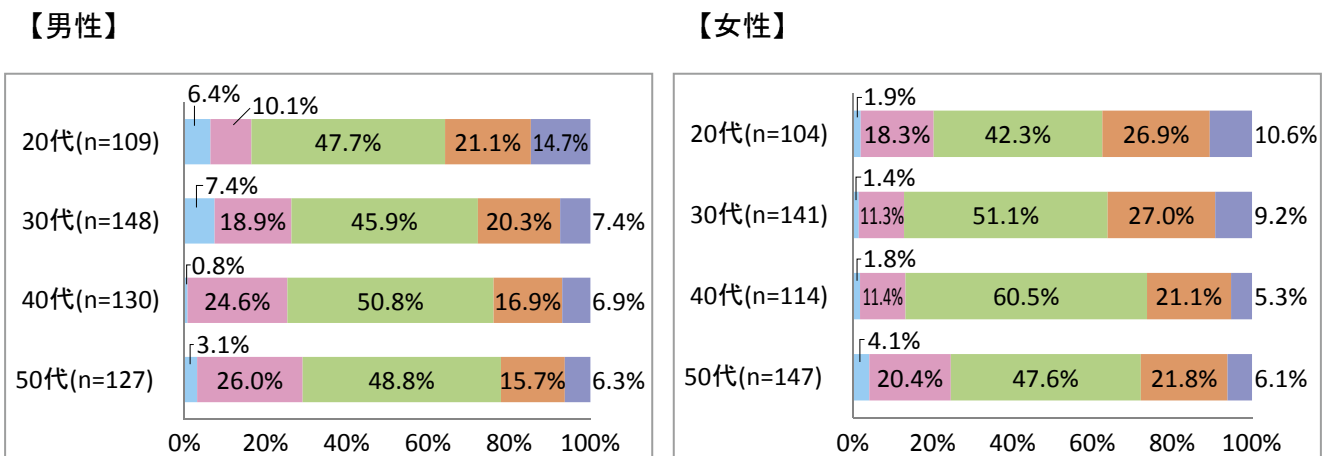


図2-6-ヌ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。

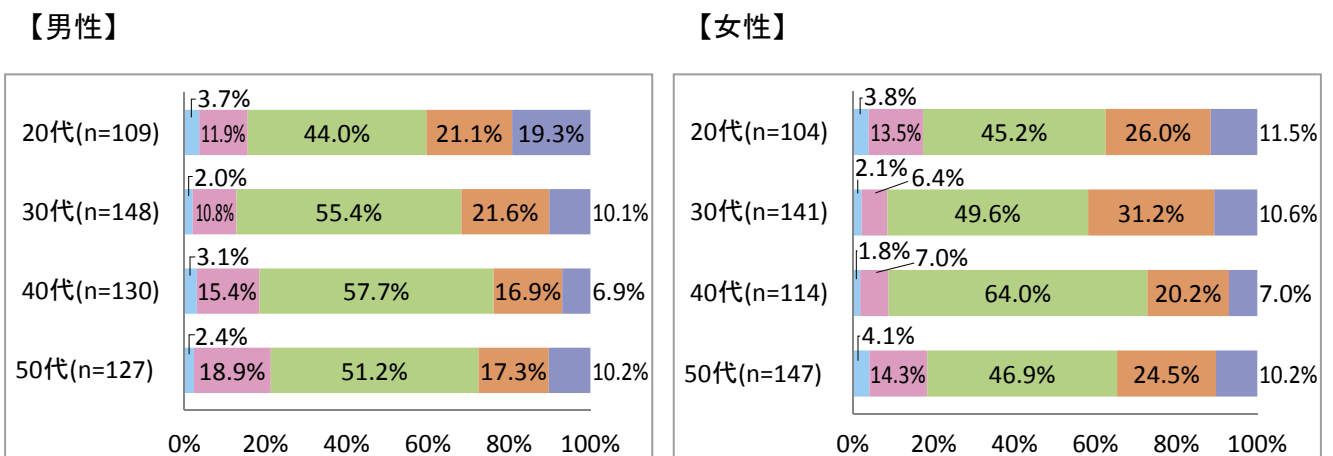


図2-6-ネ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。

第4章 <問3>社会や教育における道徳の重要度などへの意識

学校、家庭、地域における道徳教育（しつけ）の評価と期待等に関する項目である。

道徳教育（家庭の場合はしつけ等）がしっかりと行われているかについての評価は、「そう思う」「わりとそう思う」の回答を足した割合から検討すると、学校が19.5%、家庭が27.5%、地域が10.7%と全体的に低い傾向が見られた。一般成人は、現在の道徳教育やしつけに満足していないと言えよう。

【エ）学校の道徳教育をもっと充実すべきだ】という質問に、「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合は65.3%、【オ）家庭や地域でのモラルの指導をもっと充実すべきだ】については77.9%であった。いずれも「あまりそう思わない」「そう思わない」の回答は非常に少なく、学校、家庭、地域の道徳教育の充実化については、賛成意見が多いと言える（図3-1）。

【カ）社会全体のモラルが低下している】という設問については、「そう思う」「わりとそう思う」の回答を足した値が86.0%であり、モラルの低下への懸念は大きいと言える。

【キ）モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ】という設問に「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合は69.1%であり、モラルを高めることが、学力の向上につながると多くの成人が考えていることが明らかになった。

年代別に見ると、学校と家庭での道徳教育についての評価の項目では、50代で道徳教育やしつけなどがしっかりと行われていないという認識が最も高いことが分かる。しかし、地域における道徳教育については、20代でしっかりと行われていないという認識が最も高いことが示された（図3-2）。

学校、家庭、地域における道徳教育の充実については、50代でもっと充実すべきだと回答した割合が最も高かった。社会全体のモラルの低下についての懸念は、年代が高くなればなるほど、その傾向が強いことが示された。【キ）モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ】という設問についても、年代が高くなればなるほど、その傾向が強いことが示された（図3-2）。

年代性別の比較をみると、【カ）社会全体のモラルが低下している】の設問に対する「そう思う」の回答に着目すると、女性は年代が上がるにつれ値が上昇するのに対して、男性ではわずかながらではあるが年代が上がるにつれて値が下降していくことが明らかにされた。【キ）モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ】の設問に対する回答をみると、20代男性で「あまりそう思わない」「そう思わないが」高いことが明らかになった（図3-3）。

問3（4）の学校における道徳の時間数についての意見については、全体では【現在程度で良い】が40.8%、【増やした方が良い】が32.5%であった。【減らす方が良い】は1.2%、【道徳の時間を設けることに反対】は1.4%であった（図3-4-1）。

年代別に見ると、若い年代では現在程度で良いが多いが、50代では増やした方が良いが最も多いことが明らかになった（図3-4-2）。性別では、女性より男性の方が、増やした方が良いという意見が多いことが分かった（図3-4-3）。

問3 以下の項目について、社会や教育全体を見たとき、あなたはどのように感じますか。

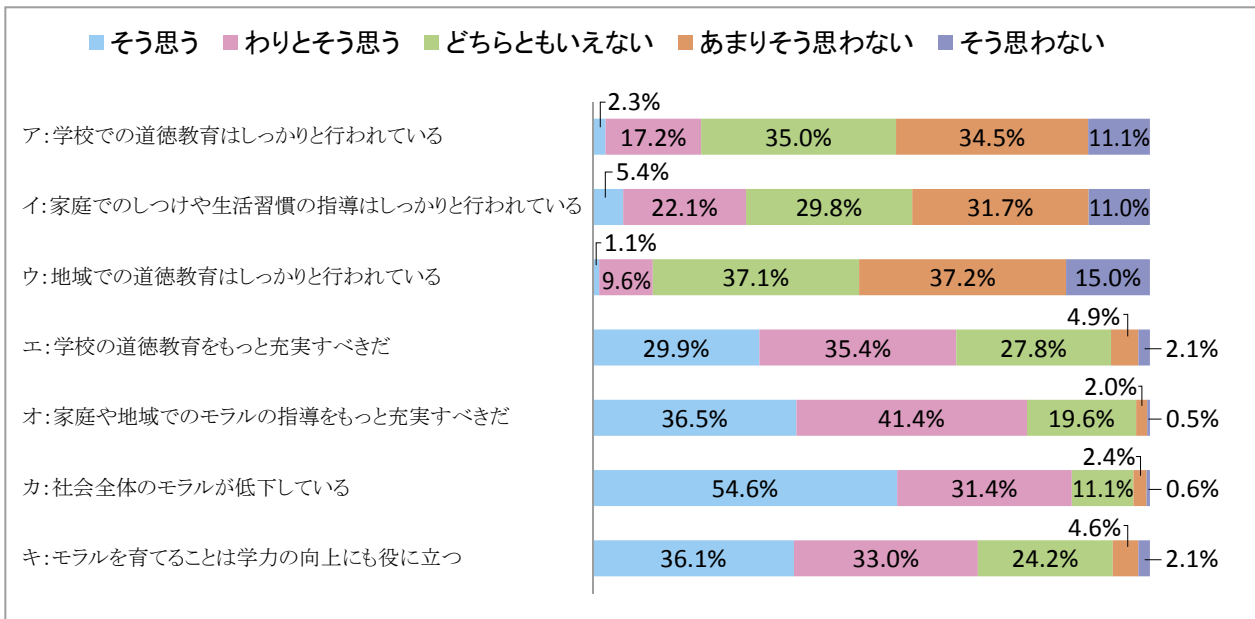


図3-1 社会や教育における道德の重要度などの意識

問3 以下の項目について、社会や教育全体を見たとき、あなたはどのように感じますか。＜年代別結果＞

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

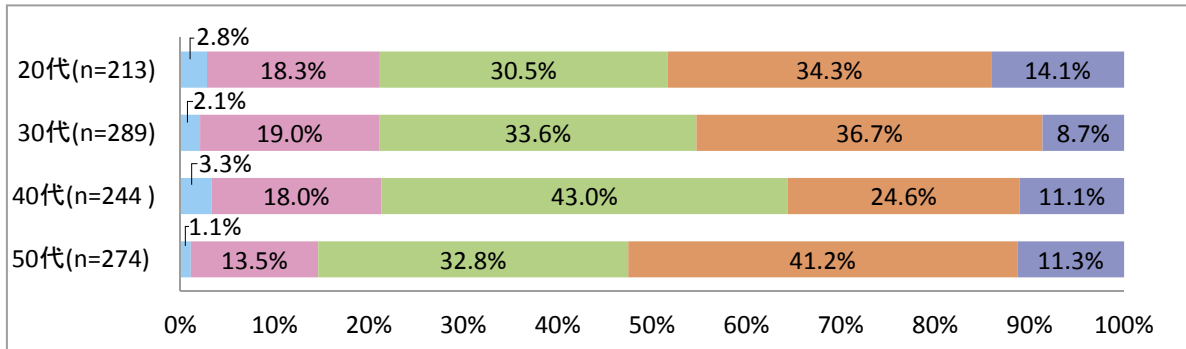


図3-2-ア 学校での道德教育はしっかりと行われている

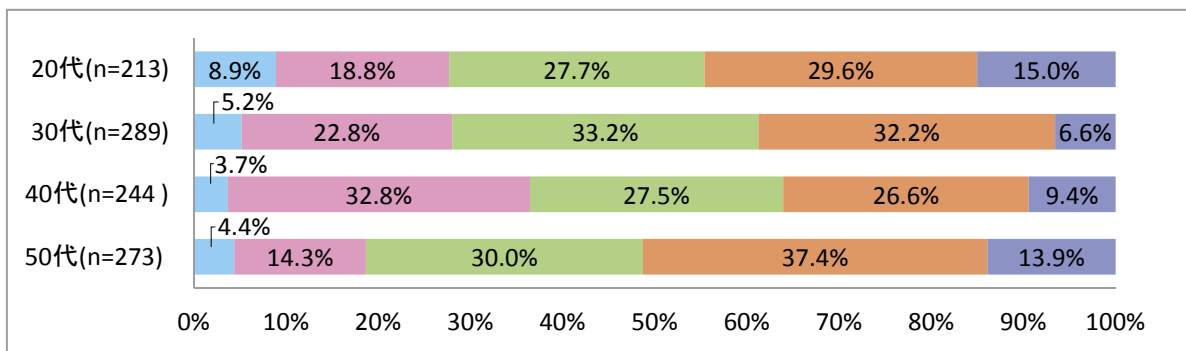


図3-2-イ 家庭でのしつけや生活習慣の指導はしっかりと行われている

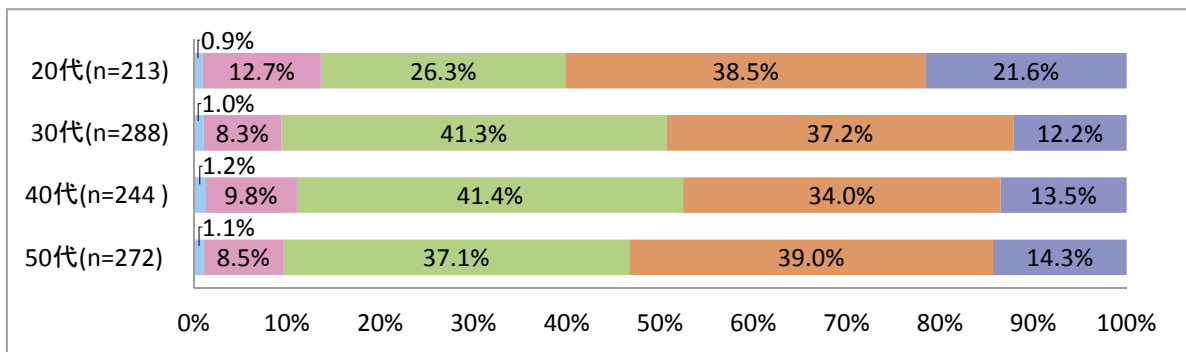


図3-2-ウ 地域での道德教育はしっかりと行われている

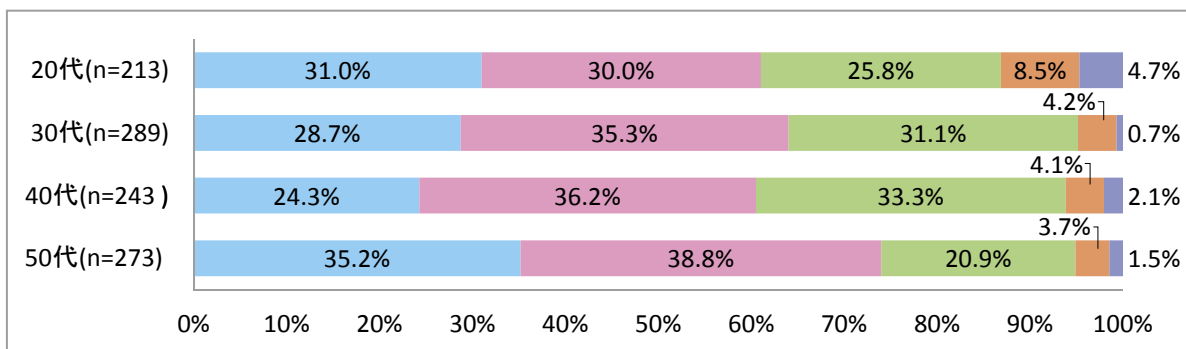


図3-2-エ 学校の道德教育をもっと充実すべきだ

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

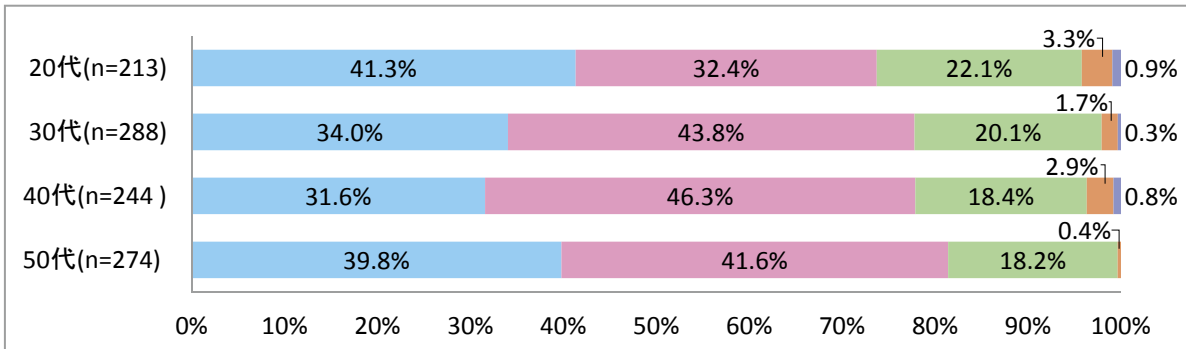


図3-2-オ 家庭や地域でのモラルの指導をもっと充実すべきだ

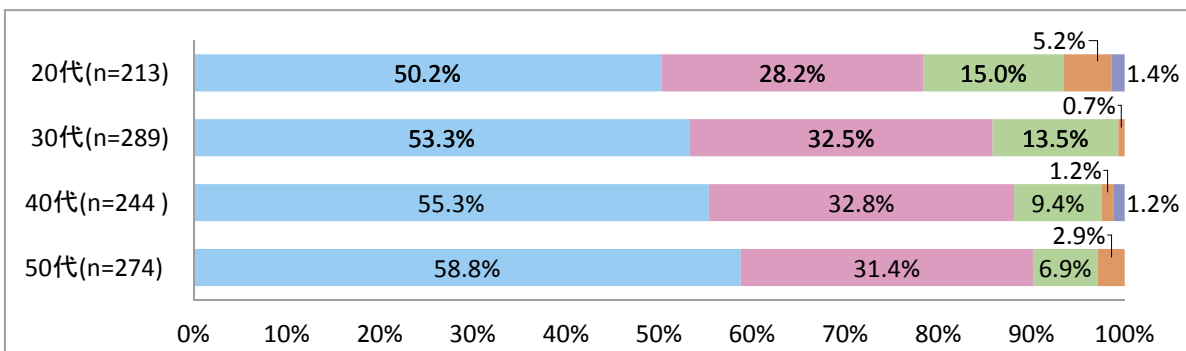


図3-2-カ 社会全体のモラルが低下している

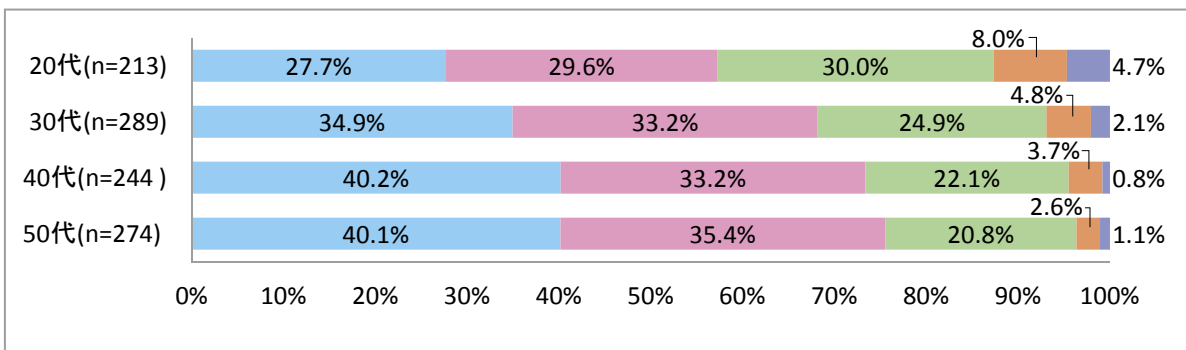


図3-2-キ モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ

問3 以下の項目について、社会や教育全体を見たとき、あなたはどのように感じますか。＜年代・性別結果＞

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

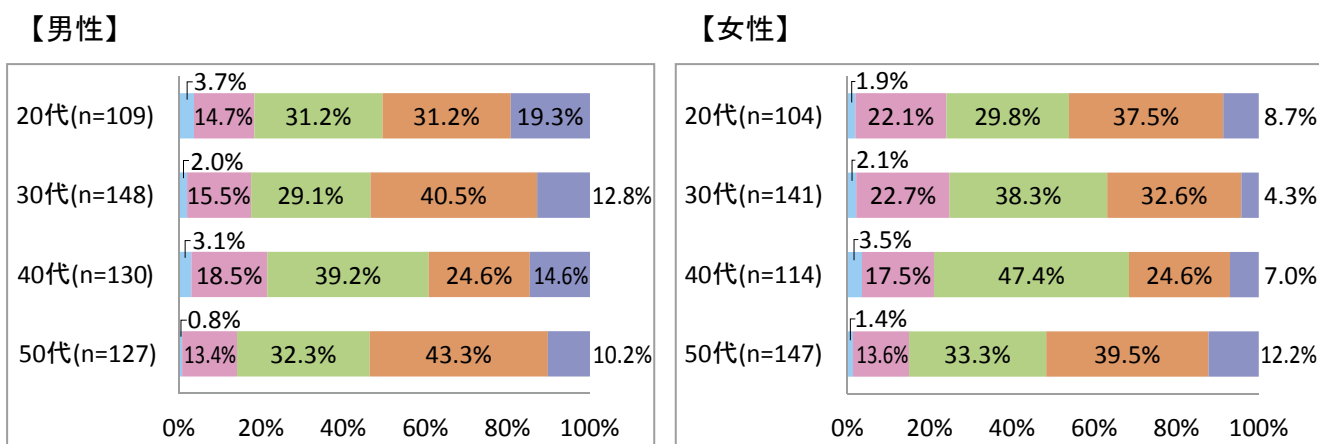


図3-3-ア 学校での道德教育はしっかりと行われている

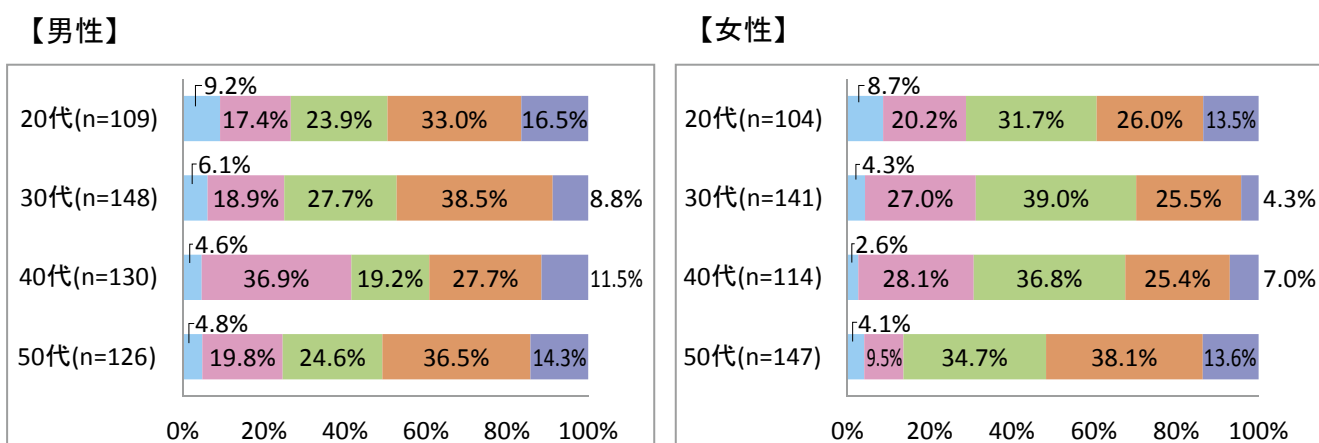


図3-3-イ 家庭でのしつけや生活習慣の指導はしっかりと行われている

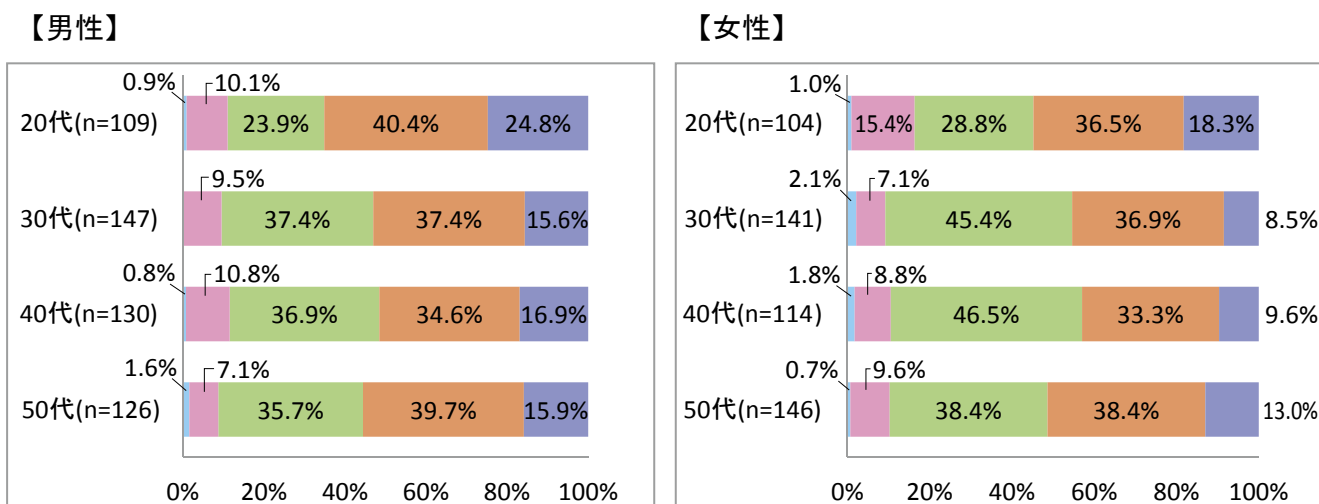


図3-3-ウ 地域での道德教育はしっかりと行われている

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

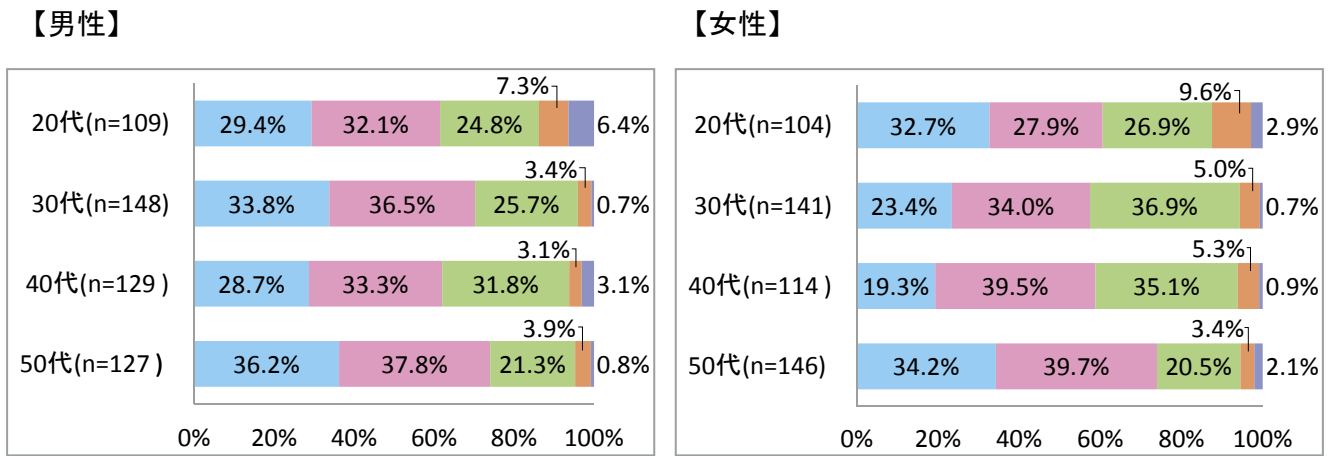


図3-3-エ 学校の道德教育をもっと充実すべきだ

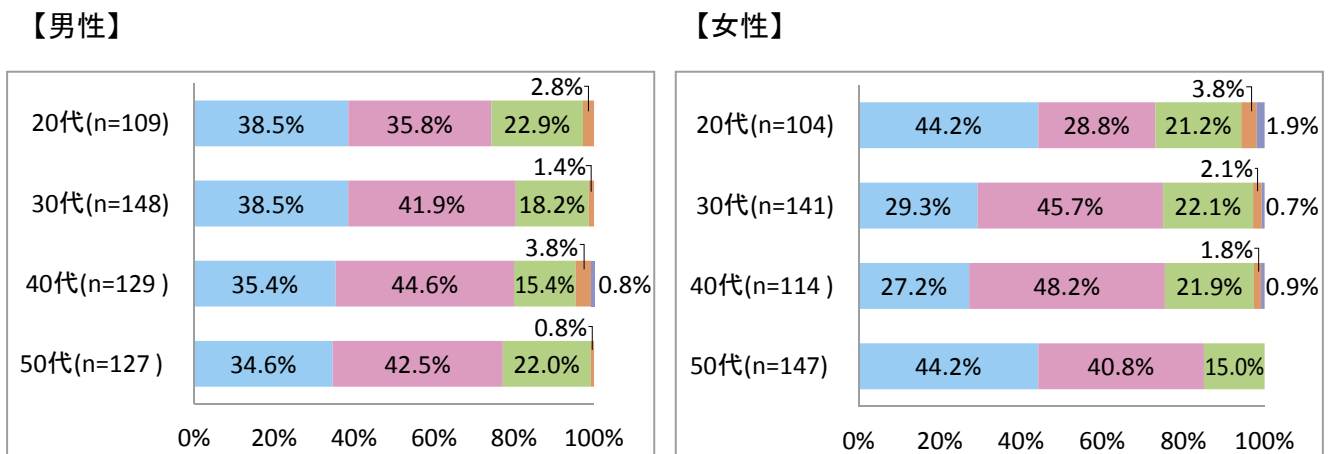


図3-3-オ 家庭や地域でのモラルの指導をもっと充実すべきだ

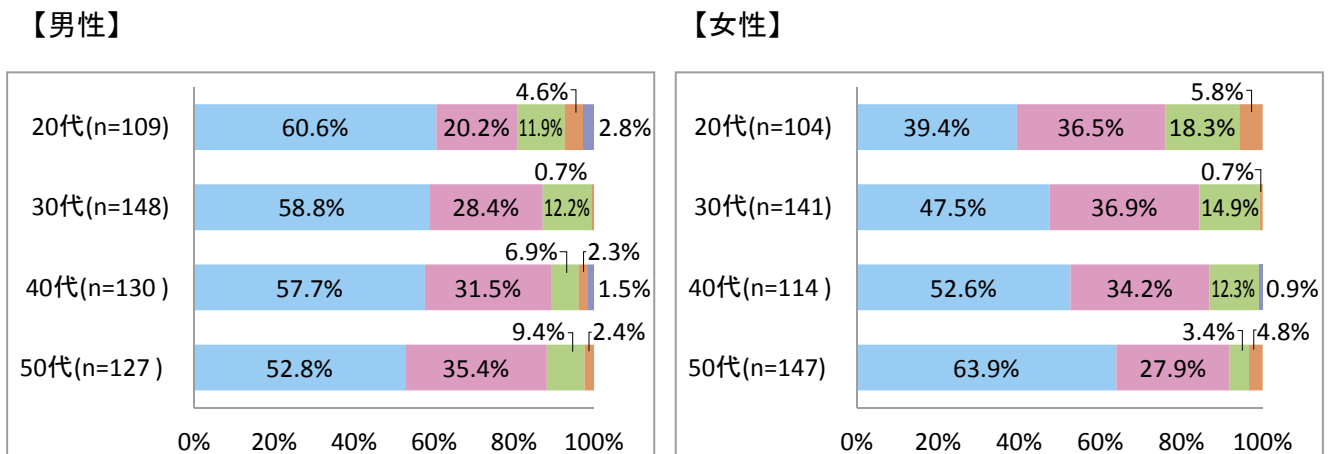


図3-3-カ 社会全体のモラルが低下している

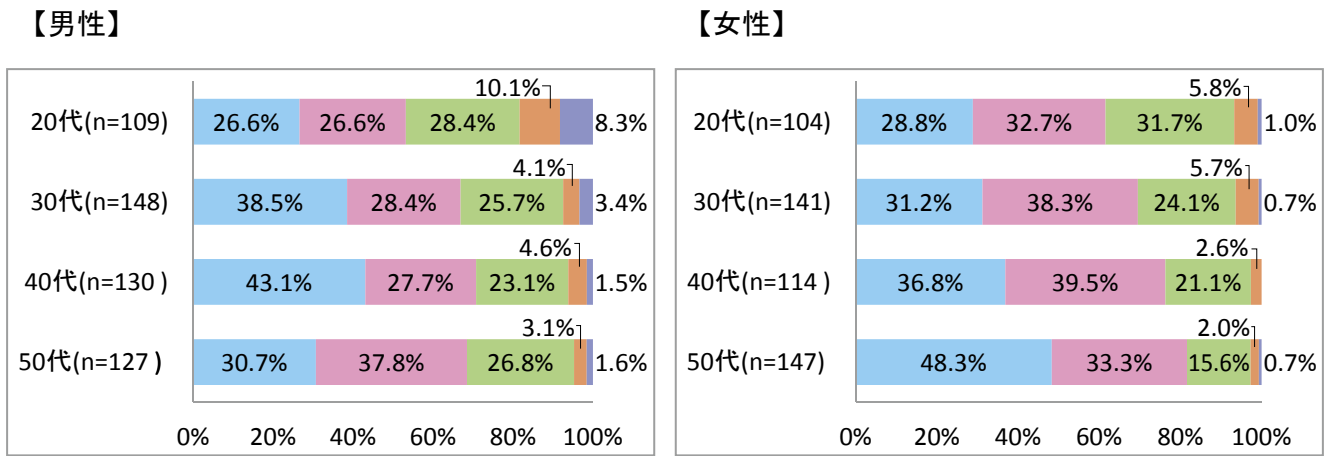
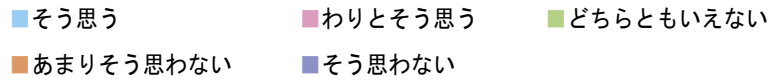


図3-3-キ モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ

問3（4）現在、小中学校の道徳の時間は年間で35単位時間（週1時間程度）と設定されていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。

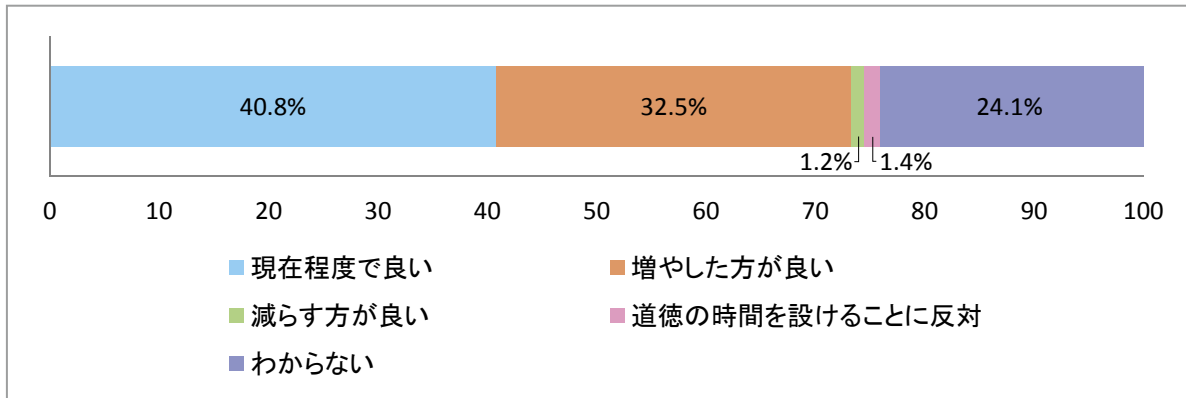


図3-4-1 道徳の時間数についての意見

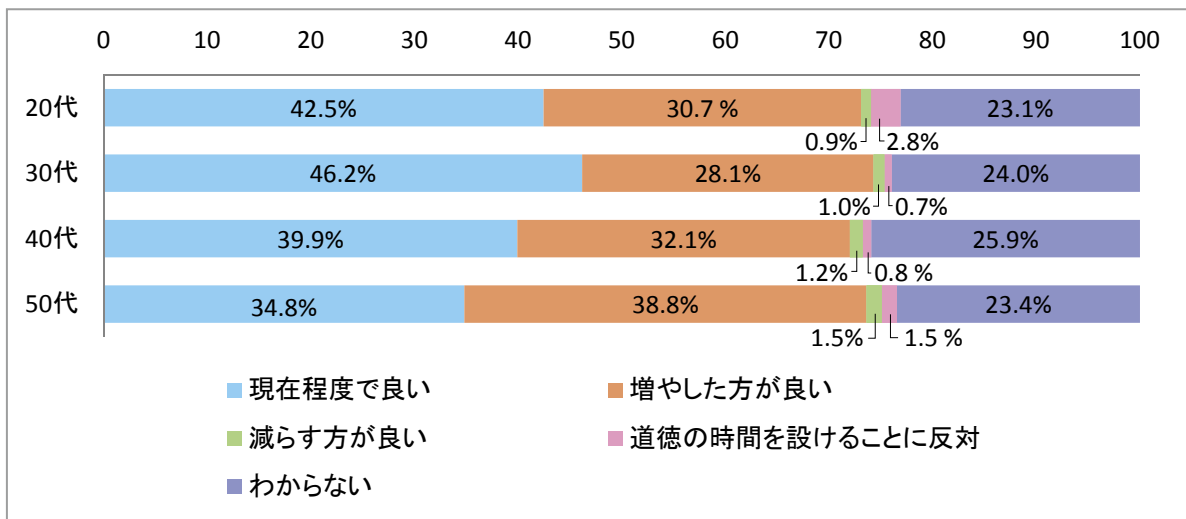


図3-4-2 道徳の時間数についての意見（年代別）

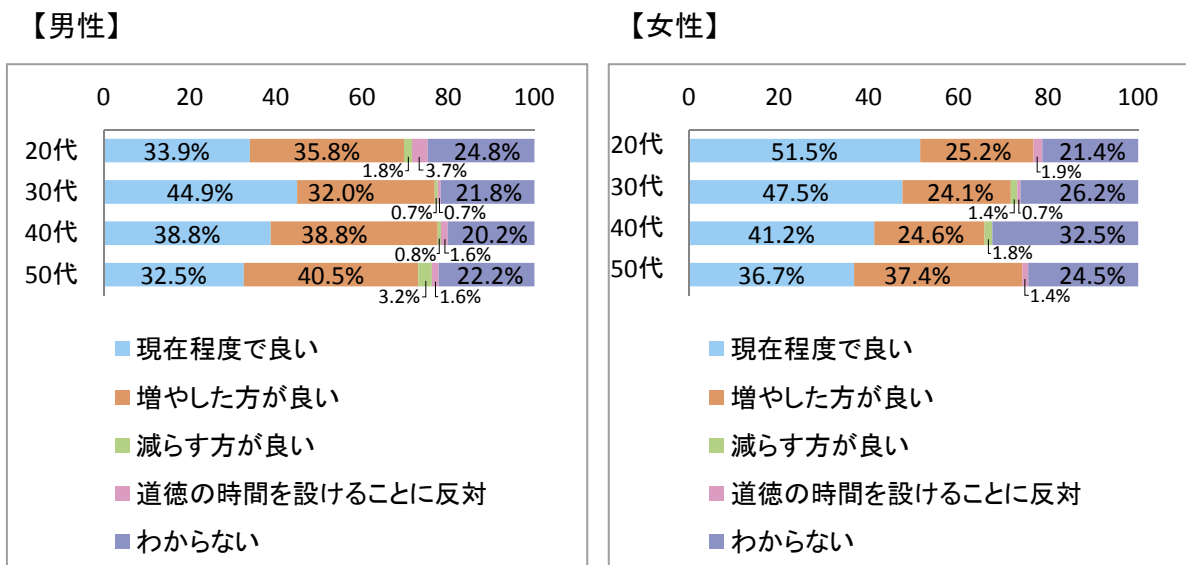


図3-4-3 道徳の時間数についての意見（年代性別）

第5章 <問4> 道徳に関する意識（規範意識や自己意識の傾向）

規範意識に関する項目の中では、「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合を足した値からとらえると、【ア）嘘もつくことも、場合によっては許される】（48.2%）、【エ）みんなは自分のことしか考えない】（35.0%）の2つが、比較的高い値を示した。【オ）法律違反をしなければ、あとは個人の自由だ】については、9.6%と低い値であり、法律だけに依存しない、道徳の大切さの認識を反映した結果であると推測される（図4-1）。

自己意識に関する項目である【カ）自分には、改めたいことがある】【キ）自分にはよいところがある】【ク）自分にはかなえない夢がある】については、「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合を足した値がいずれも60%程度で、比較的高い傾向にあった（図5-1）。

年代別にみても、基本的には年代が上がるほど、規範意識が高い傾向にあったが、【エ）みんなは自分のことしか考えない】の項目のみは、50代が「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合が高い傾向にあった（図4-2）。

自己意識に関する項目では、20代に特徴がみられた。【カ）自分には、改めたいことがある】では、20代で「そう思う」「わりとそう思う」と回答する割合が高かった。【キ）自分にはよいところがある】【ク）自分にはかなえない夢がある】の2項目については、20代では「どちらともいえない」という回答が少なく、その代わり「そう思う」「わりとそう思う」と回答した割合も、「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答した割合も、他の世代よりも高かった。つまり、20代では自分の長所の自覚のある人となない人、夢のある人となない人の両方が、他の世代よりも多いことが示された。アイデンティティ（自我同一性）の獲得に揺れる、青年期後期の特徴が現れたと解釈できるかもしれない（図4-2-カ、図4-2-キ、図4-2-ク）。

年代性別の結果をみると、規範意識については概ね男性よりも女性の方が強い傾向があることが分かる。また、20代男性で規範意識に対して他の年代、性別よりも低い傾向があった（図4-3）。

問4 以下の項目について、あなたはどのように思いますか。

- そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
- あまりそう思わない ■ そう思わない

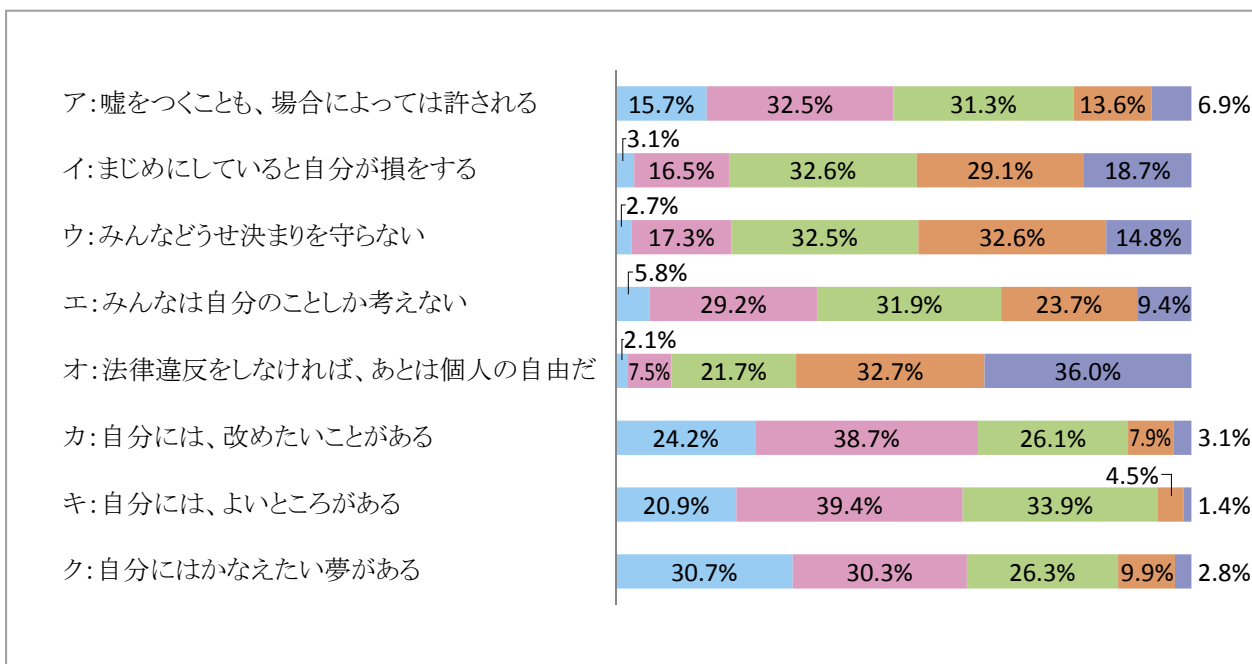


図4-1 道徳に関する意識(規範に関する意識や自己意識の傾向)

問4 以下の項目について、あなたはどのように思いますか。＜年代別結果＞

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

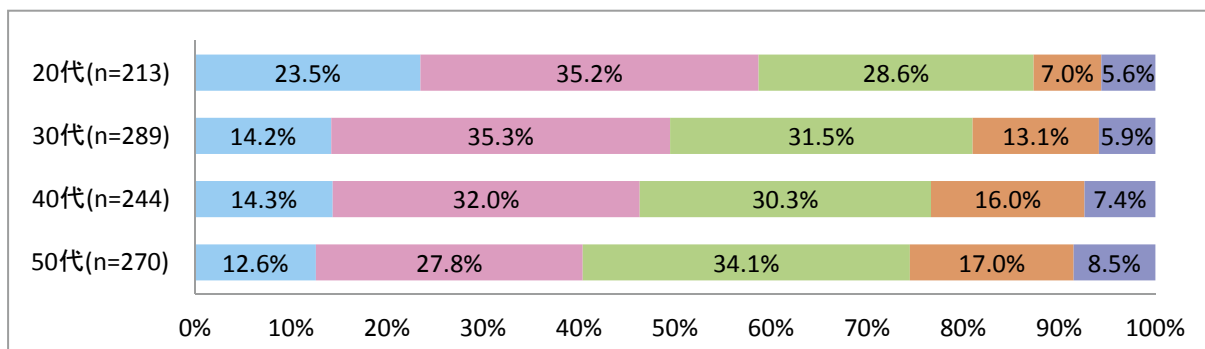


図4-2-ア 嘘をつくことも、場合によっては許される

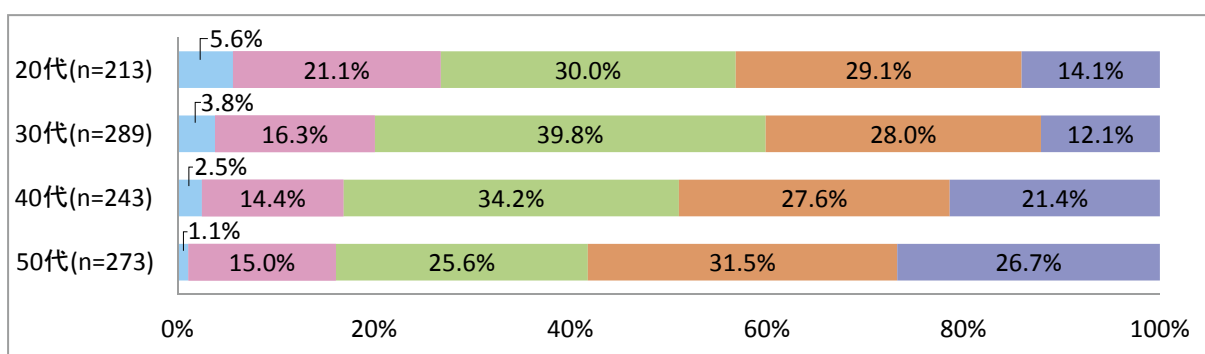


図4-2-イ まじめにしていると自分が損をする

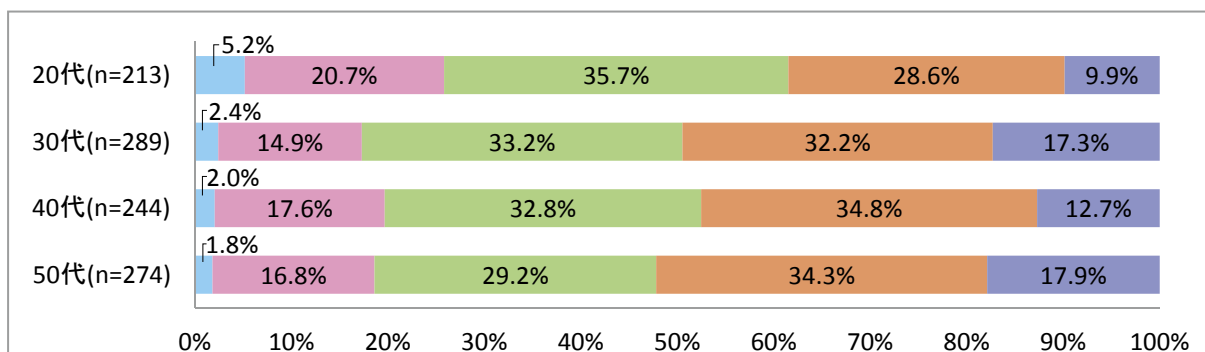


図4-2-ウ みんなどうせ決まりを守らない

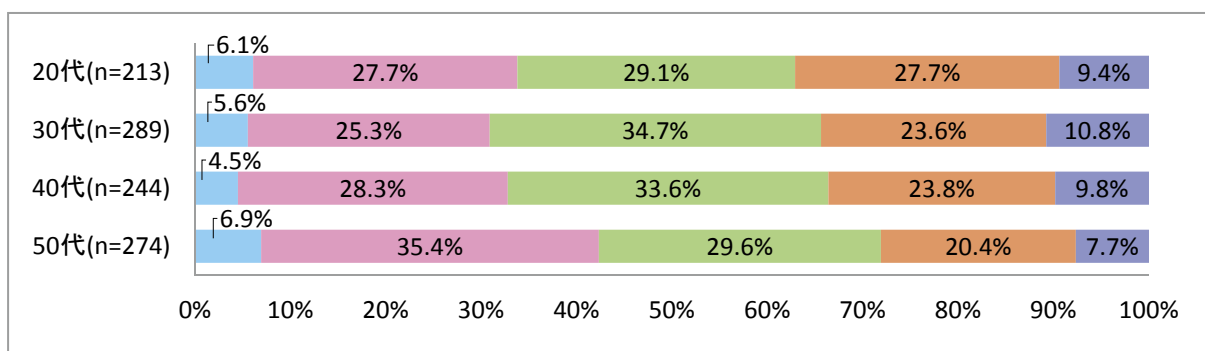


図4-2-エ みんなは自分のことしか考えない

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

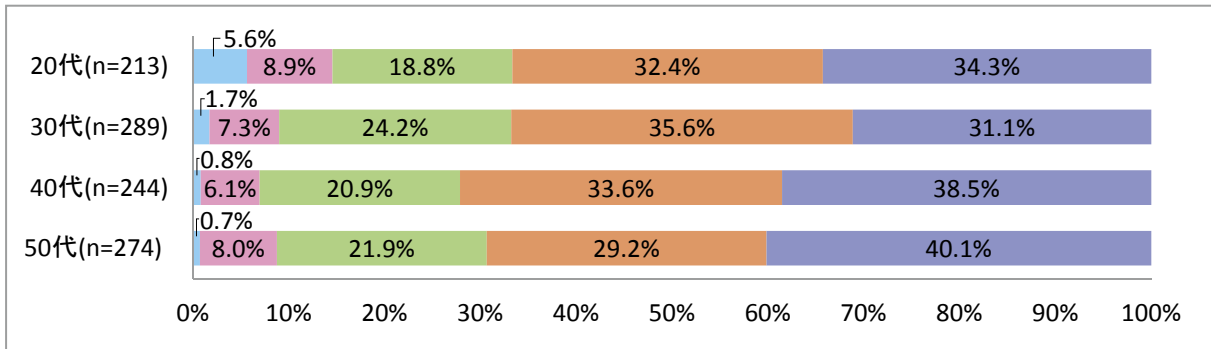


図4-2-オ 法律違反をしなければ、あとは個人の自由だ

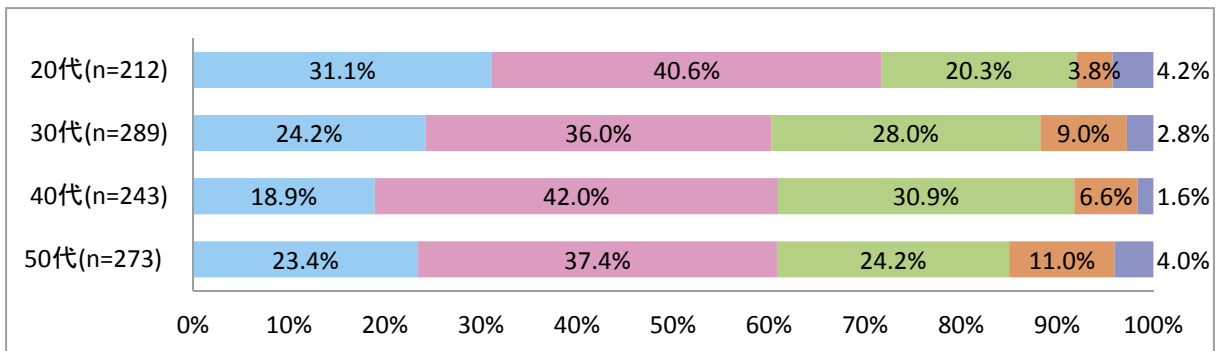


図4-2-カ 自分には、改めたいことがある

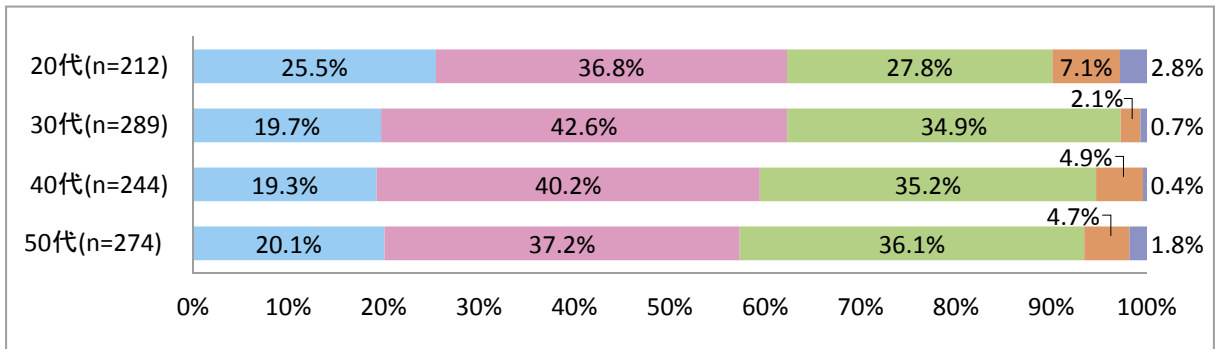


図4-2-キ 自分にはよいところがある

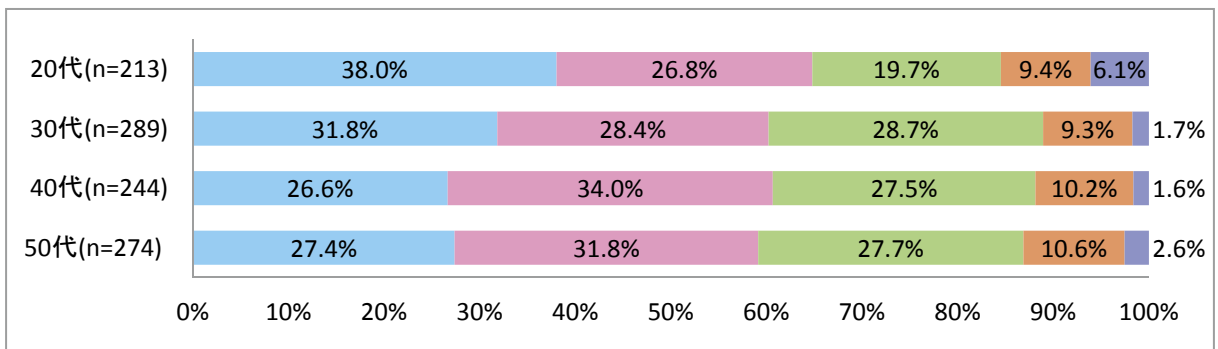
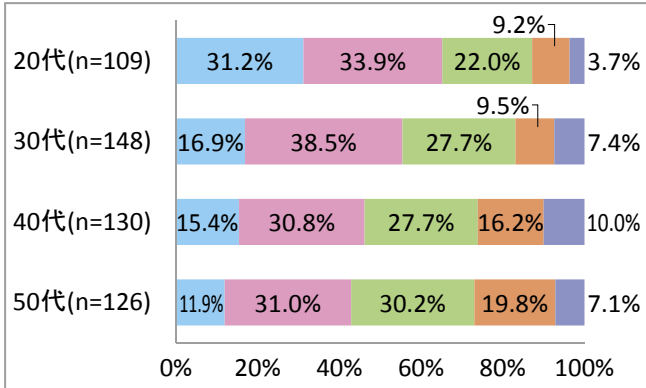


図4-2-ク 自分にはかなえない夢がある

問4 以下の項目について、あなたはどのように思いますか。＜年代・性別結果＞

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
 ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

【男性】



【女性】

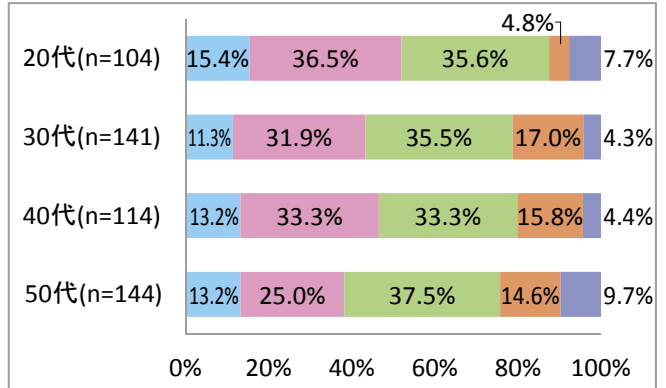
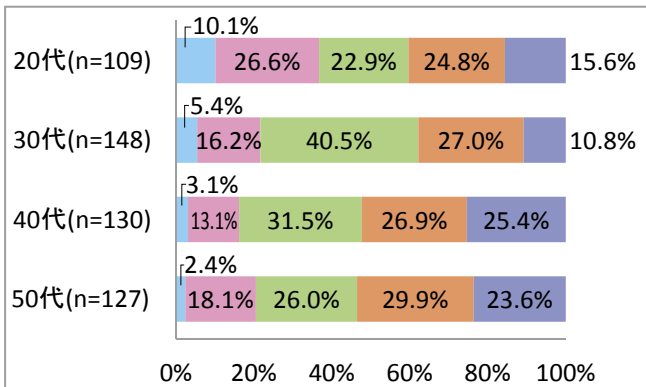


図4-3-ア 嘘もつくことも、場合によっては許される

【男性】



【女性】

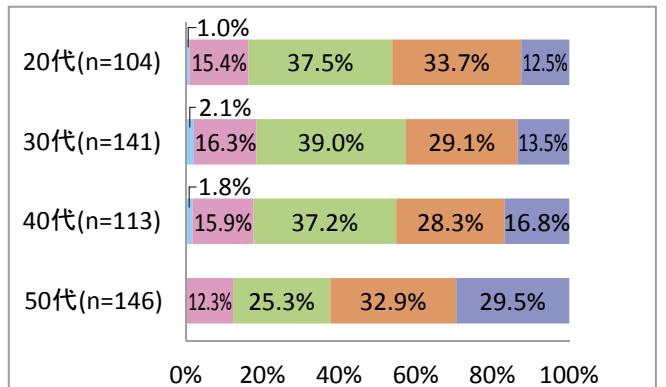
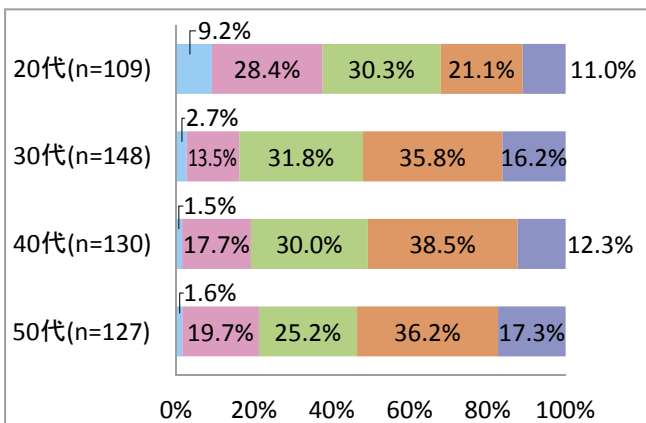


図4-3-イ まじめにしていると自分が損をする

【男性】



【女性】

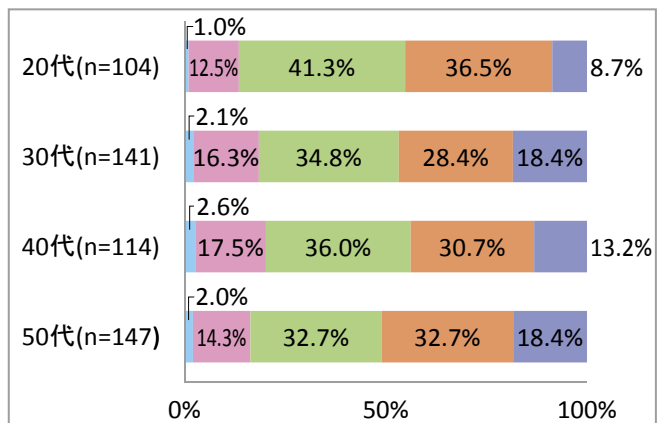


図4-3-ウ みんなどうせ決まりを守らない

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

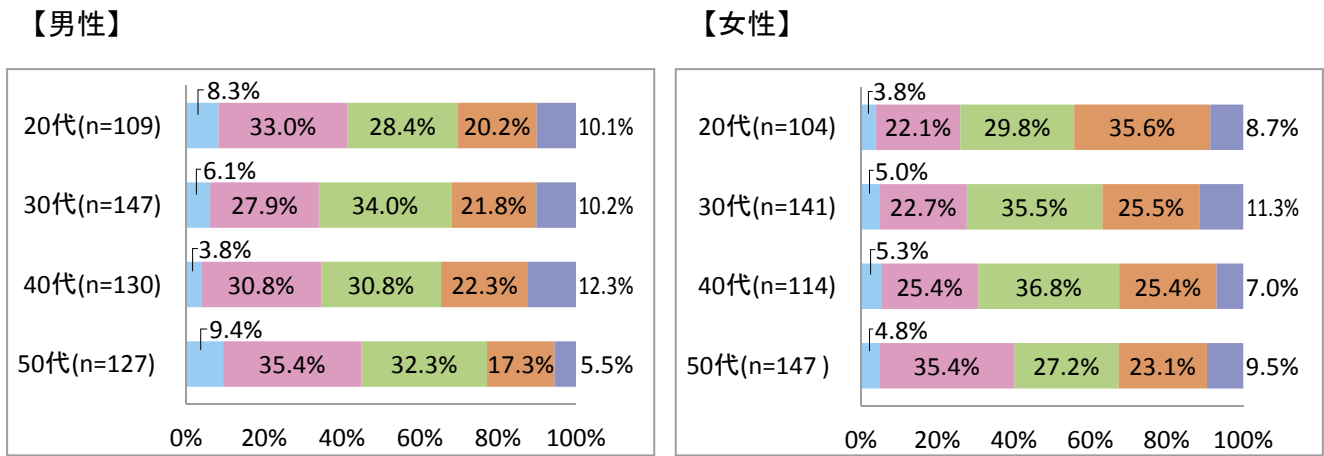


図4-3-エ みんなは自分のことしか考えない

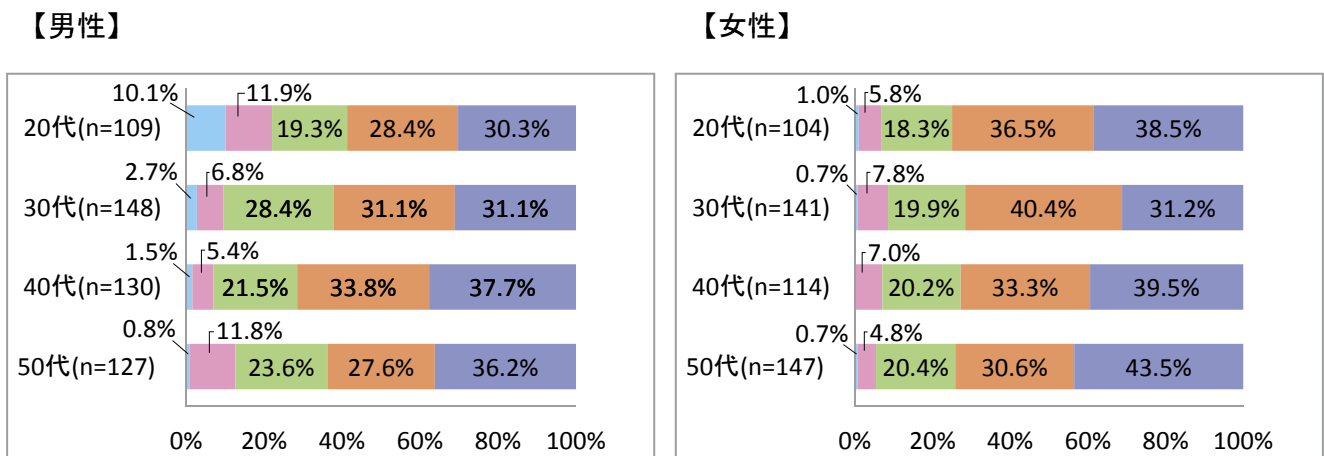


図4-3-オ 法律違反をしなければ、あとは個人の自由だ

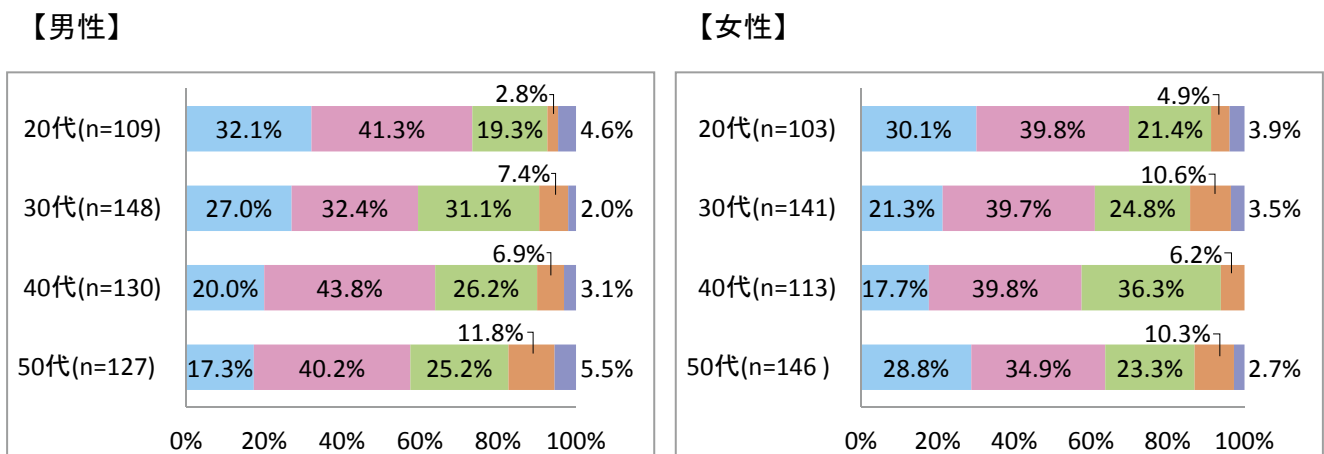


図4-3-カ 自分には、改めたいことがある

■ そう思う ■ わりとそう思う ■ どちらともいえない
■ あまりそう思わない ■ そう思わない

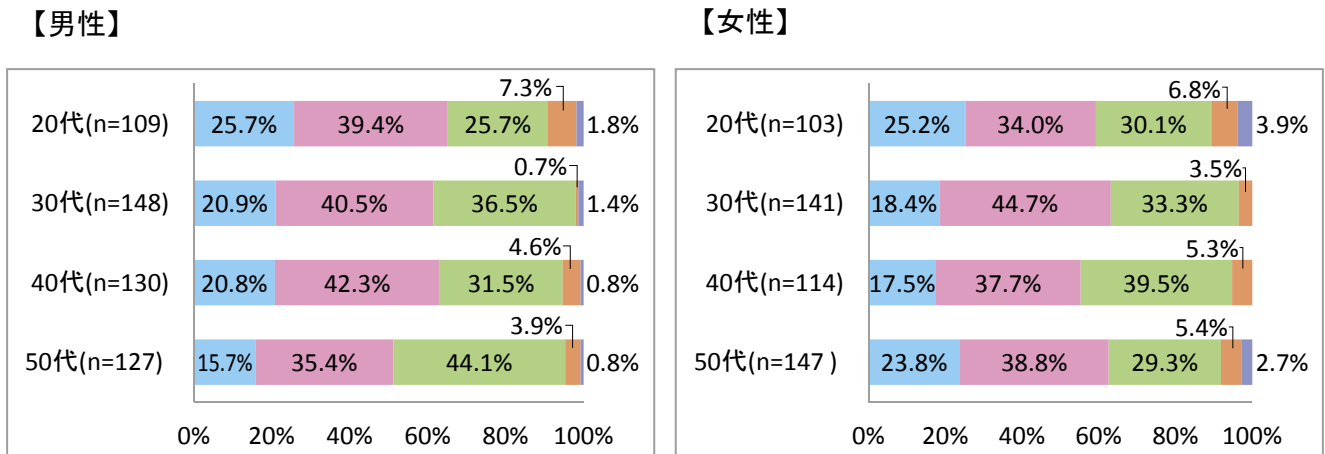


図4-3-キ 自分にはよいところがある

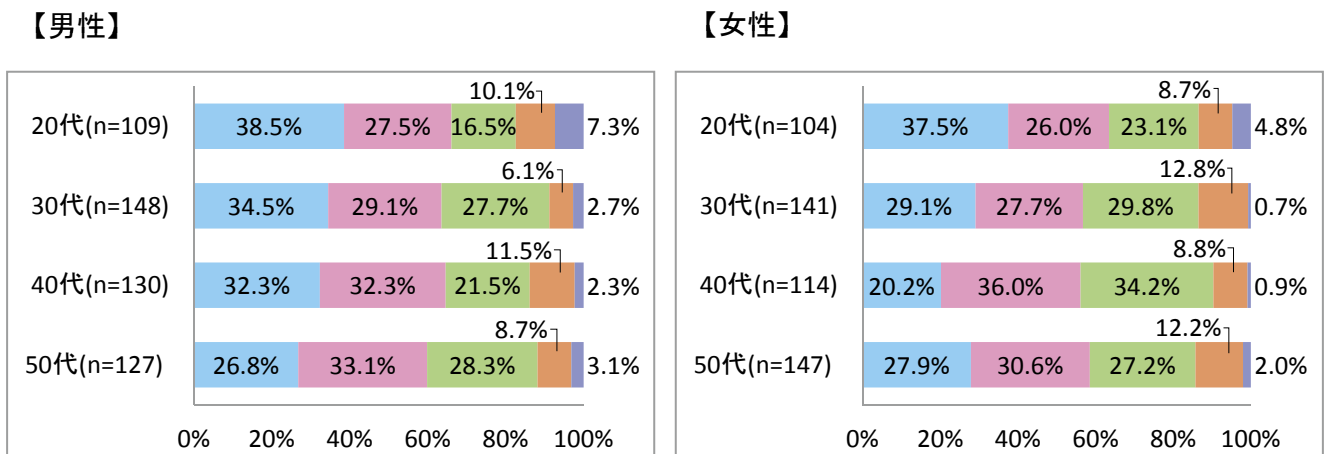


図4-3-ク 自分にはかなえない夢がある

※ 回答比率 (%) は少数点以下第 2 位を四捨五入したため、
個々の比率の合計は、100%にならないことがある。

第6章 体験と道徳的価値・実践力との関連について

18歳までの様々な体験と成人の道徳性との関連を検討するため、相関分析を行った。

表5-1は、子どもの時の体験を尋ねた問1の17項目の得点（「全くなかった」1点～「何度もあった」4点）と、道徳の内容項目がどのくらい「大切だと思うか」を尋ねた問2Aの24項目の得点（「大切でない」1点～「大切である」5点）のピアソンの積率相関係数の値を示したものである。また、年齢や性別によって体験や道徳性の差があることが示されているため（第2章と第3章）、年齢と性別を制御変数とした偏相関分析を行い、結果を表5-2に示した。内容項目の大切さの得点と有意な相関が特に多かった体験は、【タ 文化や伝統に触れたこと】、【ウ 夜空いっぱいの星を見たこと】であった。

表5-3は、子どもの時の体験を尋ねた問1の17項目の得点（「全くなかった」1点～「何度もあった」4点）と、道徳の内容項目をどのくらい「自分ができているか」を尋ねた問2Bの24項目の得点（「できていない」1点～「できている」5点）のピアソンの積率相関係数の値を示したものである。また、年齢や性別によって体験や道徳性の差があることが示されているため（第2章と第3章）、年齢と性別を制御変数とした偏相関分析の結果を表5-4に示した。表5-1、5-2に示された体験と内容項目の大切さとの相関分析と比較すると、多くの変数間で有意な相関の値が得られた。子どもの頃の体験は、「大切だと思う」という意識される道徳的価値観よりも、実際にそれらの価値を実践できているという自己評価との関連が強いことが明らかにされた。子どもの頃の体験は、「大切さ」として意識に無くても、まさに体にしみこみ、成人になったときの道徳的実践力につながっている可能性が示されたと言えよう。

内容項目をどのくらい自分ができているかの得点と特に有意な相関が多かった体験は、【タ 文化や伝統に触れたこと】、【チ 地域の行事に参加したこと】【ク 体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと】【ケ 清掃活動（草取り、ゴミ拾いなど）へ参加したこと】【コ 木材を使ったものづくりをしたこと】【サ 包丁やナイフを使って調理をしたこと】【ス 親と離れて、どこかに宿泊したこと（合宿やキャンプなど）】【ウ 夜空いっぱいの星を見たこと】であった。それ以外の体験も、内容項目をどのくらい自分ができているかとの相関が多く見られ、成人の道徳的実践力の形成において、子どもの頃の体験の重要性が示されたと言えよう。

なお、得られた相関の値は有意であっても全て.300以下であり、統計的には弱い相関であるため、解釈は慎重に行わなければならない。それでも、子どもの頃の体験と成人の道徳的価値・実践力という概念的に遠い変数の相関であるため、これらの関連が示されたことには十分に意味があると思われる。

表5-1-1 体験と道徳の内容項目(大切さ)との相関(1)

問1 18歳までの体験																				
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.053	.007	.067*	.035	.064*	.044	.029	.030	.076*	.018	.044	.081**	.055	.063*	.110**	.099**	.036		
イ	山登りをしたこと	.070*	.076*	.100**	.117**	.065*	.025	.025	.112**	.098**	.078*	.009	-.013	.124**	.018	.106**	.096**	.072*		
ウ	夜空いっぱい星を見たこと	.044	.085**	.109**	.094**	.071*	.033	-.017	.063*	.085**	.099**	.025	-.014	.091**	.022	.043	.094**	.051		
エ	魚や貝や昆虫を捕まえたこと	.019	.081**	.075*	.081**	.071*	.071*	.044	.123**	.136**	.077*	.057	.028	.095**	.014	.025	.107**	.073*		
オ	生き物飼育をしたこと	.028	.073*	.104**	.088**	.106**	.052	.002	.066*	.079*	.071*	.016	-.008	.082**	-.027	.069*	.112**	.060		
カ	花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと	.060	.001	.052	.015	.032	.052	-.011	.032	.022	.001	.058	.075*	.044	.020	.046	.064*	.067*		
キ	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。	.013	-.034	.024	-.003	-.004	.018	.021	.033	.014	-.061*	.041	.114**	.019	.054	.010	.044	.077*		
ク	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやり心をもつ。	.060	.067*	.120**	.035	.043	.059	.051	.114**	.066*	.025	.062*	.100**	.078*	.086**	.027	.129**	.093**		
ケ	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。	.081**	.068*	.113**	.094**	.039	.071*	.022	.062*	.089**	.060	.068*	.098**	.124**	.016	.060	.122**	.068*		
コ	男女は、互いに異性に正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。	.091**	.100**	.071*	.094**	.096**	.101**	.027	.008	.066*	.060	.088**	.108**	.122**	.039	.062*	.130**	.104**		
ク	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものを見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。	** 相関係数は 1% 水準で有意です。* 相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。																		
問2 A 道徳の内容項目の「大切さ」																				

表5-1-2 体験と道徳の内容項目(大切さ)との相関(2)

		問1 18歳までの体験																
問2 A 道徳の内容項目の「大切さ」	サ 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。	.049	.050	.109**	.058	.057	.016	.012	.069*	.051	.017	.044	.093**	.059	.004	-.003	.100**	.077*
	シ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。	.048	.021	.089**	.009	.072*	.065*	.012	.058	.085**	.006	.122**	.137**	.065*	.094**	.044	.115**	.126**
	ス 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	.040	.015	.139**	.053	.098**	.093**	.035	.106**	.110**	.068*	.114**	.173**	.050	.058	.036	.126**	.104**
	セ 人間には弱さや臆さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。	.023	.014	.083**	-.003	.031	.053	.041	.104**	.119**	.007	.088**	.121**	.045	.076*	-.006	.114**	.059
	ソ 法やまじりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。	.035	.055	.129**	.055	.063*	.079*	.006	.023	.102**	.088**	.061	.071*	.027	.027	.059	.134**	.093**
	タ 公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。	.070*	.053	.109**	.089**	.060	.078*	.072*	.100**	.101**	.096**	.100**	.067*	.046	.069*	.009	.146**	.078*
	チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。	.036	.020	.103**	.093**	.021	.060	.078*	.064*	.070*	.042	.089**	.114**	.037	.066*	.101**	.116**	.097**
	ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。	.050	.029	.107**	.085**	.042	.066*	.016	.059	.085**	.047	.073*	.049	.047	.043	.028	.114**	.071*
	テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。	.059	.014	.138**	.082**	.018	.087**	.069*	.068*	.097**	.047	.064*	.089**	.009	.055	.017	.131**	.083**
	ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。	.051	-.027	.036	.054	.002	.039	.062*	.051	.069*	.002	.041	.072*	.018	.096**	.054	.081**	.091**

** 相関係数は 1% 水準で有意です。* 相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-1-3 体験と道徳の内容項目(大切さ)との相関(3)

問1 18歳までの体験																		
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.044	.015	.121**	.058	.053	.134**	.087**	.079*	.139**	.056	.124**	.162**	.021	.073*	.040	.142**	.144**
イ	山登りをしたこと	.036	.001	.125**	.065*	.032	.110**	.104**	.138**	.144**	.076*	.106**	.118**	.071*	.058	.026	.151**	.154**
ウ	夜空いっばいの星を見たこと	.033	-.017	.151**	.050	.018	.065*	.077*	.066*	.076*	.100**	.099**	.091**	-.006	.046	.011	.160**	.117**
エ	魚や貝や昆虫を捕まえたこと	.035	.020	.142**	.032	.036	.056	.074*	.064*	.062*	.048	.068*	.116**	.022	.056	.002	.138**	.118**
オ	生き物飼育をしたこと																	
カ	花を咲かせたり、育てたりしたこと																	
キ	小さい子どもをおんぶやこしたり、遊んであげたりしたこと																	
ク	困っている人やお年寄りなどの手助けをしたこと																	
ケ	清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと																	
コ	木材を使ったものづくりをしたこと																	
サ	包丁やナイフを使って調理をしたこと																	
シ	編み物やさいほうをしたこと																	
ス	親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)																	
セ	家の手伝い(家事や家業など)をしたこと																	
ソ	スポーツや運動をしたこと																	
タ	文化や伝統に触れたこと																	
チ	地域の行事に参加したこと																	
問2 A	道徳の内容項目の「大切さ」																	

** 相関係数は 1% 水準で有意です。* 相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-2-1 体験と道徳の内容項目（自分ができているか）との相関(1)

問1 18歳までの体験		問2 B 道徳の内容項目を「自分ができているか」																	
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.061	.024	.093**	.018	.076*	.128**	.105**	.100**	.146**	.102**	.132**	.186**	.067*	.139**	.106**	.172**	.144**	地域の行事に参加したこと
イ	山登りをしたこと	.119**	.092**	.166**	.184**	.171**	.111**	.129**	.180**	.220**	.198**	.074*	.007	.162**	.086**	.168**	.182**	.145**	文化や伝統に触れたこと
エ	望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。	.110**	.092**	.161**	.127**	.159**	.107**	.112**	.159**	.145**	.185**	.114**	.063*	.164**	.150**	.134**	.182**	.163**	スポーツや運動をしたこと
エ	より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜き強い意志をもつ。	.110**	.097**	.161**	.122**	.136**	.156**	.119**	.216**	.205**	.158**	.164**	.100**	.185**	.109**	.091**	.219**	.155**	家の手伝い（家事や家業など）をしたこと
エ	自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。	.149**	.135**	.124**	.163**	.151**	.126**	.092**	.179**	.150**	.172**	.098**	.061	.177**	.084**	.094**	.212**	.153**	親と離れて、どこかに宿泊したこと（合宿やキャンプなど）
エ	真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。	.135**	.057	.136**	.109**	.123**	.115**	.073*	.141**	.085**	.119**	.117**	.065*	.124**	.095**	.112**	.180**	.128**	包丁やナイフを使って調理をしたこと
エ	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。	.062*	.030	.121**	.069*	.110**	.125**	.160**	.206**	.133**	.109**	.138**	.097**	.100**	.123**	.048	.155**	.131**	木材を使ったものづくりをしたこと
エ	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。	.111**	.046	.134**	.066*	.111**	.131**	.168**	.171**	.142**	.058	.135**	.144**	.116**	.116**	.100**	.190**	.163**	清掃活動（草取り、ゴミ拾いなど）へ参加したこと
エ	温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。	.154**	.073*	.179**	.116**	.125**	.118**	.147**	.167**	.167**	.160**	.131**	.108**	.176**	.126**	.123**	.177**	.171**	編み物やさいほうをしたこと
エ	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。	.127**	.096**	.155**	.150**	.154**	.127**	.098**	.132**	.169**	.160**	.114**	.118**	.177**	.098**	.134**	.195**	.207**	小さい子どもをおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと
エ	男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。																		花を映かせたり、野菜を育てたりしたこと
エ	それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。																		生き物飼育をしたこと

**、相関係数は1%水準で有意です。*、相関係数は5%水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-2-2 体験と道徳の内容項目(自分ができているか)との相関(2)

問1 18歳までの体験		問2 B 道徳の内容項目を「自分ができているか」																
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.104**	.081**	.175**	.066*	.116**	.151**	.134**	.204**	.190**	.110**	.152**	.140**	.119**	.161**	.069*	.191**	.127**
イ	山登りをした	.039	.073*	.162**	.074*	.143**	.174**	.097**	.158**	.154**	.104**	.174**	.158**	.135**	.133**	.096**	.229**	.178**
エ	山登りをした	.119**	.073*	.164**	.133**	.188**	.188**	.100**	.152**	.190**	.168**	.161**	.171**	.150**	.125**	.091**	.222**	.170**
オ	海、山、湖、川などで遊んだこと	.067*	.087**	.132	.117**	.111**	.153**	.113**	.183**	.178**	.148**	.148**	.107**	.169**	.126**	.081**	.197**	.145**
カ	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	.082**	.038	.112**	.099**	.099**	.097**	.053	.063*	.119**	.113**	.114**	.105**	.082**	.083**	.099**	.181**	.138**
キ	法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自己の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。	.106**	.082**	.107**	.121**	.116**	.144**	.102**	.133**	.142**	.144**	.147**	.069*	.129**	.109**	.113**	.207**	.142**
ク	公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。	.066*	.016	.121**	.074*	.079*	.129**	.110**	.192**	.104**	.075*	.138**	.110**	.080*	.085**	.091**	.125**	.105**
コ	自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。	.074*	.051	.117**	.135**	.086**	.084**	.080*	.130**	.163**	.134**	.109**	.064*	.149**	.085**	.154**	.183**	.175**
サ	多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。	.153**	.100**	.167**	.189**	.133**	.131**	.164**	.224**	.210**	.189**	.169**	.085**	.218**	.156**	.138**	.222**	.185**
シ	生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。	.081**	.014	.081**	.060	.077*	.127**	.159**	.183**	.116**	.091**	.143**	.124**	.126**	.184**	.078*	.191**	.143**
ス	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	.119**	.073*	.164**	.133**	.188**	.188**	.100**	.152**	.190**	.168**	.161**	.171**	.150**	.125**	.091**	.222**	.170**
セ	人間には弱さや臆さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。	.067*	.087**	.132	.117**	.111**	.153**	.113**	.183**	.178**	.148**	.148**	.107**	.169**	.126**	.081**	.197**	.145**
ソ	法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自己の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。	.082**	.038	.112**	.099**	.099**	.097**	.053	.063*	.119**	.113**	.114**	.105**	.082**	.083**	.099**	.181**	.138**
タ	公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。	.106**	.082**	.107**	.121**	.116**	.144**	.102**	.133**	.142**	.144**	.147**	.069*	.129**	.109**	.113**	.207**	.142**
チ	正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。	.066*	.016	.121**	.074*	.079*	.129**	.110**	.192**	.104**	.075*	.138**	.110**	.080*	.085**	.091**	.125**	.105**
ツ	自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。	.074*	.051	.117**	.135**	.086**	.084**	.080*	.130**	.163**	.134**	.109**	.064*	.149**	.085**	.154**	.183**	.175**
テ	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。	.153**	.100**	.167**	.189**	.133**	.131**	.164**	.224**	.210**	.189**	.169**	.085**	.218**	.156**	.138**	.222**	.185**
ト	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。	.081**	.014	.081**	.060	.077*	.127**	.159**	.183**	.116**	.091**	.143**	.124**	.126**	.184**	.078*	.191**	.143**

** 相関係数は 1% 水準で有意です。* 相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-2-3 体験と道徳の内容項目（自分ができているか）との相関(3)

問1 18歳までの体験		問2 B 道徳の内容項目を「自分ができているか」	
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.036	.104**
イ	山登りをしたこと	.006	.068*
ウ	夜空いっぱい星を見たこと	.118**	.163**
エ	魚や貝や昆虫を捕まえたこと	.093**	.129**
オ	生き物飼育をしたこと	.067*	.071*
カ	花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと	.160**	.131**
キ	小さい子どもをおんぶやこしたり、遊んであげたりしたこと	.146**	.150**
ク	体の不自由な人やお年寄り困っている人の手助けをしたこと	.172**	.214**
ケ	清掃活動（草取り、ゴミ拾いなど）へ参加したこと	.152**	.229**
コ	木材を使ったものづくりをしたこと	.097**	.178**
サ	包丁やナイフを使って調理をしたこと	.127**	.141**
シ	編み物やさいほうをしたこと	.193**	.106**
ス	親と離れて、どこかに宿泊したこと（合宿やキャンプなど）	.084**	.150**
セ	家の手伝い（家事や家業など）をしたこと	.144**	.130**
ソ	スポーツや運動をしたこと	.041	.046
タ	文化や伝統に触れたこと	.209**	.257**
チ	地域の行事に参加したこと	.191**	.192**
ナ	学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。	.036	.120**
ニ	地域社会の一員としての自覚をもち、郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	.104**	.120**
ハ	日本人としての自覚をもち、国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	.120**	.071*
ヘ	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。	.071*	.071*

** 相関係数は 1% 水準で有意です。* 相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-3-1 性差と年代差を制御した体験と道徳の内容項目(大切さ)との偏相関(1)

問 2 A 道徳の内容項目の「大切さ」		問1 18歳までの体験																
		ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ
ア 望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。 イ より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。 ウ 自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。 エ 真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。 オ 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。 カ 礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。 キ 温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやり的心をもつ。 ク 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。 ケ 男女は、互いに異性に對しての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。 コ それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。	.057	.007	.063*	.053	.064*	.032	.007	.018	.068*	.031	.033	.058	.057	.047	.123**	.086**	.030	
	.085**	.081*	.113**	.119**	.065*	.046	.030	.133**	.122**	.081*	.035	.041	.113**	.044	.83**	.102**	.087**	
	.051	.077*	.118**	.104**	.081*	.051	.051	.071*	.086**	.103**	.042	.010	.089**	.032	.042	.042	.091**	.058
	.018	.082*	.073*	.081*	.077*	.072*	.047	.130**	.142**	.084**	.062	.043	.085**	.016	.025	.105**	.077*	
	.027	.065*	.106**	.087**	.097**	.057	.005	.068*	.084**	.079*	.021	.010	.068*	-.027	.061	.117**	.067*	
	.076*	.011	.060	.049	.041	.038	-.029	.019	.025	.049	.042	.037	.039	.011	.048	.053	.058	
	.024	-.024	.025	.046	.014	-.014	-.013	.015	.004	-.008	.004	.024	.024	.021	.025	.027	.064*	
	.080*	.073*	.132**	.088**	.048	.038	.028	.109**	.070*	.084**	.037	.041	.072*	.073*	.045	.124**	.089**	
	.080*	.068*	.114**	.116**	.051	.071*	.014	.061	.094**	.071*	.074*	.107**	.128**	.017	.070*	.125**	.072*	
	.106**	.111**	.078*	.110**	.090**	.094**	.017	.007	.063*	.081*	.086**	.108**	.113**	.034	.067*	.117**	.093**	

**、偏相関係数は1%水準で有意です。*、偏相関係数は5%水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-3-3 性差と年代差を制御した体験と道徳の内容項目(大切さ)との偏相関(3)

		問1 18歳までの体験																			
問 2 A 道徳の内容項目の「大切さ」	<p>ナ 学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。</p> <p>ニ 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。</p> <p>ホ 日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。</p> <p>ヘ 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。</p> <p>**. 偏相関係数は 1% 水準で有意です。*. 偏相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。</p>	ア 海、山、湖、川などで遊んだこと	.041	.029	.177**	.092**	.070*	.112**	.050	.066*	.123**	.097**	.088**	.102**	.034	.041	.060	.134**	.128**		
		イ 山登りをしたこと	.036	.007	.121**	.081*	.053	.111**	.093**	.134**	.146**	.094**	.097**	.097**	.104**	.075*	.051	.042	.147**	.149**	
		エ 夜空いっぱい星を見たこと	.033	-.012	.145**	.056	.036	.073*	.064*	.060	.074*	.110**	.098**	.098**	.090**	.004	.040	.021	.162**	.117**	
		オ 生き物飼育をしたこと	.038	.032	.136**	.057	.061	.044	.044	.050	.056	.077*	.044	.044	.063*	.036	.033	.022	.130**	.112**	
		カ 花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと																			
		キ こしい子どもをおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと																			
		ク 困っている人の手助けをしたこと																			
		ケ 清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと																			
		コ 木材を使ったものづくりをしたこと																			
		サ 包丁やナイフを使って調理をしたこと																			
		シ 編み物やさいほうをしたこと																			
		ス 親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)																			
		セ 家の手伝い(家事や家業など)をしたこと																			
		ソ スポーツや運動をしたこと																			
タ 文化や伝統に触れたこと																					
チ 地域の行事に参加したこと																					

表5-4-1 性差と年代差を制御した体験と道徳の内容項目(自分ができているか)との偏相関(1)

問 2 B 道徳の内容項目を「自分ができているか」	問1 18歳までの体験																
	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	タ	チ
望ましい生活習慣を身に付け、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け調和のある生活をする。	.052	.014	.072*	.036	.086**	.081*	.059	.077*	.110**	.122**	.087**	.118**	.083**	.077*	.124**	.152**	.130**
より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。	.147**	.107**	.166**	.157**	.166**	.137**	.146**	.190**	.219**	.175**	.101**	.094**	.172**	.108**	.151**	.197**	.168**
自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。	.100**	.085**	.157**	.105**	.166**	.106**	.103**	.160**	.131**	.169**	.114**	.111**	.184**	.145**	.120**	.182**	.166**
真理を愛し、真実を求め、理想の実現を目指して自己の人生を切り拓いていく。	.110**	.090**	.161**	.120**	.141**	.154**	.110**	.212**	.200**	.168**	.164**	.133**	.189**	.105**	.088**	.214**	.162**
自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。	.141**	.134**	.121**	.149**	.159**	.132**	.093**	.180**	.148**	.163**	.110**	.119**	.183**	.098**	.085**	.212**	.164**
礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。	.132**	.055	.127**	.106**	.128**	.102**	.070*	.135**	.068**	.128**	.126**	.091**	.137**	.102**	.108**	.171**	.126**
温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやり的心をもつ。	.063	.040	.126**	.088**	.127**	.111**	.143**	.200**	.125**	.144**	.129**	.088**	.104**	.120**	.046	.136**	.125**
友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合う。	.145**	.068*	.161**	.134**	.125**	.104**	.143**	.166**	.137**	.134**	.106**	.104**	.115**	.113**	.107**	.176**	.154**
男女は、互いに異性に對する正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。	.156**	.068*	.184**	.124**	.131**	.112**	.144**	.170**	.154**	.170**	.140**	.141**	.193**	.128**	.128**	.163**	.174**
それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもち謙虚に他に学ぶ。	.118**	.088**	.154**	.149**	.157**	.120**	.082*	.127**	.151**	.168**	.120**	.143**	.186**	.090**	.138**	.176**	.204**

**：偏相関係数は 1% 水準で有意です。*：偏相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-4-2 性差と年代差を制御した体験と道徳の内容項目(自分ができているか)との偏相関(2)

		問1 18歳までの体験																
問2 B 道徳の内容項目を「自分ができているか」	サ 多くの人々の善意や支えにより、日々の生活や現在の自分があることに感謝し、それにこたえる。 シ 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ス 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。 セ 人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。 ソ 法やまじりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。 タ 公徳心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。 チ 正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。 ツ 自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。 テ 勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。 ト 父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。	ア 海 山 湖 と 川 などで遊んだこと	イ 山 登りをしたこと	ウ 夜 空 っ ぱ い の 星 を 見 た こと	エ 魚 や 貝 や 昆 虫 を 捕 ま え た こと	オ 生 き 物 飼 育 を し た こと	カ 花 を 咲 か せ た り、 野 菜 を 育 て た こと	キ 小 さ い 子 ども を お ん ぶ や だ っ こ し た り、 遊 ん で あ げ た り し た こと	ク 体 の 不 自 由 な 人 や お 年 寄 り や、 困 っ て い る 人 の 手 助 け を し た こと	ケ 清 掃 活 動 (草 取 り、 ゴ ミ 拾 い な ど) へ 参 加 し た こと	コ 木 材 を 使 っ た も の づ くり を し た こと	サ 包 丁 や ナ イ フ を 使 っ て 調 理 を し た こと	シ 編 み 物 や さ い ほう を し た こと	ス 親 と 離 れ て、 ど こ か に 宿 泊 し た こと (合 宿 や キ ャ ン プ な ど)	セ 家 の 手 伝 い (家 事 や 家 業 な ど) を し た こと	ソ ス ポ ー ツ や 運 動 を し た こと	タ 文 化 や 伝 統 に 触 れ た こと	チ 地 域 の 行 事 に 参 加 し た こと
		.101**	.083*	.179**	.085**	.128**	.137**	.104**	.195**	.165**	.141**	.133**	.118**	.141**	.141**	.075*	.185**	.120**
		.114**	.041	.162**	.106**	.163**	.152**	.072*	.141**	.127**	.142**	.154**	.139**	.153**	.108**	.111**	.211**	.169**
		.116**	.058	.152**	.141**	.195**	.176**	.079*	.147**	.165**	.180**	.147**	.164**	.169**	.093**	.090**	.217**	.164**
		.058	.074*	.125**	.111**	.116**	.144**	.099**	.178**	.160**	.154**	.144**	.118**	.191**	.111**	.086	.198**	.150**
		.061	.025	.098**	.075*	.101**	.086**	.031	.051	.096**	.095**	.110**	.132**	.100**	.072*	.104**	.170**	.136**
		.092**	.073*	.108**	.103**	.121**	.142**	.085**	.133**	.124**	.127**	.144**	.112**	.157**	.104**	.111**	.216**	.149**
		.046	.018	.101**	.064**	.087**	.103**	.071*	.177**	.077*	.074*	.109**	.086**	.098**	.056	.100**	.116**	.100**
		.070*	.055	.127**	.128**	.090**	.082*	.080*	.130**	.160**	.141**	.113**	.102**	.157**	.097**	.155**	.176**	.177**
		.138**	.096**	.163**	.164**	.130**	.138**	.165**	.224**	.200**	.167**	.179**	.135**	.235**	.161**	.142**	.214**	.189**
		.085**	.020	.086**	.080*	.090**	.116**	.133**	.179**	.109**	.109**	.125**	.119**	.143**	.191**	.082*	.187**	.140**

** 偏相関係数は 1% 水準で有意です。* 偏相関係数は 5% 水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

表5-4-3 性差と年代差を制御した体験と道徳の内容項目(自分ができているか)との偏相関(3)

問1 18歳までの体験																	
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	.031	.015	.106**	.123**	.082*	.127**	.110**	.145**	.134**	.091**	.132**	.111**	.110**	.072*	.200**	.178**
イ	山登りをしたこと	.086	.061	.152**	.106**	.067**	.131**	.145**	.216**	.134**	.146**	.145**	.170**	.129**	.054	.263**	.205**
ウ	夜空いっぱい星を見たこと	.106	.071	.121**	.087**	.081*	.134**	.123**	.222**	.081*	.131**	.112**	.176**	.077*	.072*	.275**	.152**
エ	魚や貝や昆虫を捕まえたこと	.056	.063	.103**	.041	.037	.091**	.073*	.177**	.037	.117**	.064*	.141**	.059	.037	.200**	.076**
オ	生き物飼育をしたこと																
カ	花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと																
キ	小さい子どもをおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと																
ク	体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと																
ケ	清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと																
コ	木材を使ったものづくりをしたこと																
サ	包丁やナイフを使って調理をしたこと																
シ	編み物やさいほうをしたこと																
ス	親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)																
セ	家の手伝い(家事や家業など)をしたこと																
ソ	スポーツや運動をしたこと																
タ	文化や伝統に触れたこと																
チ	地域の行事に参加したこと																
問2 B	道徳の内容項目を「自分ができているか」																

**、偏相関係数は1%水準で有意です。*、偏相関係数は5%水準で有意です。グレーのところは絶対値が0.100以上の値です。

第7章 まとめ

調査結果から明らかにされたことを簡潔にまとめると、以下のようになる。

◆子どもの頃の体験は、若い年代で少なくなっている傾向が明らかになった。しかし、一部の体験では、30代より20代の方が増えているものもあり、学校教育や地域教育による意図的な体験活動が成果をあげ始めている可能性が示された。

◆学習指導要領で示されている道徳の内容項目は、一般の成人から大切な道徳的価値と認識されていることが示された。また、日本の成人が特に大切だと思っている道徳的価値は、＜思いやり＞＜礼儀＞＜生命の尊重＞＜家族愛＞＜友情＞であることが明らかになった。

◆自分自身や身近な人に関する道徳的価値は、若い年代でも大切と思っているが、生命や大きな集団に対する道徳的価値は、成人期の後半に大切だと感じられるようになる可能性が示された。

◆社会全体のモラルの低下を懸念している成人は多く、現状の学校、家庭、地域の道徳教育には満足しておらず、道徳教育の充実を望む声大きいことが示された。

◆子どもの頃の体験と成人になっての道徳的実践の間には、正の相関関係が見られた。子どもの頃の体験が、成人の道徳性の形成に影響を与えている可能性が示された。

以上のことから、日本の成人から学校における道徳教育は概ね支持されており、さらなる充実を求められていることが明らかにされた。また、子どもの頃の体験は道徳性の発達において影響力を持つ可能性が示され、体験を充実していこうという現在の学校教育の取り組みが妥当であることも明らかになったと言えよう。

本報告書では、調査で得られた結果の一部しか分析、掲載していない。今後もさらなる分析を進め、何らかの形で発表する予定である。

< 付録 >

使用した調査票

道徳性等に関する意識調査

〔ご記入に際してのお願い〕

- 1) ご記入は、ご依頼させていただいたご本人様にお願いいたします。
- 2) 問1から順に最後までお答えください。
- 3) お答えは選択肢の中からあてはまるものを選んで番号に○印をつけていただくものと、内に自由にご記入いただくものがあります。
- 4) ご記入は鉛筆または黒・青のペン、ボールペンでお願いします。
- 5) 回答に迷う場合は、深く考えず、あなたの気持ち、考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- 6) ご質問やご不明の点などがありましたら、調査員にお尋ねになるか、下記の（社）新情報センターまでお問い合わせください。

ご回答いただきました調査票は_____月_____日に社団法人 新情報センターの調査員がお受け取りにうかがいます。何卒それまでにご記入くださいますようお願いいたします。

平成 22 年 2 月

〔調査主体〕 東京学芸大学
総合的道徳教育プログラム推進本部

〔調査実施〕 社団法人 新情報センター

調査番号	地点番号	対象番号	調査員
第 4915 号			

問1 あなたが18歳の頃までに体験したことについておうかがいします。

(1) あなたは子どもの頃(概ね18歳以下)、以下のア～チのような体験がどのくらいありましたか。ア～チそれぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

		全 く な か つ た	あ ま り な か つ た	と き ど き あ つ た	何 度 も あ つ た
ア	海、山、湖、川などで遊んだこと	1	2	3	4
イ	山登りをしたこと	1	2	3	4
ウ	夜空いっぱいの星を見たこと	1	2	3	4
エ	魚や貝や昆虫を捕まえたこと	1	2	3	4
オ	生き物飼育をしたこと	1	2	3	4
カ	花を咲かせたり、野菜を育てたりしたこと	1	2	3	4
キ	小さい子どもをおんぶやだっこしたり、遊んであげたりしたこと	1	2	3	4
ク	体の不自由な人やお年寄りや、困っている人の手助けをしたこと	1	2	3	4
ケ	清掃活動(草取り、ゴミ拾いなど)へ参加したこと	1	2	3	4
コ	木材を使ったものづくりをしたこと	1	2	3	4
サ	包丁やナイフを使って調理をしたこと	1	2	3	4
シ	編み物やさいほうをしたこと	1	2	3	4
ス	親と離れて、どこかに宿泊したこと(合宿やキャンプなど)	1	2	3	4
セ	家の手伝い(家事や家業など)をしたこと	1	2	3	4
ソ	スポーツや運動をしたこと	1	2	3	4
タ	文化や伝統に触れたこと	1	2	3	4
チ	地域の行事に参加したこと	1	2	3	4

(2) 今の自分の形成に、特に影響したと思われる体験は何ですか。以下の枠内に、自由にお書きください。(1)のア～チで挙げた体験でも結構ですし、それ以外の体験でもかまいません。

問2 以下に示すア～ネの考え方や生き方について、「A. どのくらい大切だと思うか」「B. どのくらい自分ができるか」についてお答えください。回答は、例に従い、ア～ネそれぞれについて、A・B 2か所に○を1つずつつけてください。

	A.大切だと思うか						B.自分ができるか				
	大切ではない	どちらかという 大切ではない	どちらともいえない	どちらかという 大切である	大切である		できていない	どちらかという できていない	どちらともいえない	どちらかという できている	できている
例	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ア	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
イ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ウ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
エ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
オ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
カ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
キ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ク	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ケ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
コ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
サ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
シ	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

(3ページへつづく)

(つづき)

		A.大切だと思うか						B.自分ができているか				
		大切ではない	どちらかという 大切ではない	どちらともいえない	どちらかという 大切である	大切である		できていない	どちらかという できていない	どちらともいえない	どちらかという できている	できている
ス	自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
セ	人間には弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きることに喜びを見いだすように努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ソ	法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、自他の権利を重んじ義務を確実に果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
タ	公德心及び社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
チ	正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ツ	自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団の生活の向上に努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
テ	勤労の尊さや意義を理解し、奉仕の精神をもって、公共の福祉と社会の発展に努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ト	父母、祖父母に敬愛の念を深め、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築く。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ナ	学級や学校の一員としての自覚をもち、教師や学校の人々に敬愛の念を深め、協力してよりよい校風を樹立する。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ニ	地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ヌ	日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5
ネ	世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。	1	2	3	4	5	→	1	2	3	4	5

問3 子どものモラルを育てる道徳教育についてうかがいます。

(1) 以下のア～キの項目について、社会や教育全体を見たとき、あなたはどのように感じますか。

ア～キそれぞれについて、あてはまるものを1つずつお選びください。

		そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	わ り と そ う 思 う	そ う 思 う
ア	学校での道徳教育はしっかりと行われている	1	2	3	4	5
イ	家庭でのしつけや生活習慣の指導はしっかりと行われている	1	2	3	4	5
ウ	地域での道徳教育はしっかりと行われている	1	2	3	4	5
エ	学校の道徳教育をもっと充実すべきだ	1	2	3	4	5
オ	家庭や地域でのモラルの指導をもっと充実すべきだ	1	2	3	4	5
カ	社会全体のモラルが低下している	1	2	3	4	5
キ	モラルを育てることは学力の向上にも役に立つ	1	2	3	4	5

(2) 学校における道徳教育（道徳の授業を含む）に、どのようなことを期待しますか。以下の枠内に、自由にお書きください。

(3) 小学校または中学校の道徳の授業について、どのようなことを覚えていますか。

思い出せることがありましたら、該当するどちらかの学校種に○をつけて、以下の枠内に、自由にお書きください。小学校および中学校どちらも該当する場合は、最も印象に残った授業についてお答えください。（学校種の○は1つ）

1 小学校
2 中学校



(4) 現在、小中学校の道徳の時間は年間で 35 単位時間（週 1 時間程度）と設定されていますが、このことについてあなたはどのように思いますか。あてはまるものを 1 つだけお選びください。

- 1 現在程度で良い
- 2 増やした方が良い
- 3 減らす方が良い
- 4 道徳の時間を設けることに反対
- 5 わからない

問 4 以下のア～クの項目について、あなたはどのように思うか「そう思わない」「あまりそう思わない」「どちらともいえない」「わりとそう思う」「そう思う」の中から、それぞれ 1 つずつお選びください。

		そう 思わ ない	あ ま り そ う 思 わ な い	ど ち ら と も い え な い	わ り と そ う 思 う	そ う 思 う
ア	嘘をつくことも、場合によっては許される	1	2	3	4	5
イ	まじめにしていると自分が損をする	1	2	3	4	5
ウ	みんなどうせ決まりを守らない	1	2	3	4	5
エ	みんなは自分のことしか考えない	1	2	3	4	5
オ	法律違反をしなければ、あとは個人の自由だ	1	2	3	4	5
カ	自分には、改めたいことがある	1	2	3	4	5
キ	自分には、よいところがある	1	2	3	4	5
ク	自分にはかなえない夢がある	1	2	3	4	5

最後に、この回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについておうかがいします。

F 1 あなたの性別をお答えください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたのお年は満でいくつですか。

- | |
|-----------|
| 1 20～24 歳 |
| 2 25～29 歳 |
| 3 30～34 歳 |
| 4 35～39 歳 |
| 5 40～44 歳 |
| 6 45～49 歳 |
| 7 50～54 歳 |
| 8 55～59 歳 |

F 3 あなたの現在のお仕事について、以下の中からあてまるものをお選びください。

- | | | |
|------------------|---------------|----------|
| 1 正規の職員 | } 雇
用
者 | 6 主婦 |
| 2 パート・アルバイト | | 7 学生 |
| 3 派遣・嘱託・契約社員 | | 8 その他の無職 |
| 4 自営業主（家庭内職者を含む） | | |
| 5 家族従業者 | | |

↓
【F 3で「1」～「5」とお答えの方におうかがいします。】

S Q あなたのご職業について、以下の中からあてはまるものをお選びください。あてはまるものがない、または、わからない場合は、「7 その他」に○をつけ、()内に具体的な内容をご記入ください。

- | | |
|----------|----------------|
| 1 管理職 | 4 販売、サービス、保安職 |
| 2 専門・技術職 | 5 農林漁業職 |
| 3 事務職 | 6 生産、輸送、建設、労務職 |
| | 7 その他 () |

【全員の方におうかがいします。】

F 4 家計を同じくするご家族は、あなたを含めて何人ですか。以下の中からあてはまるものを1つだけお選びください。

1	2	3	4	5	6	7
1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上

F 5 あなたは結婚していらっしゃいますか。以下の中からあてはまるものを1つだけお選びください。

1 既婚（有配偶）	2 既婚（離・死別）	3 未 婚
-----------	------------	-------

F 6 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

1 い る	2 い ない
-------	--------

F 7 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。以下の中からあてはまるものを1つだけお選びください。

1 満足している
2 まあ満足している
3 どちらともいえない
4 やや不満だ
5 不満だ

F 8 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。以下の中からあてはまるものを1つだけお選びください。

1 感じている
2 ある程度感じている
3 どちらともいえない
4 あまり感じていない
5 感じていない

調査は以上で終了です。

長い間、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

成人の道徳性と子どもの頃の体験に関する調査報告書

発行日：平成 24 年 2 月

発行：東京学芸大学「総合的道德教育プログラム」推進本部

担当：松尾直博 永田繁雄 藤澤文

所在地：〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1

TEL：042-329-7190

E-mail：kokoro@u-gakugei.ac.jp

印刷：株式会社タマタイプ